

# V 植物藻類編

維管束植物 二ヶ植物

藻類





ツクシカイドウ (EW)

P.50

撮影: 河上昭夫



サクラジマハナヤスリ (CR)

P.51

撮影: 渡邊将人



コタニワタリ (CR)

P.56

撮影: 河上昭夫



タイヨウシダ (CR)

P.58

撮影: 石坂征勝



コモチイヌワラビ (CR)

P.60

撮影: 仮屋崎忠



フクレギシダ (CR)

P.61

撮影: 渡邊将人



ヒュウガシケンダ (CR)

P.63

撮影: 甲斐敦美



クマイワゴ (CR)

P.64

撮影: 渡邊将人



イツキカナワビ (CR)

P.66

撮影: 仮屋崎忠



ヒゴカナワビ (CR)

P.67

撮影: 仮屋崎忠



キュウシュウイノデ (CR)

P.67

撮影: 渡邊将人



クマヤブソテツ (CR)

P.68

撮影: 石坂征勝



キレハオクボシダ (CR)

P.68

撮影: 甲斐数美



オニバス (CR)

P.69

撮影: 佐藤千芳

撮影: 石黒義也



ジュンサイ (CR)

P.69

撮影: 佐藤千芳



アソサイシン (CR)

P.70

撮影: 藁畑親志



ヒメユリ (CR) P.73  
撮影: 瀬井純雄



サルメンエビネ (CR) P.74  
撮影: 甲斐数美



クマガイソウ (CR) P.75  
撮影: 佐藤千芳



ダイサギソウ (CR) P.76  
撮影: 佐藤千芳



キバナノセッコク (CR) P.76  
撮影: 渡邊将人



ノカンゾウ (CR) P.82  
撮影: 佐藤千芳



エヒメアヤメ (CR) P.82  
撮影: 佐藤千芳



タマボウキ (CR) P.83  
撮影: 奥村智治



ゴマシオホシクサ (CR) P.84  
撮影: 富田壽人



ミズアオイ (CR)

P.84

撮影: 奥村智治



トダスゲ (CR)

P.85

撮影: 佐藤千芳



ハナカズラ (CR)

P.94

撮影: 瀬井純雄



カザグルマ (CR)

P.94

撮影: 富田壽人



ベニバナヤマシャクヤク (CR)

P.95

撮影: 佐藤千芳



トキワマンサク (CR)

P.96

撮影: 山下桂造



ツクシムレスズメ (CR)

P.98

撮影: 仮屋崎忠



チョウジザクラ (CR)

P.99

撮影: 富田壽人



ツクシフウロ (CR)

P.104

撮影: 甲斐数美



ホザキカシグサ (CR)

P.104

撮影: 佐藤千芳



カラコギカエデ (CR)

P.106

撮影: 渡邊将人



ハナハタザオ (CR)

P.107

撮影: 佐藤千芳



アマクサツチトリモチ (CR)

P.108

撮影: 天野守哉



ヒュウガアジサイ (CR)

P.109

撮影: 河上昭夫



ハナシノブ (CR)

P.110

撮影: 瀬井純雄



リュウキュウコザクラ (CR)

P.110

撮影: 甲斐数美



サワトラノオ (CR)

P.111  
撮影: 仮屋崎忠



イワザクラ (CR)

P.111  
撮影: 佐藤千芳



アマクサミツバツツジ (CR)

P.112  
撮影: 渡邊将人



レンゲツツジ (CR)

P.112  
撮影: 河上昭夫



ソナレムグラ (CR)

P.113  
撮影: 徳留一生



ツクシクガイソウ (CR)

P.117  
撮影: 佐藤千芳



カイジンドウ (CR)

P.117  
撮影: 河上昭夫



ミスネコノオ (CR)

P.118  
撮影: 徳留一生





タカネコウリングク (CR)

P.123

撮影: 佐藤千芳



オグラコウホネ (EN)

P.135

撮影: 仮屋崎忠



オニノヤガラ (EN)

P.139

撮影: 渡邊将人



スズラン (EN)

P.141

撮影: 河上昭夫



コウボウシバ (EN)

P.143

撮影: 山口瑞貴



アズマイチゲ (EN)

P.145

撮影: 河上昭夫



ヤシャビシャク (EN)

P.147

撮影: 河上昭夫



アカサゲ (EN)

P.149

撮影: 山口瑞貴



オグラセンノウ (EN)

P.152  
撮影: 佐藤千芳



マツモトセンノウ (EN)

P.152  
撮影: 佐藤千芳



ヤマトグサ (EN)

P.154  
撮影: 奥村智治



ツクシトラノオ (EN)

P.155  
撮影: 佐藤千芳



キタミソウ (EN)

P.155  
撮影: 佐藤千芳



ヤツシロソウ (EN)

P.157  
撮影: 甲斐数美



ヒゴシオン (EN)

P.158  
撮影: 佐藤千芳



ヒゴタイ (EN)

P.159  
撮影: 佐藤千芳



ミツバテンナンショウ (VJ) P.168  
撮影: 河上昭夫



カタクリ (VJ) P.170  
撮影: 河上昭夫



カノコユリ (VJ) P.170  
撮影: 徳留一生



ヨウラクラン (VJ) P.172  
撮影: 佐藤千芳



サギソウ (VJ) P.173  
撮影: 佐藤千芳



ミチノクフクジュソウ (VJ) P.179  
撮影: 佐藤千芳



サクラソウ (VJ) P.188  
撮影: 瀬井純雄



ツクシアケボノツヅギ (VJ) P.189  
撮影: 渡邊将人



シシンラン (VU)

P.191

撮影: 河上昭夫



ヒカリゼニゴケ (CR)

P.203

撮影: 河上昭夫



オオミスゴケ (NT)

P.205

撮影: 河上昭夫



巴崎のハマジンチョウ群落

P.560

撮影: 奥村智治



鞍岳・矢護山の自然林(鞍岳のアセビ群落)

P.583

撮影: 奥村智治



阿蘇利端刃原野の山地湿原

P.570

撮影: 佐藤千芳



菊池渓谷の自然林

P.575

撮影: 藺畑親志



北向山の自然林

P.576

撮影: 山下桂造

## V 植物・藻類編

### 1. 維管束植物・コケ植物

#### (1) 調査概要

##### 1) 調査方法

これまでのフィールドワークで蓄積された知見と文献資料に基づき調査対象種の選定を行った。これらの種に対して、可能な限り現地調査を行い、現時点での生育量（個体数、生育面積）と生育状況（生育環境、生育に影響を及ぼす要因）の把握に努めた。現地調査ができなかった種については、これまでの確認情報をもとに総合的に判断した。

##### 2) 調査結果の概要

維管束植物（シダ植物と種子植物）について、「生存への脅威の要因」を基に、RDB2009以降の生育状況の変動要因と現状について概説する（表1.1）。

表 1.1 RDB2009、RL2014 と RDB2019 の各調査における「生存への脅威の要因」区分該当率の比較

No.	2009年	2014年	2019年	No.	2009年	2014年	2019年	No.	2009年	2014年	2019年
	%	%	%		%	%	%		%	%	%
1	34.9	33.1	32.6	17				33			
2	8.9	0.4	0.5	18				34	0.2	0.9	0.7
3	0.7	0.5	0.8	19				35			
4	4.4	4.1	4.0	20	0.5	0.5	0.2	36	1.1	2.8	5.8
5				21	9.9	18.9	17.7	37			
6				22	0.2			38	4.4	6.4	5.8
7				23	0.2	0.2	0.2	39			
8	1.3	1.2	1.3	24				40	0.2	0.2	0.2
9	0.7	0.4	0.3	25	6.9	5.2	4.8	41	4.9	5.0	5.4
10	3.8	3.4	2.5	26				42			
11	3.6	2.8	3.4	27	0.7	1.1	1.0	43			
12	4.2	4.6	4.4	28	0.2	0.4	0.5	44			
13	2.4	2.7	2.2	29	0.2	0.2	0.2	45	0.4	0.5	1.2
14	1.1	1.1	1.0	30				46	2.9	2.5	1.9
15				31							
16	1.1	1.1	1.2	32							

※ CR, EN, VUランク種について、各種の最も大きな脅威となっている区分のみを集計した。

No.1～46は「表3.4生存への脅威の要因」の区分No.に一致する。

#### ① 森林伐採

最も該当種が多く、森林伐採が熊本県産植物の希少化に極めて大きな影響を及ぼすことを示している。しかし、近年、天然林（自然林および二次林）の伐採は大きく減少しており、伐採により具体的に影響が生じた事例は少ない。つまり、本脅威の該当数は、（a）伐採の影響を受ける森林性の種は選定希少種の中で最も多い、（b）これらの種は現状では安定的であるが森林伐採が行われれば直ちに影響を受けることを示している。

## ② 人工造林、管理放棄、自然遷移

2009年以降の最も大きな変動は、人工造林の該当件数の減少と管理放棄の該当件数の増加である。これは、主として阿蘇地域の草原性植物に対する生存の脅威が「人工造林」から「管理放棄」に変化したことによるものである。これまで阿蘇地域では草原への拡大造林（スギ、ヒノキ植林）により草原面積の減少が進行し、これが草原性植物の希少化要因の主要なものであった。しかし、近年は拡大造林が減少し、その影響は小さくなっている。一方で、管理放棄される草原が急増しており、このことが管理放棄の該当件数の増加となっている。

阿蘇地域以外でも、これまで草刈りなどの管理が行われてきた集落周辺の小規模草地も管理されなくなり、遷移の進行とともに低木林化している事例が各地に見られるようになっている。

また、中山間地では耕作放棄の水田が増加傾向にあり、ため池や水路の管理停止も合わさって、スプタ類やホシクサ類などの水湿生植物の生育環境の劣化と消失が顕在化している。

なお、阿蘇地域の草原では、「野焼き＋放牧」と「野焼き＋採草」の管理形態が基本であったが、近年は野焼きのみの管理で未利用の草原の面積が最も広い面積を占めるようになっている。放牧や採草が停止され野焼きのみの管理形態になる場合、ススキをはじめとする大型多年生草本の生育量が増加するため、中茎以下の植物にとっては生存の脅威が増大しつつある。

## ③ 土木工事

道路工事、河川改修、ため池の整備など、生育地の改変・消失を伴う土木工事（表3.4のNo.3、4、10、11、12、13、16）の該当数は合計すると2009年が20.2%、2014年が19.2%、2019年が18.5%に達し、管理放棄と同程度の脅威となっている。小規模の工事の場合、保全措置はほとんど実施されず、直接的な被害を受けることが多い。

## ④ 採取（捕獲・採集）

採取被害は全体に占める割合としては小さいが、特定の種に集中することで問題性が大きい。2013年にはタイヨウシダの半量が採取被害を受けた。同種は国内に1ヶ所しか生育が確認されておらず、その50%が被害を受けたことになる。カンラン、サルメンエビネなどは野生生育個体を見るのがほとんどない状態にまで減少している。イワザクラ、エヒメアヤメ、ムカデラン、クマガイソウなども危機的状態になりつつある。

## ⑤ 動物食害

市房山、白髪岳などの県南地域から県央地域にかけてシカによる食害が顕在化している。2009年段階でも動物食害の影響は問題視されていたが、その後被害の拡大が進行しつつある。なかでもキレンゲショウマはかつて九州中央山地地域に多量に生育していたが、現在ではほとんど確認できない状態にまで減少している。このほかクマイワヘゴ、テバコワラビ、クリンユキフデ、ヤマトグサなども含め、34種で動物食害による減少が生存への脅威の主要要因になっていると判断された。

## ⑥ 外来種の侵入

外来種の侵入により在来種の生育が脅かされる状況は、大なり小なり、以前から見られていた。しかし、次第に被害が大きくなり、種によっては生存の脅威の主要な要因になる事例が顕在化するようになっている。オオイヌノフグリやタチイヌノフグリなど外来クワガタソウ属植物は、明治期以降継続的に増加し、現在では在来種のイヌノフグリを危機的水準にまで減少させている。

一方、ナガエツルノゲイトウやメリケンムグラは河川域を中心に近年急激に増加し、個別の在来種だけでなく、水湿地の植生状態全体を大きく変える状況になっている。

また、外来種との交雑による純系在来種の減少事例も発生している。ハナシノブと外来近縁種との交雑問題はその代表的事例である。法面緑化用として持ち込まれた外来のヨモギ類やハギ類

と在来同属種との交雑も多発していると推察される。ただ、遺伝的交雑による純系在来種の減少については詳細な把握ができないのが実態である。

#### ⑦ 自然災害

熊本地震（2016年）を初め、豪雨や台風などの自然災害が頻発し、生存の脅威となる事例がしばしば見られるようになってきた。

阿蘇地域では草原や森林域で斜面崩壊が各所で発生している。これらの地域では、調査がほとんど行われておらず、被害の実態把握ができていない。しかし、自然林が広がる北向山や菊池溪谷では崩壊の規模が大きく、生育植物へ極めて大きな影響が及んだことが推察される。中央火口丘や外輪山内壁地域の草原においても同様である。

熊本市の江津湖とその周辺地域では熊本地震による地盤沈下が発生し、キタミソウ、コツブヌマハリイ、ウマスゲなどの生育地が被害を受けた。

また、これらの自然災害では急を要する復旧工事で二次被害を受ける事例も散見された。

### 3) R L 2014 との比較（維管束植物）

R L 2014 では 839 種（AN を含む）が選定されたが、今回は 873 種が選定された。各カテゴリーにおける主な変動点は以下の通りである。

#### ① 絶滅（EX）

該当種数は 9 種で同じであるが、該当種に変動があった。ハナハタザオが 2012 年に再発見され、2014 年に本種であることが正式に確認された。そのため、CR に変更した。一方、CR に区分していたハマタマボウキを本カテゴリーに変更した。本種は県内では長洲町の 1 ヶ所のみで生育が知られていたが、1970 年代後半には確認できなくなっていた。その後、調査を繰り返したが生育が確認できず、今回の検討で絶滅（EX）と判断した。

#### ② 野生絶滅（EW）

R L 2014 で本カテゴリーに区分されていたレンゲツツジは、2016 年に多良木町で生育が確認された。また、ツクシムレスズメは 2018 年に芦北町で生育が確認された。そのため、両種は CR に変更した。

#### ③ 絶滅危惧 I A 類（CR）

ハナハタザオ（EX から）と、レンゲツツジおよびツクシムレスズメ（EW から）は、いずれも生育量が少なく、本カテゴリーに変更した。サクラジマハナヤスリ、オオアマクサンダ、リュウキュウイタチシダ、キイトラッキョウ、ヒロハコンロンソウ、ヒュウガヤブレガサなど 18 種については近年になって熊本県での生育が明らかになり、生育量から本カテゴリーに区分した。ヘビノネゴザ、エビノオオクジャク、ヤマエオオクジャクは今回新たに、ウスバミヤマノコギリシダは NT から、いずれも分類学的検討の結果、生育量が本カテゴリーに該当すると判断された。イツキカナワラビは動物食害、デンジソウとアカウキクサは農薬使用と自然遷移の進行、オオクボシダは原因がはっきりしないが生育量の減少が進行しているため、いずれも EN から本カテゴリーに変更した。また、ヤワラハチジョウシダ、ツルダカナワラビ、オワセベニシダは調査の結果、生育状況が把握され、DD から本カテゴリーに変更した。

一方、ハマタマボウキは絶滅（EX）に変更した。また、ヤクシマハチジョウシダ、ヒロハノコギリシダ、サツマシダ、ホソバヤブソテツはいずれも新たな生育地が複数確認されたため EN に変更した。リュウビンタイも新たな生育地が複数確認されたため NT

に変更した。ヒメフタバランは情報が少なく、リュウキュウヒモランはヒモランに合一されたために削除した。マンシュウツリガネニンジン分類学的検討が必要と判断されたためDDに変更した。コハナヤスリは雑種であることが明らかになったため削除した。ナガボノアカワレモコウは分類学的見解の変更に伴い、ナガボノワレモコウ(VU)にまとめた。

なお、本区分種の中には、カワラサイコ、ツチグリ、ドクゼリなどのように、長期にわたり生育が確認できていない、あるいは確実な生育地での消失後に新たな生育の確認ができないなど、極めて絶滅の可能性が高いと推察されるものが多数含まれる。これらについては今後特に集中的な調査を行い、生育状況の把握を行うことが必要である。

#### ④ 絶滅危惧I B類(EN)

ヤクシマハチジョウシダなど4種はCRから本カテゴリーに変更した。シラネワラビ、ミヤコイヌワラビ、ハコネシケチシダは動物食害による生育量の減少、スギラン、ムラサキベニシダ、ヒメサジランはカテゴリー適用を見直した結果、ケホシダは分類学的検討の結果、いずれもVUから本カテゴリーに変更した。ヒロハナライシダは動物食害による生育量の減少が著しいため、NTから本カテゴリーに変更した。また、オオハイホラゴケ、オキナワコクモウクジャクについては、確実な生育地が複数確認されたため、DDから本カテゴリーに変更した。

一方、イツキカナワラビなど4種はCRに変更した。キリシマヘビノネゴザは分類学的検討の結果、NTに変更した。また、ウスバヘビノネゴザは分類学的な取扱いの変更でキリシマヘビノネゴザに合一されたため削除した。

#### ⑤ 絶滅危惧II類(VU)

ギフベニシダ、ヒュウガシダについては生育量の再評価に基づき、ナンゴクナライシダは生育量の減少に伴い、新たに本カテゴリーに追加した。ナガホノナツノハナワラビは現状の再検討の結果、チチブホラゴケはシカ食害と自然災害による生育量の減少のため、ヒメハイホラゴケは分類学的検討の結果、NTから本カテゴリーに変更した。キヨズミオオクジャクは、現状調査の結果に基づき、DDから本カテゴリーに変更した。

一方、シラネワラビ、ミヤコイヌワラビなど7種はENに変更した。また、タカサブロウは現状調査の結果に基づき、イヌノヒゲは分類学的検討の結果、NTに変更した。

#### ⑥ 準絶滅危惧(NT)

エゾヒカゲノカズラとチャボハナヤスリは近年になって熊本県での生育が明らかになり、生育量から本カテゴリーに区分した。ツクシヤブソテツは近年、生育量の減少が見られるため本カテゴリーに追加した。また、リュウビンタイはCRから、キリシマヘビノネゴザはENから、タカサブロウ、イヌノヒゲはVUから本カテゴリーに変更した。一方、ウスバミヤマノコギリシダはCRに、ヒロハナライシダはENに、ナガホノナツノハナワラビなど3種はVUに、オオアカウキクサは分類学的検討が必要となったためDDに変更した。また、シロイヌノヒゲはイヌノヒゲにまとめられた。

#### ⑦ 情報不足(DD)

シチトウハナワラビ、ヤクカナワラビ、イヌイワイタチシダ、ミヤコアオイ、シコクフクジュソウ、ヤマハンショウヅル、ミツバフウロ、ヘイケモリアザミ、ヒュウガセンキュウは今回新たに追加したが、詳細が不明なため本カテゴリーに区分した。ヒメフタバラン、マンシュウツリガネニンジン、オオアカウキクサはCRから、オオアカウキクサはNTから本カテゴリーに変更した。一



方、ヤワラハチジョウシダなど3種はCR、オオハイホラゴケ、オキナワコクモウクジヤクはEN、キヨズミオオクジャクはVUに変更した。

なお、コケ植物については、RL2014ではヒカリゼニゴケをCRに区分した他は、オオミズゴケなど15種をDDに区分していたが、今回、調査の進展に伴い、オニゴケ、キヤラハゴケモドキ、ヒカリゼニゴケの3種をCR、コキヌシッポゴケなど4種をEN、タイワントラノオゴケなど4種をVU、オオミズゴケなど9種をNTに区分した。

#### 4) 今後の課題

この5年間は、熊本地震や豪雨、台風などの自然災害が多数発生し、生育環境の状況が大きく変動している。また、二次的自然環境における管理放棄や自然遷移、シカ被害、外来種の増加などによる影響も顕在化しており、より多くの調査が必要になっている。あわせて調査対象種は多数である。このような状況に対して、調査担当者は圧倒的に少ない。調査能力には限界があり、特に定量的調査を行うことは困難な場合が多かった。そのため、今回の改訂でも、多くの場合で主として定性的要因をもとにカテゴリーの判定を行わざるを得なかった。また、定性的変化の把握においても、現在の調査担当体制では相当の無理があり、結果として調査レベルは粗いものにならざるを得なかった。

今後、これらの課題に対する対応が必要であるが、この状況は、これまでの調査のやり方が今後も踏襲されるのであれば、調査担当者の大きな増加がなければ今後も変わらない。しかし、調査が可能な人材は不足しており、一方で、現行の調査担当者はほぼ固定していて高齢化が進行しているのが実態である。今後、調査を継続するには、カテゴリー定義の簡略化や調査対象種の限定など、調査負担の大幅な低減をはかるか、外部組織等へ調査を委託するなど、抜本的な対策を検討する必要がある。

## (2) 種の解説

維管束植物（シダ植物と種子植物）については、絶滅（EX）から絶滅危惧Ⅱ類（VU）まで、コケ植物については、絶滅危惧ⅠA類（CR）から準絶滅危惧（NT）までの、それぞれのカテゴリーに位置づけた620種について、以下に解説する。

## 維管束植物

絶滅 (EX)

シダ植物

### オキナワクジャクシダ

*Adiantum flabellulatum* L.

シダ植物  
イノモトソウ科

熊本県カテゴリー

絶滅 (EX)

環境省カテゴリー

**選定理由** 絶滅

**生育環境** 沿海地の疎林林縁のやや乾燥した地上

**生育状況** 1970年に上天草市(旧龍ヶ岳町)でただ1度採集されて以後、生育は確認されておらず、絶滅したものと思われる。

**生存への脅威** 不明

**特記事項** 通常、屋久島以南に分布し、天草は分布北限となる。本産地は蛇紋岩地帯である。別名 オキナワクジャク。

## 種子植物

### アヤメ

*Iris sanguinea* Hornem.

種子植物  
アヤメ科

熊本県カテゴリー

絶滅 (EX)

環境省カテゴリー

**選定理由** 絶滅

**生育環境** 日当たりの良い草地

**生育状況** 1907年に合志市(旧合志町)で採集されて以後、自生個体の生育は確認されておらず絶滅したと思われる。

**生存への脅威** 不明

**特記事項** 高森町や菊池市で野生状態の個体が見られるが、いずれの生育地も人為的干渉が強く働く立地であり、栽培個体の逸出または植栽の可能性が否定できない。

### ハマタマボウキ

*Asparagus kiusianus* Makino

種子植物  
キジカクシ科

熊本県カテゴリー

絶滅 (EX)

環境省カテゴリー

絶滅危惧 I B 類 (EN)

**選定理由** 絶滅

**生育環境** 海辺の砂地

**生育状況** 長洲町の1ヶ所に生育していたが、1970年代後半には見られなくなった。その後、これまで繰り返し調査が行われているが、生育が確認されていない。絶滅したと思われる。

**生存への脅威** 不明

**特記事項**

### ハタベスゲ

*Carex latisquamea* Kom.

種子植物  
カヤツリグサ科

熊本県カテゴリー

絶滅 (EX)

環境省カテゴリー

絶滅危惧 I B 類 (EN)

**選定理由** 絶滅

**生育環境** 湿生草地

**生育状況** 阿蘇市(旧一の宮町古城)で1927年に採集されているが、その後、生育が確認されていない。絶滅したと思われる。

**生存への脅威** 不明

**特記事項** 和名は阿蘇の端辺原野による。

ビロードキビ		熊本県カテゴリー
		絶滅 (EX)
<i>Urochloa villosa</i> (Lam.) T.-Q.Nguyen		環境省カテゴリー
種子植物 イネ科		絶滅危惧 I B 類 (EN)
選定理由	絶滅	
生育環境	海岸とその近く	
生育状況	八代市 (旧八代市)、仰烏帽子山、相良村、球磨村で、いずれも 1960 年代以前に確認されている。その後確認情報は無い。絶滅したと思われる。	
生存への脅威	不明	
特記事項	仰烏帽子山の情報は、生育環境から判断して疑問が残る。	

ムラサキ		熊本県カテゴリー
		絶滅 (EX)
<i>Lithospermum erythrorhizon</i> Siebold et Zucc.		環境省カテゴリー
種子植物 ムラサキ科		絶滅危惧 I B 類 (EN)
選定理由	絶滅	
生育環境	山地の草地	
生育状況	阿蘇市 (旧波野村)、高森町、山都町 (旧矢部町)、水俣市、人吉市など県内各地に見られたが、1960 年代には確認できない状況になっていた。その後の確認情報はなく、絶滅したと思われる。	
生存への脅威	不明	
特記事項	30 年程前にあさぎり町で確認されたとの情報があるが、詳細は不明である。	

ルリハッカ		熊本県カテゴリー
		絶滅 (EX)
<i>Amethystea caerulea</i> L.		環境省カテゴリー
種子植物 シソ科		絶滅危惧 I A 類 (CR)
選定理由	絶滅	
生育環境	海辺の草地	
生育状況	1950 年に長洲町で採集されて以降、生育が確認されていない。すでに絶滅したと思われる。	
生存への脅威	不明	
特記事項		

ミツガシワ		熊本県カテゴリー
		絶滅 (EX)
<i>Menyanthes trifoliata</i> L.		環境省カテゴリー
種子植物 ミツガシワ科		
選定理由	絶滅	
生育環境	水湿地	
生育状況	阿蘇市 (旧阿蘇町千町無田) に見られたが、1907 年頃に絶滅したといわれる。	
生存への脅威	不明	
特記事項	九州での生育地は佐賀県 (唐津市榎原湿原)、大分県 (湯布院町、玖珠町)。	

## ミコシギク

熊本県カテゴリー

絶滅 (EX)

*Leucanthemella linearis* (Matsum.) Tzvelev種子植物  
キク科

環境省カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

選定理由 絶滅

生育環境 水湿地

生育状況 阿蘇市（旧阿蘇町千町無田）に生育していたが、1915年以降は採集されていない。絶滅したと思われる。

生存への  
脅威 不明

特記事項

## 野生絶滅 (EW)

## 種子植物

## ツクシカイドウ

熊本県カテゴリー

野生絶滅 (EW)

*Malus hupehensis* (Pamp.) Rehder種子植物  
バラ科

環境省カテゴリー

野生絶滅 (EW)

選定理由 絶滅

生育環境 低山地の疎林内

生育状況 1925年美里町（旧中央村西山）で初めて採集されたが、その後長い間、確認情報が無く、絶滅したのではないかとされていた。ところが1969年に同じ場所と思われるところで再発見された。しかし、その後の調査で生育は確認されておらず、絶滅したと思われる。近くの数軒の民家で庭木として栽培されており、現在はその実生苗が県内各所で栽培されている。

生存への  
脅威 不明

特記事項

## 絶滅危惧ⅠA類 (CR)

## シダ植物

## ナンカクラン

熊本県カテゴリー

絶滅危惧ⅠA類 (CR)

*Phlegmariurus hamiltonii* (Spreng.) Å.Löve et D.Löveシダ植物  
ヒカゲノカズラ科

環境省カテゴリー

選定理由 県内局限、その他（もともと希少）

生育環境 山地林内の湿った岩上や樹上

生育状況 天草市（旧天草町）で確認されている。個体数は極めて少なく、消滅の危険性が非常に高い。八代市（旧八代市、旧坂本村）でも採集されているが、現在は見られなくなっている。

生存への  
脅威 森林伐採、自然災害、捕獲・採集

特記事項

## シナミズニラ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧ⅠA類 (CR)

*Isoetes sinensis* T.C.Palmer var. *sinensis*シダ植物  
ミズニラ科

環境省カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

選定理由 県内局限、近年減少

生育環境 ため池の浅い水中や水際の湿った地上

生育状況 これまで、山鹿市（旧山鹿市）、熊本市（旧熊本市）、小国町、人吉球磨地域などで記録または採集されているが、現在生育が確認できる場所は、湯前町のみである。湯前町では、湿地の改修により一時大発生したが、その後激減した。

生存への  
脅威 池沼の改修、埋め立て、農業使用、水質汚濁

特記事項 過去に、熊本県でミズニラとされた記録は、シナミズニラである可能性が高い。

## ハマハナヤスリ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧 I A 類 (CR)

環境省カテゴリー

*Ophioglossum thermale* Kom.シダ植物  
ハナヤスリ科**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 海浜の湿った砂地、短草型草地**生育状況** 熊本市と上天草市（旧大矢野町）で採集されてから 20 年以上県内から生育確認の情報はなかったが、2017 年に益城町や熊本市（旧城南町）の人工的な短草型草地での生育が確認された。**生存への脅威** 海辺の改変等、草地の開発**特記事項** 本種は、海浜で生育する種と思われていたが、内陸部でも生育することが知られるようになったため、今後の調査で、さらに分布が広がる可能性がある。

## サクラジマハナヤスリ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧 I A 類 (CR)

環境省カテゴリー

*Ophioglossum kawamurae* Tagawaシダ植物  
ハナヤスリ科

絶滅危惧 I B 類 (EN)

**選定理由** 全国局限、県内局限、分布境界、特殊生息生育環境、その他（もともと希少）**生育環境** 暖地の日当たりの良い裸地および芝生内**生育状況** 県内では 2014 年に氷川町（旧竜北町）の 1ヶ所で初めて確認された。人為的な影響を受けやすい場所であり、2017 年に土地の造成により約半分の群落が宇城市に移植保存された。**生存への脅威** 土地造成、踏み付け、農業使用**特記事項** 日本固有種で、県外では宮崎県、鹿児島県、東京都に見られるのみである。

## アカハナワラビ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧 I A 類 (CR)

環境省カテゴリー

*Botrychium nipponicum* Makinoシダ植物  
ハナヤスリ科**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 落葉林内**生育状況** 南小国町と菊池市（旧菊池市）で生育が確認されている。南小国町では、落葉林内の広い範囲に生育しているが、シカが侵入しつつあり、今後減少する危険性が高い。**生存への脅威** 森林伐採、動物食害**特記事項** 県内では、2016 年に生育が確認された。熊本県では、これまで本種を他のハナワラビと混同していたり、冬季に落葉に紛れて生育しているため見過ごしてきた可能性があり、今後注意して探せば分布が広がる可能性がある。

## ヤシャゼンマイ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧 I A 類 (CR)

環境省カテゴリー

*Osmunda lancea* Thunb.シダ植物  
ゼンマイ科**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 山地の川沿いで湿り気が多い岩上・岩隙**生育状況** 水上村の 1ヶ所で生育が確認されている。個体数は極めて少なく、洪水による冠水等の影響で、生育状況は良くない。幼株も確認できない。すぐ近くの山の斜面が崩壊し、土砂が川まで流れ込んでいることや、洪水による河岸の浸食がみられ、土砂崩れ等による消滅が危惧される。**生存への脅威** 自然災害、河川改修、土砂流入**特記事項** 九州では熊本県のほか大分県、宮崎県のみで生育する。日本固有種。

## コケシノブ

*Hymenophyllum wrightii* Boschシダ植物  
コケシノブ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 山地の溪流脇の岩壁、落葉林内高所の岩場**生育状況** 山都町（旧清和村）、水上村で記録または生育が確認されている。山都町の生育地は溪流の増水で破壊され、近年生育が確認できない。**生存への脅威** 自然災害、森林伐採**特記事項**

## スジヒトツバ

*Cheiropleuria integrifolia* (D.C.Eaton ex Hook.)  
M.Kato, Y.Yatabe, Sahasi et N.Murak.シダ植物  
ヤブレガサウラボシ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 常緑林内の岩上**生育状況** 天草市（旧本渡市）の1ヶ所に複数の個体群が生育する。生育地は川沿いの路傍斜面でスギ植林地内である。森林伐採や道路工事が行われた場合は消滅する危険性が高い。**生存への脅威** 道路工事、自然災害、森林伐採**特記事項** 鹿児島県、宮崎県以南では広く分布する。

## デンジソウ

*Marsilea quadrifolia* L.シダ植物  
デンジソウ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** やや富栄養の浅い水中**生育状況** 以前は県内各地に普通に見られたが、急速に減少し、現在は相良村、天草市（旧牛深市、旧有明町）で確認されるのみである。**生存への脅威** 池沼の改修、水湿地の開発、自然遷移、農業使用**特記事項** 相良村の生育地は村有地であり、定期的に草刈が行われている。

## サンショウモ

*Salvinia natans* (L.) All.シダ植物  
サンショウモ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 平地の池沼**生育状況** かつては県内各地にやや普通に生育していたが、急速に減少し宇土市の1ヶ所に知られるのみである。近年、この産地もハスの増加により生育量が減少している。**生存への脅威** 池沼の改修、農業使用**特記事項** 南米原産のオオサンショウモがしばしば栽培され、逸出していることがある。

<b>アカウキクサ</b>	熊本県カテゴリー
	絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Azolla pinnata</i> R.Br.	環境省カテゴリー
	絶滅危惧 I B 類 (EN)

**選定理由** 近年減少

**生育環境** やや富栄養のため池、水田

**生育状況** かつては県内各地のため池や平地の池溝に普通に見られたが、1970年代以降急速に減少し、現在、天草市で見ることができるだけである。

**生存への脅威** 管理放棄、池沼の改修、水湿地の開発、農業使用

**特記事項** 現在、散発的に見られる外来種のアカウキクサ属植物が、各地で逸出して本種と競合している可能性がある。

<b>ウチワホングウシダ</b>	熊本県カテゴリー
	絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Lindsaea simulans</i> Ching, nom. nud.	環境省カテゴリー
	絶滅危惧 I B 類 (EN)

**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）

**生育環境** 常緑林内の溪流沿い

**生育状況** 県内では2016年に上天草市（旧松島町）の1ヶ所で初めて確認された。若い二次林に流れる溪流の岸に約40個体が見られる。また、2002年には本種と思われるものが天草市（日本渡市）で確認されていたが、確かな同定がなされる前に道路の拡張によって消滅した。

**生存への脅威** 自然災害、森林伐採、その他（冷害）

**特記事項**

<b>ハマホラシノブ</b>	熊本県カテゴリー
	絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Odontosoria biflora</i> (Kaulf.) C.Chr.	環境省カテゴリー

**選定理由** 県内局限

**生育環境** 海辺の崖地

**生育状況** 天草市（旧牛深市、旧天草町）に見られるが、個体数は少ない。旧天草町では切り立った崖地に数個体が生育しているだけであり、崖地の崩落によって消失する可能性がある。

**生存への脅威** 道路工事、自然災害

**特記事項**

<b>ウスバイシカグマ</b>	熊本県カテゴリー
	絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Microlepia substrigosa</i> Tagawa	環境省カテゴリー
	準絶滅危惧 (NT)

**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）

**生育環境** 常緑林内

**生育状況** 県内では2014年に天草市（旧有明町）、2017年に美里町（旧中央町）で確認された。いずれも個体数は非常に少なく、天草市の産地ではイシカグマとの雑種アイイシカグマが多数を占めている。

**生存への脅威** 森林伐採、自然災害

**特記事項** 美里町（旧中央町）では、上記の群落以外にも本種と同定された群落があるが、生育環境や形態に疑問が残っている。

## ユノミネシダ

*Histiopteris incisa* (Thunb.) J. Sm.シダ植物  
コバノイシカグマ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 向陽の林縁**生育状況** 1994年、天草市（旧牛深市）で採集されたが、林道工事のため消滅した。その後、県内での確認情報はない。**生存への脅威** 道路工事、自然災害、自然遷移、その他（冷害）**特記事項** 南方系のシダで、鹿児島県南部には広く分布する。温暖化が進めば、分布が拡大して北上する可能性がある。

## ヒカゲアマクサシダ

*Pteris tokioi* Masam.シダ植物  
イノモトソウ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 暖地の常緑林内**生育状況** 県内では2014年に水俣市の1ヶ所で初めて確認された。当初はスギ植林に5~10個体が確認されていたが、2017年に生育地の一部が伐採され絶滅寸前の状態である。**生存への脅威** 森林伐採、その他（冷害）**特記事項**

## オオアマクサシダ

*Pteris alata* Lam.シダ植物  
イノモトソウ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 分布境界、県内局限、地域的孤立・希少**生育環境** 常緑林内**生育状況** 県内では2017年に天草市（旧本渡市）の1ヶ所で初めて確認された。非常に狭い範囲に10個体未満が見られるのみである。**生存への脅威** 森林伐採、その他（冷害）**特記事項** 熊本県は分布の北限である。

## ハチジョウシダ

*Pteris fauriei* Hieron.シダ植物  
イノモトソウ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 常緑林内**生育状況** 天草市（旧本渡市、旧牛深市、旧有明町、旧天草町）、水俣市で確認されている。多くの生育地は10個体未満が見られるのみであるが、旧牛深市では比較的まとまった数の個体が良好に生育している。**生存への脅威** 森林伐採、自然災害、その他（冷害）**特記事項** 南方系のシダで、宮崎県や鹿児島県には広く分布する。温暖化が進めば、さらに分布が拡大する可能性がある。



## ヤワラハチジョウシダ

*Pteris natiensis* Tagawaシダ植物  
イノモトソウ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類（EN）**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 常緑林内**生育状況** 県内では2014年以降、水俣市、苓北町、天草市（旧天草町）で確認された。水俣市、苓北町はそれぞれ20個体未満、天草市は1個体だけである。**生存への脅威** 森林伐採、自然災害、道路工事**特記事項** 温暖化が進めば、さらに分布が拡大する可能性がある。日本固有種。

## サツマハチジョウシダ

*Pteris satsumana* Sa.Kurataシダ植物  
イノモトソウ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 常緑林内**生育状況** 水俣市の3ヶ所、天草市（旧新和町）で生育が確認されている。水俣市の1ヶ所では沢沿いに数十個体が点在しているが、そのほかの生育地はそれぞれ10個体未満のみである。**生存への脅威** 森林伐採、その他（冷害）、自然災害**特記事項** 温暖化が進めば、さらに分布が拡大する可能性がある。日本固有種。

## モエジマシダ

*Pteris vittata* L.シダ植物  
イノモトソウ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 岩上や人家の石垣**生育状況** 熊本市（旧熊本市）、芦北町、球磨村、水俣市、天草市（旧御所浦町）で生育が記録または確認されている。生育地は、向陽の岩場や人家の石垣などである。芦北町の生育地では、大きな個体の周辺に小さな個体が多数見られ、孢子で繁殖していることがうかがわれる。**生存への脅威** その他（冷害）**特記事項** もともと熱帯系の植物で、上記の生育地以外でも温室など冬の寒さを越せるようなところで観察されることがある。今後温暖化が進むと熊本県でも分布が拡大する可能性がある。

## タキミシダ

*Antrophyum obovatum* Bakerシダ植物  
イノモトソウ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類（EN）**選定理由** その他（もともと希少）**生育環境** 林内溪側の陰湿な岩上**生育状況** 水俣市、人吉市、球磨村、八代市（旧八代市、旧坂本村）、美里町（旧砥用町、旧中央町）、西原村、南阿蘇村（旧久木野村）、天草市（旧本渡市）など、県内各地で記録または生育が確認されている。確認された生育地点は多いが生育個体数は少なく、その後確認できない生育地点も多い。**生存への脅威** 森林伐採、自然災害、捕獲・採集**特記事項**

## コタニワタリ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧ⅠA類 (CR)

環境省カテゴリー

*Asplenium scolopendrium* L.シダ植物  
チャセンシダ科**選定理由** その他 (もともと希少)、分布境界、近年減少**生育環境** 落葉林内の陰湿な地上と岩上**生育状況** 山鹿市 (旧菊鹿町)、山都町 (旧矢部町)、球磨村に記録または確認されているが、球磨村の生育地は現状不明である。限られた生育地点の狭い面積に少数の生育が確認されるだけである。栽培目的の採取と生育環境の変化により減少している。**生存への脅威** 動物食害、森林伐採、自然災害、捕獲・採集**特記事項** 国内の分布南限。多様性条例 (指定希少野生動植物)。

## オオタニワタリ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧ⅠA類 (CR)

環境省カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

*Asplenium antiquum* Makinoシダ植物  
チャセンシダ科**選定理由** 県内局限**生育環境** 陰湿な山林中の樹幹や岩上**生育状況** 天草市 (旧天草町、旧新和町) で生育が確認されている。旧天草町では 10 個体未満が狭い範囲に見られるのみである。旧新和町は現状不明である。**生存への脅威** 森林伐採、自然災害、捕獲・採集**特記事項** 南方系の植物で、鹿児島県や宮崎県には広く分布する。

## ホコガタシダ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧ⅠA類 (CR)

環境省カテゴリー

絶滅危惧ⅠA類 (CR)

*Asplenium ensiforme* Wall. ex Hook. et Grev.シダ植物  
チャセンシダ科**選定理由** 国内局限、県内局限、分布境界、地域的孤立・希少**生育環境** 山地林下の溪流近くの岩上**生育状況** 山江村の 1ヶ所で確認されている。非常に狭い範囲に孢子囊群を付ける株が約 15 株あり、周囲に子株が多く見られる。**生存への脅威** 森林伐採、自然災害、捕獲・採集**特記事項**

## シモツケヌリトラノオ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧ⅠA類 (CR)

環境省カテゴリー

*Asplenium boreale* (Ohwi ex Sa.Kurata) Nakaikeシダ植物  
チャセンシダ科**選定理由** 県内局限、分布境界**生育環境** 山地林内の岩上**生育状況** 八代市 (旧坂本村)、芦北町で生育が確認されている。溪流沿いのやや乾いた岩壁に生育する。他にも、八代市 (旧泉村) での記録があるが、現在の状況は不明である。**生存への脅威** 自然災害**特記事項** かつてはヌリトラノオと区別されていなかったため、ヌリトラノオの古い記録の中には本種が含まれている可能性もある。熊本県が国内の分布南限である。

## イワヤシダ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧 I A 類 (CR)

環境省カテゴリー

*Diplaziopsis cavaleriana* (H.Christ) C.Chr.シダ植物  
イワヤシダ科**選定理由** 近年減少、その他（もともと希少）**生育環境** 常緑林内の陰湿地**生育状況** 県内各地で確認されていたが、林道工事、砂防工事、森林伐採等により著しい減少が見られる。近年は動物食害によって減少に拍車がかかっているが、2017年に小国町で大きな群落を確認された。**生存への脅威** 動物食害、森林伐採、道路工事、自然災害**特記事項**

## タチヒメワラビ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧 I A 類 (CR)

環境省カテゴリー

*Phegopteris bukoensis* (Tagawa) Tagawaシダ植物  
ヒメシダ科**選定理由** 分布境界、地域的孤立・希少、その他（もともと希少）、近年減少**生育環境** 落葉林内の石灰岩地**生育状況** 山都町（旧矢部町）に1ヶ所の生育地が確認されている。周辺はシカ食害による下層植生の破壊が激しく、本種も激しい食害を受けた。シカ忌避植物の群落内に混生して少数が残存するのみの極めて危険な状況にある。**生存への脅威** 動物食害、自然遷移**特記事項** 日本固有種で熊本県は分布の南限である。九州では熊本県にのみ分布し、西日本では他に四国に2ヶ所の生育地が知られるのみである。

## ホソバショリマ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧 I A 類 (CR)

環境省カテゴリー

*Thelypteris beddomei* (Baker) Chingシダ植物  
ヒメシダ科**選定理由** 県内局限**生育環境** 山地の林縁**生育状況** 現在生育が確認されているのは、芦北町の1ヶ所である。川に沿っていくつかの群落があり、生育は比較的良好である。八代市（旧坂本村）、山江村でも記録されているが、現状は不明である。**生存への脅威** 自然災害、自然遷移**特記事項**

## アミシダ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧 I A 類 (CR)

環境省カテゴリー

*Thelypteris griffithii* (Hook.f. et Thomson) C.F.Reed  
var. *wilfordii* (Hook.) C.M.Kuoシダ植物  
ヒメシダ科**選定理由** その他（もともと希少）**生育環境** 常緑林内の陰湿な地上**生育状況** 水俣市に1ヶ所の生育地が知られるのみである。山地カシ林内の陰湿な傾斜地に極く少数個体が点在するが、近年は動物食害により絶滅寸前の状態である。**生存への脅威** 森林伐採、自然災害、動物食害**特記事項**

## ミゾシダモドキ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧ⅠA類 (CR)

環境省カテゴリー

*Thelypteris omeiensis* (Baker) Chingシダ植物  
ヒメシダ科**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 山地の溪流辺**生育状況** これまで、五木村と水俣市（2ヶ所）で採集されているが、現在も確認できるのは水俣市の1ヶ所だけである。溪流沿いの湿った岩上に、いくつかの小群落が見られる。生育地は動物食害が進んでおり、一部に食害の形跡が見られる。また、生育地のスギ植林は伐採期を迎えており、伐採による消滅が危惧される。五木村は、現在生育が確認できず、消滅した可能性がある。**生存への脅威** 森林伐採、動物食害、自然災害**特記事項**

## タイヨウシダ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧ⅠA類 (CR)

環境省カテゴリー

絶滅危惧ⅠA類 (CR)

*Thelypteris erubescens* (Wall. ex Hook.) Chingシダ植物  
ヒメシダ科**選定理由** 全国局限、県内局限、分布境界**生育環境** 常緑林の林縁**生育状況** 天草市に1ヶ所の生育地が知られるのみである。付近を流れる溪流の増水による土石流の影響を強く受けたが、緊急保護対策によりかろうじて個体の存続が維持された。今後、万全の保護対策を継続していく必要がある。**生存への脅威** 自然災害、その他（冬季の低温）**特記事項**

国内では屋久島に見られたが、現在確認できないという。天草市は国内唯一の産地であり、本種の分布北限でもある。多様性条例（指定希少野生動植物）。

## イワデンダ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧ⅠA類 (CR)

環境省カテゴリー

*Woodsia polystichoides* D.C.Eatonシダ植物  
イワデンダ科**選定理由** 分布境界、地域的孤立・希少**生育環境** 落葉林内の岩上**生育状況** 生育が確認されているのは、八代市（旧泉村）、南阿蘇村（旧久木野村）の2ヶ所のみである。溪流脇の明るい岩上に極少数個体が点在する。いずれも遊歩道に近く、人の立ち入りによる影響が懸念される。球磨郡でも記録があるが、詳細は不明である**生存への脅威** 人等の接近・利用、自然災害**特記事項**

九州では分布量が少なく、八代市は国内の分布南限である。

## テバコワラビ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧ⅠA類 (CR)

環境省カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

*Athyrium atkinsonii* Bedd.シダ植物  
メシダ科**選定理由** 県内局限、分布境界、近年減少**生育環境** 山地の落葉林内**生育状況** 山都町（旧矢部町）と八代市（旧泉町）の境界に生育している。シカ食害の進行で危機的状況にあったが、シカ食害防止柵の設置により、回復傾向にある。**生存への脅威** 動物食害、森林伐採**特記事項**

九州では、九州中央山地の宮崎県側にも見られるが、この地域が国内分布の南限である。

## ヘビノネゴザ

*Athyrium yokoscense* (Franch. et Sav.) H.Christシダ植物  
メシダ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）、特殊生息生育環境**生育環境** 鉱山周辺の岩礫地や石垣**生育状況** あさぎり町（旧深田村）、山江村の鉱山跡周辺の日当たりの良い環境に局所的に生育することが知られていたが、2019年に天草市（旧天草町）でまとまった群落が確認された。**生存への脅威** 道路工事、自然災害**特記事項**

## サカバサトメシダ

*Athyrium palustre* Seriz.シダ植物  
メシダ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 II 類 (VU)**選定理由** 全国局限、県内局限、特殊生息生育環境**生育環境** 山地の林縁湿地**生育状況** 人吉市に1ヶ所の生育地が知られる。水田の畔や湿地に局所的に生育している。**生存への脅威** 水湿地の開発、自然遷移、除草**特記事項**

## シイバサトメシダ

*Athyrium neglectum* Seriz. subsp. *australe* Seriz.シダ植物  
メシダ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 落葉林の林縁**生育状況** 県内では2015年に八代市（旧泉村）で初めて確認された。ブナ帯の林床に生育するが、シカ食害防止柵外ではほとんど見ることができない。**生存への脅威** 動物食害**特記事項** 日本固有亜種であり、熊本県は分布南限である。

## シマイヌワラビ

*Athyrium tozanense* (Hayata) Hayataシダ植物  
メシダ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)**選定理由** 全国局限、県内局限、その他（もともと希少）、近年減少**生育環境** 山地林内の湿った岩上**生育状況** 五木村に複数の生育地が確認されている。溪流脇に生育するため増水や斜面崩壊で生育個体数が減少しつつある。**生存への脅威** 森林伐採、自然災害**特記事項**

## コモチヌワラビ

*Athyrium strigillosum* (Lowe) T.Moore ex Salomon

シダ植物  
メシダ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)

**選定理由** 国内局限、県内局限、分布境界、特殊生息生育環境

**生育環境** 林内溪側の湿った地上

**生育状況** 阿蘇市（旧一の宮町）、産山村に生育が確認されている。溪流脇に数百個体が生育する。遷移の進行と増水による生育地の破壊により生育状況が悪化している。

**生存への脅威** 自然遷移、水湿地の開発、自然災害

**特記事項** 湧水の流れる水流辺に限定される。国内では他に屋久島と大分県の 1 ヶ所に確認されるが、屋久島ではシカ食害により現状不明となっている。多様性条例（指定希少野生動植物）。

## ホウライヌワラビ

*Athyrium subrigescens* (Hayata) Hayata ex H.Itô

シダ植物  
メシダ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)

**選定理由** 国内局限、県内局限、その他（もともと希少）

**生育環境** 常緑林内の溪流辺

**生育状況** 生育が確認されているのは五木村の 1 ヶ所のみであるが、動物食害、および生育地の一部が土砂に埋まったことにより個体数が大きく減少した。

**生存への脅威** 森林伐採、自然災害、動物食害

**特記事項**

## アオグキヌワラビ

*Athyrium viridescentipes* Sa.Kurata

シダ植物  
メシダ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)

**選定理由** 国内局限、県内局限、その他（もともと希少）

**生育環境** 常緑林内、林縁

**生育状況** 水俣市の 1 ヶ所で少数個体の生育が確認されている。球磨郡、芦北郡でも記録があるが、現状は不明である。シカ食害を受けている可能性がある。

**生存への脅威** 森林伐採、自然遷移、動物食害

**特記事項** 日本固有種で、九州にのみ分布する。

## サキモリヌワラビ

*Athyrium oblitescens* Sa.Kurata

シダ植物  
メシダ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー

**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）

**生育環境** 山地林内

**生育状況** 八代市（旧泉村）のスギ林下に 10 個体程度が生育していたが、シカの食害により消滅した。球磨郡内での情報もあるが、現状は不明である。

**生存への脅威** 動物食害、森林伐採、自然災害

**特記事項** 日本固有種で、熊本県が分布南限である。

ヒメノコギリシダ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Diplazium wichurae</i> (Mett.) Diels var. <i>amabile</i> Tagawa		環境省カテゴリー
		準絶滅危惧 (NT)
<b>選定理由</b>	国内局限、県内局限、模式産地	
<b>生育環境</b>	山地林下の陰湿な岩上	
<b>生育状況</b>	天草市（旧天草町）で発見され、その後しばらく生育していたが、現在は確認できなくなっている。球磨郡でも生育の情報があるが、詳しいことはわかっていない。	
<b>生存への脅威</b>	森林伐採、自然災害	
<b>特記事項</b>	天草市（旧天草町）が模式産地である。国内では、他に四国、福岡県、長崎県、鹿児島県で生育が確認されている日本固有変種である。	

イヨクジャク		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Diplazium okudairae</i> Makino		環境省カテゴリー
		絶滅危惧 I B 類 (EN)
<b>選定理由</b>	県内局限、近年減少、その他（もともと希少）	
<b>生育環境</b>	山地林内、溪谷の湿り気の多い地上や岩上	
<b>生育状況</b>	相良村、水俣市にわずかな個体が生育しているが、シカ食害やそれに伴う生育地の乾燥化で、消滅寸前である。人吉市、八代市（旧東陽村）、山都町（旧矢部町）などで採集記録があるが、現在は生育が確認できない。	
<b>生存への脅威</b>	森林伐採、捕獲・採集、自然災害、動物食害	
<b>特記事項</b>		

フクレギシダ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Diplazium pinfaense</i> Ching		環境省カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
<b>選定理由</b>	国内局限、県内局限	
<b>生育環境</b>	山地の林内の陰湿地	
<b>生育状況</b>	天草下島の2ヶ所で生育が確認されている。森林伐採と自然災害によって個体数の減少が続いている。	
<b>生存への脅威</b>	森林伐採、自然災害、捕獲・採集	
<b>特記事項</b>	種の保存法（希少野生動植物種）。多様性条例（指定希少野生動植物）。	

クワレシダ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Diplazium esculentum</i> (Retz.) Sw.		環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	県内局限、その他（もともと希少）	
<b>生育環境</b>	向陽の草地	
<b>生育状況</b>	人吉市で生育が確認されている。生育地は定期的に草刈がなされているため、孢子嚢群を付ける個体はほとんど見られない。人為的な影響を受けやすい場所に生育しているため、生育状況を注視していく必要がある。	
<b>生存への脅威</b>	除草、土地造成	
<b>特記事項</b>	南方系のシダで、人吉市に隣接する鹿児島県伊佐市では堤防等に広く生育している。温暖化が進めば、熊本県でもさらに分布を広げる可能性がある。	

## ウスバミヤマノコギリシダ

*Diplazium deciduum* N.Ohta et M.Takamiyaシダ植物  
メシダ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 常緑林内**生育状況** 水俣市、芦北町で生育が確認されている。いずれも狭い範囲にごく少数個体が見られるのみである。**生存への脅威** 森林伐採、動物被害**特記事項** これまで本種と認識されていたものの多くがミヤマノコギリシダとの雑種であった。

## ニセヒロハノコギリシダ

*Diplazium dilatatum* Blume var. *heterolepis* Seriz.シダ植物  
メシダ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 常緑林内**生育状況** 県内では 2014 年に天草市（旧牛深市）の 1 ヶ所で初めて確認された。スギ植林内の谷筋に 50~100 個体が良好に生育しており、そのうち孢子嚢群を付けたものが 20 個体ほど見られる。**生存への脅威** 森林伐採、その他（冷害）**特記事項** 熊本市（旧富合町）にも本種と思われるものが確認されている。

## シマシロヤマシダ

*Diplazium doederleinii* (Luerss.) Makinoシダ植物  
メシダ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、地域的孤立・希少**生育環境** 常緑林内**生育状況** 水俣市の 1 ヶ所でのみ生育が確認されている。生育地は溪流沿いの林床で、斜面に数ヶ所大きな群落をなしている。**生存への脅威** 森林伐採、自然災害**特記事項** 熊本県産を含む屋久島北部より北のものは、様々な形態的特徴により将来シマシロヤマシダの亜種として取り扱われることが予報されている。

## ミクマノシダ

*Diplazium conterminum* H.Christ × *Diplazium hachijoense* Nakaiシダ植物  
メシダ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 全国局限、県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 暖地の常緑林内**生育状況** 県内では 2015 年に水俣市の 1 ヶ所で初めて確認された。スギ植林内に多くの個体が良好に生育しているが、2017 年に生育地の一部が伐採されたために今後影響を受ける可能性がある。**生存への脅威** 森林伐採、その他（冷害）**特記事項** 本種は当初シロヤマシダとニセコクモウクジャクの雑種として記載されたが、その後の研究で三倍体無融合生殖種であることが確認された。しかしながら、新たな学名は付けられていない。日本固有分類群である。



ヒュウガシケシダ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
		環境省カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Deparia minamitanii</i> Seriz.	シダ植物 メシダ科	
<b>選定理由</b>	全国局限、県内局限、特殊生息生育環境、地域的孤立・希少	
<b>生育環境</b>	常緑林内の湿地	
<b>生育状況</b>	生育が確認されているのは、山鹿市（旧鹿北町）の 1 ヶ所のみである。その生育地は、一時道路工事で破壊されたが、近年すぐ近くの場所にわずかな個体が生育しているのが見つかった。	
<b>生存への脅威</b>	道路工事、森林伐採、自然災害	
<b>特記事項</b>	日本固有種。宮崎県のタイプ産地も一時消失したが、その後宮崎県でも新たな生育地が確認された。種の保存法（希少野生動植物種）。	

ケキンモウワラビ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
		環境省カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Hypodematium glandulosopilosum</i> (Tagawa) Ohwi	シダ植物 キンモウワラビ科	
<b>選定理由</b>	県内局限、分布境界、特殊生息生育環境、地域的孤立・希少	
<b>生育環境</b>	石灰岩上	
<b>生育状況</b>	生育が確認されているのは、八代市（旧坂本村）の 1 ヶ所のみである。道路沿いの石灰岩の岩壁の割れ目や凹地に数十個体が生育している。かつては、岩場全体に見られたが、コンクリートの吹き付けにより多くの個体が失われた。	
<b>生存への脅威</b>	道路工事、自然災害	
<b>特記事項</b>	国内では、中国・四国地方に稀に分布する。熊本県が国内の分布南限である。	

リュウキュウイタチシダ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
		環境省カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Dryopteris sparsa</i> (Buch.-Ham. ex D.Don) Kuntze var. <i>ryukyuensis</i> Seriz.	シダ植物 オシダ科	
<b>選定理由</b>	県内局限、その他（もともと希少）	
<b>生育環境</b>	山地林内の岩壁	
<b>生育状況</b>	2018 年に天草市（旧有明町）の 2 ヶ所、上天草市（旧姫戸町）、八代市（旧坂本村）で少数個体の生育が確認された。山都町（旧矢部町）で 1977 年に採集された標本が近年確認されているが、現状は不明である。	
<b>生存への脅威</b>	森林伐採、自然災害	
<b>特記事項</b>	母種のナガバノイタチシダと酷似しており、これまで県内では区別されていなかった。	

イヌタマシダ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
		環境省カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Dryopteris hayatae</i> Tagawa	シダ植物 オシダ科	
<b>選定理由</b>	県内局限、その他（もともと希少）	
<b>生育環境</b>	常緑林内溪側および陰湿な岩場	
<b>生育状況</b>	これまで採集または記録されているのは、水俣市内の 2 ヶ所と天草市（旧五和町）だけである。このうち、水俣市の 1 ヶ所では、滝の水の減少など生育環境の変化により消滅している。天草市では多くの個体が安定して生育している。	
<b>生存への脅威</b>	森林伐採、自然災害	
<b>特記事項</b>	東京都八丈島にも生育しているが、天草市はそれに次ぐ北限となる。	

## キリシマイワヘゴ

*Dryopteris hangchowensis* Ching

シダ植物  
オシダ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)

**選定理由** 国内局限、県内局限、その他（もともと希少）

**生育環境** 山中林内

**生育状況** 1987年に多良木町で採集されているが、もともと個体数が非常に少なかった上に現地ではシカ食害が深刻であるために、その後の調査で確認できていない。すでに絶滅している可能性が高い。

**生存への脅威** 森林伐採、動物食害

**特記事項** 模式産地である宮崎県では、採取やシカの食害等により激滅しているという。種の保存法（希少野生動植物種）。

## クマイワヘゴ

*Dryopteris anthracinisquama* Miyam.

シダ植物  
オシダ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)

**選定理由** 国内局限、県内局限、模式産地、近年減少、地域的孤立・希少

**生育環境** 山地林内

**生育状況** 生育地は球磨郡内の1ヶ所である。生育場所が極端に狭い上に、道路工事や採集、動物食害もあり大きく数を減らした。現在ではシカ食害防止柵内で数株見られるのみである。郡内にはもう1ヶ所の生育地が知られていたが、食害と採集により消滅した。

**生存への脅威** 動物食害、自然災害、捕獲・採集

**特記事項** 熊本県、福岡県、宮崎県だけに生育する日本固有種である。和名は模式産地である球磨による。多様性条例（指定希少野生動植物）。

## ツツイワヘゴ

*Dryopteris tsutsuiana* Sa.Kurata

シダ植物  
オシダ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)

**選定理由** 全国局限、県内局限、地域的孤立・希少

**生育環境** 山地の溪流沿いの林下

**生育状況** これまで、山都町（旧矢部町）と美里町（旧砥用町）での記録がある。山都町では、10数年前までは溪流沿いの落葉林下に数個体が生育していたが、その後シカ食害により見られなくなった。また、美里町は、1975年に1個体生育していた記録のみで、現在県内での自生は確認できない。

**生存への脅威** 動物食害、森林伐採、自然災害

**特記事項** 日本固有種。県内のものについては、栽培下で保存されている。福岡県の模式産地でも現在は生育が確認できないという。

## ニセヨゴレイタチシダ

*Dryopteris hadanoi* Sa.Kurata

シダ植物  
オシダ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)

**選定理由** 全国局限、県内局限、地域的孤立・希少

**生育環境** 常緑林内

**生育状況** 天草市（旧牛深市）と宇城市の各1ヶ所に少数個体が確認されている。宇城市では順調に生育しているが、天草市では現在確認できない。人為的な影響による環境変化で消滅する危険性が高い。

**生存への脅威** 森林伐採、道路工事、踏み付け、除草

**特記事項** R L 2014 までヨゴレイタチシダとして掲載されていたものは、本種の誤認であった。

ヌカイタチシダマガイ		熊本県カテゴリー
<i>Dryopteris simasakii</i> (H.Itô) Sa.Kurata		絶滅危惧 I A 類 (CR)
シダ植物 オシダ科		環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	全国局限、県内局限、地域的孤立・希少、分布境界	
<b>生育環境</b>	渓谷の湿り気の多い地上や岩上	
<b>生育状況</b>	八代市（旧泉村）、五木村、山鹿市（旧鹿北町）で生育が確認されている。群落を作らない。	
<b>生存への脅威</b>	森林伐採、自然災害、動物食害	
<b>特記事項</b>	水俣市でも本種と考えられる個体が採集されている。九州では熊本県のみ分布しており、熊本県は国内分布の南限である。	

アツキノヌカイタチシダマガイ		熊本県カテゴリー
<i>Dryopteris paomowanensis</i> Ching et Z.Y.Liu		絶滅危惧 I A 類 (CR)
シダ植物 オシダ科		環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	県内局限、分布境界	
<b>生育環境</b>	山地林縁の岩上	
<b>生育状況</b>	芦北町と八代市（旧泉村）に記録されている。芦北町では溪流沿いの岩場に良好に生育している。八代市では林道脇の岩壁面に少数個体が点在する。	
<b>生存への脅威</b>	道路工事、自然災害	
<b>特記事項</b>		

オワセベニシダ		熊本県カテゴリー
<i>Dryopteris ryô-itoana</i> Sa.Kurata		絶滅危惧 I A 類 (CR)
シダ植物 オシダ科		環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	全国局限、県内局限、地域的孤立・希少種	
<b>生育環境</b>	落葉林内の渓谷の岩壁	
<b>生育状況</b>	八代市（旧泉村）と五木村で少数個体の生育が確認されている。わずかな環境の変化で消滅が危惧される状況にある。	
<b>生存への脅威</b>	森林伐採、自然災害	
<b>特記事項</b>	本種の主な産地は紀伊半島である。九州では熊本県と大分県に分布するのみであり、熊本県は国内分布の南限である。	

マルバヌカイタチシダモドキ		熊本県カテゴリー
<i>Dryopteris tsugiwoi</i> Sa.Kurata		絶滅危惧 I A 類 (CR)
シダ植物 オシダ科		環境省カテゴリー 絶滅危惧 I A 類 (CR)
<b>選定理由</b>	国内局限、県内局限、その他（もともと希少）	
<b>生育環境</b>	山地の林内	
<b>生育状況</b>	五木村でごく少数の生育が確認されている。シカ食害による下層植生の破壊が激しく、斜面の崩壊などが起きると消滅する可能性がある。また、林道脇であるため生育地周辺の道路工事には十分な配慮が必要。	
<b>生存への脅威</b>	動物食害、道路工事、森林伐採	
<b>特記事項</b>	九州では他に鹿児島県に 1 ヶ所の生育地点が記録されているが、現状不明であるという。	

## エビノオオクジャク

*Dryopteris dickinsii* (Franch. et Sav.) C.Chr. × *Dryopteris polylepis* (Franch. et Sav.) C.Chr.シダ植物  
オシダ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)**選定理由** 全国局限、近年減少、県内局限**生育環境** 山地林内の陰湿な地上**生育状況** 県内では美里町（旧中央町）、人吉市、五木村、相良村などで確認されている。五木村、美里町ではかつて大きな群落が見られたが、シカの食害、生育地の埋め立てにより激減している。人吉市、相良村は 1 個体が確認されているのみである。**生存への脅威** 動物食害、森林伐採、自然災害**特記事項** 本種はオオクジャクシダとミヤマクマワラビの雑種と考えられてきたが、無融合生殖を行う独立種であるとの見解もある。現在まで未記載である。

## ヤマエオオクジャク

*Dryopteris* sp.シダ植物  
オシダ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県特産、全国局限、県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 山地林内**生育状況** 山江村、五木村、美里町（旧砥用町）などで確認されている。当初発見された山江村ではシカの食害により激減し、防護ネット内およびシカの届かない岩場でわずかに見られるのみである。五木村、美里町ではシカ食害で消滅した可能性がある。**生存への脅威** 動物食害、森林伐採、自然災害**特記事項** 熊本県のみで見られる固有分類群である。種としての実態があることは分かっているが、現在まで未記載である。

## ヒュウガカナワラビ

*Arachniodes hiugana* Sa.Kurataシダ植物  
オシダ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)**選定理由** 国内局限、県内局限**生育環境** 林内溪側の陰湿な地上**生育状況** あさぎり町（旧上村）に 1 群落の生育が知られる。溪流脇のスギ植林下の狭い範囲に生育している。生育状態が悪化しており、孢子囊群を生じた葉も少ない。**生存への脅威** 動物食害、森林伐採、自然遷移**特記事項** この地域にのみ知られる日本固有種である。

## イツキカナワラビ

*Arachniodes cantilenae* Sa.Kurataシダ植物  
オシダ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)**選定理由** 国内局限、県内局限、模式産地**生育環境** 溪側の山地林床**生育状況** 現在生育が確認できるのは、五木村、山都町（旧矢部町）、八代市（旧泉村）の 3 地点である。五木村の生育地にはかつて大きな群落があったが、シカの食害等により激減した。その後、シカ食害防止柵がかけられ、回復傾向にある。山都町の個体数もわずかである。**生存への脅威** 動物食害、森林伐採、自然災害**特記事項** 五木村が模式産地の日本固有種である。ほかには、佐賀県、宮崎県に生育しているだけである。

ヒゴカナワラビ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Arachniodes simulans</i> (Ching) Ching		環境省カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
シダ植物 オシダ科		
<b>選定理由</b>	県特産、全国局限、県内局限	
<b>生育環境</b>	常緑林内の溪流近く	
<b>生育状況</b>	球磨郡で生育が確認されている。一つの河川沿いに数ヶ所の生育地が知られているが、個体数は非常に少ない。	
<b>生存への脅威</b>	動物食害、森林伐採、自然災害	
<b>特記事項</b>	国内では熊本県だけに生育が知られている。	

ツルダカナワラビ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Arachniodes yaoshanensis</i> (Y.C.Wu) Seriz.		環境省カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
シダ植物 オシダ科		
<b>選定理由</b>	全国局限、県内局限、その他（もともと希少）	
<b>生育環境</b>	常緑林内や林縁	
<b>生育状況</b>	天草市（旧天草町）、八代市（旧坂本村）で確認されている。個体数、生育面積ともに非常に少ない。	
<b>生存への脅威</b>	森林伐採、除草、道路工事、人等の接近・利用	
<b>特記事項</b>	ホソパカナワラビとの雑種であるイヌツルダカナワラビは熊本県南部を中心に点々と見られる。八代市のものは根茎が長く這うことで典型と異なるが、本種と同定されている。	

キュウシュウイノデ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Polystichum grandifrons</i> C.Chr.		環境省カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
シダ植物 オシダ科		
<b>選定理由</b>	国内局限、県内局限、地域的孤立・希少、分布境界	
<b>生育環境</b>	常緑林内	
<b>生育状況</b>	これまで水俣市と天草市（旧本渡市、旧五和町）で採集されている。旧五和町では崩落により一時確認できなくなっていたが、近年同じ場所で再確認された。天草市では2ヶ所の生育地点を合わせても13個体である。水俣市では近年生育が確認されておらず、消滅した可能性がある。	
<b>生存への脅威</b>	森林伐採、自然災害	
<b>特記事項</b>	国内では熊本県と鹿児島県にのみ分布し、天草市（旧五和町）の生育地が分布の北限となる。	

ナンピイノデ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Polystichum otomasui</i> Sa.Kurata		環境省カテゴリー
		準絶滅危惧 (NT)
シダ植物 オシダ科		
<b>選定理由</b>	国内局限、県内局限、模式産地、近年減少	
<b>生育環境</b>	山地林内	
<b>生育状況</b>	人吉市では、かつて谷を埋め尽くす程の大群落をなしていたが、森林の伐採や近年のシカの食害で激減しており、絶滅も危惧される状況である。近年錦町でも確認されたが、同様にシカの食害の影響を受けている。	
<b>生存への脅威</b>	動物食害、森林伐採	
<b>特記事項</b>	人吉市が模式産地で、和名は熊本県南部（肥後南部）の意。これまで熊本県と宮崎県でのみ生育するとされていたが、近年大分県、中国（福建省）で新産地が発見された。	

## クマヤブソテツ

*Cyrtomium anomophyllum* (Zenker) Fraser-Jenk.シダ植物  
オシダ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)**選定理由** 県特産、国内局限、県内局限**生育環境** 常緑林内の陰湿な岩礫地**生育状況** 水上村と八代市（旧泉村）の 2 ヶ所で生育が確認されている。水上村の生育地はシカ食害、自然災害により個体数の減少が著しい。八代市の生育地もシカ食害、斜面の崩落により個体数が激減しており、消滅寸前である。**生存への脅威** 動物食害、森林伐採、自然災害**特記事項** 熊本県の固有種と考えられていたが、中国・ヒマラヤにかけて広く分布することが判明した。種の保存法（希少野生動植物種）。

## ヤリノホクリハラン

*Leptochilus wrightii* (Hook.) X.C.Zhangシダ植物  
ウラボシ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 常緑林内**生育状況** 1970 年に水俣市で採集されているが、その後の生育は確認されていない。詳細な調査が必要である。**生存への脅威** 森林伐採、自然災害**特記事項** イワヒトデとの雑種ヒトツバイワヒトデは、県内に点々と産する。

## キレハオオクボシダ

*Tomophyllum sakaguchianum* (Koidz.) Parrisシダ植物  
ウラボシ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)**選定理由** 全国局限、県内局限、分布限界、特殊生息生育環境、地域的孤立・希少**生育環境** 山地林内の湿った岩上**生育状況** 1957 年に八代市（旧泉村）で採集されて以来、採集や観察の報告がなかったが、2003 年に極く少数個体の生育が確認された。溪流沿いの湿った岩場に生育する葉の全長が 5cm ほどの小さなシダで、生育環境が損なわれると消滅する可能性が高い。2016 年の調査では確認できておらず、今後も継続的な調査が必要である。**生存への脅威** 森林伐採、自然災害、河川改修**特記事項** 九州では唯一の産地である。種の保存法（希少野生動植物種）。

## オオクボシダ

*Micropolypodium okuboi* (Yatabe) Hayataシダ植物  
ウラボシ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 特殊生息生育環境、その他（もともと希少）、近年減少**生育環境** 山地の樹上と岩上**生育状況** 八代市（旧泉村）、山都町（旧矢部町）、あさぎり町（旧上村）、水上村に記録されているが、どの生育地でも個体数が少なく、近年生育がほとんど確認できない。山地の稜線や山頂付近の湿った樹幹コケ中に生育するが、シカ食害による下層植生の破壊が進行しており、林内の乾燥化傾向による本種の生育への影響が懸念される。**生存への脅威** 森林伐採**特記事項** 一部の地域で樹木の立ち枯れが生じており、本種への影響が懸念される。

<b>ヒロハヒメウラボシ</b>	シダ植物 ウラボシ科	熊本県カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Oreogrammitis nipponica</i> (Tagawa et K.Iwats.) Parris		環境省カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)

**選定理由** 国内局限、県内局限、特殊生息生育環境、地域的孤立・希少

**生育環境** 陰湿な岩上や樹上

**生育状況** これまで、八代市（旧東陽村）と芦北町で採集されているが、その後の生育は確認されていない。絶滅または絶滅に近い状況にあると思われる。

**生存への脅威** 森林伐採、河川改修、自然災害

**特記事項** 川沿いの飛沫の届くようなところにコケに埋まって生育するシダで、葉の長さが5cmほどで葉の毛にゴミをつけていることが多いため発見は難しい。もともと全国的に分布量が少なく、希少化傾向も進んでいる。日本固有種である。

## 種子植物

<b>ハイイヌガヤ</b>	種子植物 イチイ科	熊本県カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Cephalotaxus harringtonia</i> (Knight ex Forbes) K.Koch var. <i>nana</i> (Nakai) Rehder		環境省カテゴリー

**選定理由** 県内局限、分布境界、その他（もともと希少）

**生育環境** 落葉林内

**生育状況** 八代市（旧泉村）で生育が確認されている。生育地、生育個体数ともに限られる。

**生存への脅威** 自然災害

**特記事項** 五家荘は分布の南限にあたる。

<b>ジュンサイ</b>	種子植物 ジュンサイ科	熊本県カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Brasenia schreberi</i> J.F.Gmel.		環境省カテゴリー

**選定理由** 県内局限、近年減少

**生育環境** 湖沼

**生育状況** 荒尾市、玉名市（旧玉名市）、水俣市、相良村、あさぎり町（旧深田村）、南関町など県内各地に見られたが、現在生育が確認できるのは相良村だけである。水質悪化にともない池全体の個体が一気に消失する事が多い。

**生存への脅威** 池沼の改修、管理放棄、農業使用

**特記事項** 南関町では2017年まで生育していたが、現在、確認できない状態になっており、栽培下のみで現存している。

<b>オニバス</b>	種子植物 スイレン科	熊本県カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Euryale ferox</i> Salisb.		環境省カテゴリー
		絶滅危惧 II 類 (VU)

**選定理由** 県内局限、近年減少、地域的孤立・希少

**生育環境** やや富栄養化したため池や流れの緩やかな水路

**生育状況** 荒尾市、玉名市（旧天水町）、八代市（旧八代市）などにも見られたが、現在生育が確認されているのは、山鹿市（旧山鹿市）と熊本市（旧熊本市）だけである。

**生存への脅威** 管理放棄、池沼の改修、河川改修、埋め立て

**特記事項** 多様性条例（指定希少野生動植物）。

## コウホネ

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー

*Nuphar japonica* DC.

種子植物  
スイレン科

**選定理由** 県内局限、近年減少

**生育環境** ため池や水路、河川、水湿地

**生育状況** 以前は県内各地で見られたが、現在、生育が確認されているのは、荒尾市、玉名市（旧岱明町）、熊本市（旧熊本市）、相良村、上天草市（旧松島町）などわずかである。

**生存への脅威** 池沼の改修、河川改修、埋め立て、水質汚濁  
**特記事項**

## サイコクヒメコウホネ

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー

*Nuphar saikokuensis* Shiga et Kadono

種子植物  
スイレン科

**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）

**生育環境** 小河川や池沼

**生育状況** 球磨郡相良村に 1ヶ所（農業用ため池）生育が確認されている。近年、池全体に土砂が堆積し、生育個体数の急激な減少が起きている。

**生存への脅威** 池沼の改修、自然遷移、埋め立て、水湿地の開発  
**特記事項** 熊本県ではこれまでヒメコウホネ（西日本型）として扱ってきたものである。

## ヒツジグサ

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー

*Nymphaea tetragona* Georgi

種子植物  
スイレン科

**選定理由** 県内局限、近年減少

**生育環境** 池沼や湿地

**生育状況** 小国町、あさぎり町などにも見られたが、現在、生育が確認できるのは人吉市だけである。しかし、この生育地も遷移の進行にともない生育量が減少しつつある。

**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、水湿地の開発  
**特記事項**

## アソサイシン

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー

*Asarum misandrum* B.U.Oh et J.G.Kim

種子植物  
ウマノスズクサ科

**選定理由** 全国局限、県内局限、近年減少、地域的孤立・希少

**生育環境** 日当たりの良い草地の凹地、谷部の低木林

**生育状況** 阿蘇外輪山の端辺地域に見られる。人工造林や草地の開発などにより個体数が減少している。また、園芸用の採取被害も一部に見られる。

**生存への脅威** 草地の開発、自然遷移、捕獲・採集  
**特記事項** 多様性条例（指定希少野生動植物）。これまで阿蘇地域でケイリンサイシンとされてきたものは本種の誤認。



## シコクヒロハテンナンショウ

*Arisaema longipedunculatum* M.Hotta

種子植物  
サトイモ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)

**選定理由** 県内局限

**生育環境** 落葉樹林内

**生育状況** 山都町(国見山)、八代市(縦木・白鳥山、京丈山)で生育が確認されている。個体数は極めて少ない。このうち京丈山における生育地は標高 1000m 以上の尾根沿いで、確認できた株数は 20 株である。

**生存への脅威** 森林伐採  
**特記事項**

## オガタテンナンショウ

*Arisaema ogatae* Koidz.

種子植物  
サトイモ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)

**選定理由** 県内局限

**生育環境** 落葉樹林内

**生育状況** 八代市(旧泉村)、五木村の標高 1000m 以上の湿り気の多い谷沿いに生育する。ブナを交える落葉林内の限られた箇所に数えられるほどの株数である。

**生存への脅威** 森林伐採、道路工事、捕獲・採集  
**特記事項** 別名 ツクシテンナンショウ。種の保存法(希少野生動植物種)。

## マルバオモダカ

*Caldesia parnassiifolia* (Bassi. ex L.) Parl.

種子植物  
オモダカ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 II 類 (VU)

**選定理由** 県内局限、近年減少、その他(もともと希少)

**生育環境** 湖沼、ため池、水路などの水域

**生育状況** 相良村の 1ヶ所に生育していたが、近年、確認できない状況になっている。周辺地域のタケ類等の成長にともなう生育環境の悪化(日照量低下や遷移の進行)が原因と思われる。絶滅または絶滅寸前の状態と思われる。

**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移  
**特記事項**

## トチカガミ

*Hydrocharis dubia* (Blume) Backer

種子植物  
トチカガミ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)

**選定理由** 近年減少

**生育環境** 平地の池溝

**生育状況** 以前は県内各地に見られたが、現在生育が確認できる場所は天草市(旧本渡市)のみである。

**生存への脅威** 池沼の改修  
**特記事項**

## ホツスモ

*Najas graminea* Delile

種子植物  
トチカガミ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー

**選定理由** 県内局限、その他 (もともと希少)

**生育環境** 平地の池溝、水田

**生育状況** 山都町 (旧矢部町)、相良村での生育が確認されている。相良村ではボランティアによる湿地や水田の管理が行われており、良好に生育している。山鹿市 (旧鹿本町) での生育情報もあるが、その後の調査がほとんどされておらず現状不明である。

**生存への脅威** 池沼の改修

**特記事項**

## オヒルムシロ

*Potamogeton natans* L.

種子植物  
ヒルムシロ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー

**選定理由** 県内局限、その他 (もともと希少)

**生育環境** 湖沼、ため池、水路などの水域

**生育状況** 人吉市の小水路に生育する。定期的に水路の清掃が行われ、個体数に増減がある。

**生存への脅威** 河川改修

**特記事項**

## リュウノヒゲモ

*Potamogeton pectinatus* L.

種子植物  
ヒルムシロ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)

**選定理由** 県内局限、その他 (もともと希少)

**生育環境** 沿海地の水路

**生育状況** 荒尾市、玉名市 (旧玉名市)、上天草市 (旧松島町) で生育が確認されている。

**生存への脅威** 池沼の改修、河川改修

**特記事項**

## ホンゴウソウ

*Sciaphila nana* Blume

種子植物  
ホンゴウソウ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 II 類 (VU)

**選定理由** 県内局限、近年減少

**生育環境** 常緑林内

**生育状況** 熊本市 (旧熊本市、旧富合町)、玉名市、八代市 (旧八代市)、人吉市、あさぎり町等に見られたが、多くの地域で現状がわからなくなっている。現在、生育が確認できるのは玉名市と旧富合町の 2ヶ所だけである。

**生存への脅威** 森林伐採

**特記事項**

## ハマサルトリイバラ

*Smilax sebeana* Miq.種子植物  
サルトリイバラ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 海辺の林内**生育状況** 天草市（旧天草町）、上天草市に見られたが、近年、確認情報がない。絶滅または絶滅に近い状況にあると思われる。**生存への脅威** 不明**特記事項**

## キバナノアマナ

*Gagea lutea* (L.) Ker Gawl.種子植物  
ユリ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、分布境界**生育環境** 落葉樹林の林縁**生育状況** 八代市（旧泉村）で数株の生育が確認されているだけである。個体数が少なく、花期が早いので、気づきにくいのも生育確認を困難にしている。**生存への脅威** 自然遷移**特記事項** 九州では他に大分県（庄内・大ノ山）にも生育する。八代市は分布南限。

## ヒメユリ

*Lilium concolor* Salisb.種子植物  
ユリ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)**選定理由** 県内局限、近年減少、地域的孤立・希少**生育環境** 長草型の草地**生育状況** 産山村、高森町の阿蘇外輪山上の草原に見られる。高森町の草原には、30年ほど前までは多産していたが、人工造林、野焼き・放牧・採草などの中止による遷移の進行や園芸用の採取のため、個体数が激減している。産山村でも1~数個体が点在する程度で、絶滅の危険性が高い。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、人工造林、捕獲・採集**特記事項** 多様性条例（指定希少野生動植物）。

## シラン

*Bletilla striata* (Thunb.) Rchb.f.種子植物  
ラン科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** アカマツの二次林**生育状況** 芦北町（旧田浦町）のみに生育する。自生地付近は蛇紋岩地で、樹木の成長が悪く、低木ないし亜高木の二次林となっている。**生存への脅威** 自然遷移、道路工事、捕獲・採集、踏み付け、土砂流入**特記事項** 各地に逸出と思われるものが見られる。

## ミヤマムギラン

*Bulbophyllum japonicum* (Makino) Makino種子植物  
ラン科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類 (CR)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 溪谷の岩上**生育状況** 山鹿市(旧鹿北町)、八代市(旧東陽村、旧坂本村)、山都町(旧矢部町)、五木村、天草市(旧天草町)などで記録されているが、生育が現在確認されているのは、五木村と旧坂本村、天草市のみである。五木村と旧坂本村では、溪谷の湿り気の多い急斜面の岩上にマメツタ、カタヒバ等と生育している。旧坂本村の生育地はやや乾燥が激しく、消滅が危惧される。**生存への脅威** 捕獲・採集、森林伐採、道路工事**特記事項**

## キリシマエビネ

*Calanthe aristulifera* Rchb.f.種子植物  
ラン科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)**選定理由** 県内局限、その他(もともと希少)**生育環境** 常緑林内**生育状況** 球磨村、水俣市、天草市(旧本渡市)で確認されている。いずれの自生地も個体数は非常に少なく、1~数個体が生育する程度である。そのほかに、大津町(北向山)、天草市(旧牛深市、旧天草町)で確認されているが、近年の生育情報はなく、個体数など詳しいことはわからない。**生存への脅威** 捕獲・採集、森林伐採**特記事項**

## キンセイラン

*Calanthe nipponica* Makino種子植物  
ラン科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)**選定理由** 県内局限、分布境界**生育環境** 落葉樹林内**生育状況** 県内では、1979年に八代市(旧泉村)で確認され、その後南小国町でもスギ植林内で採集されている。八代市の生育地は石灰岩の露出する落葉樹林内であったが、その後植林のため伐採されてからは確認できなくなっている。南小国町でもその後の確認はなく、いずれの生育地でも消滅した可能性がある。**生存への脅威** 森林伐採、捕獲・採集**特記事項** 宮崎県、大分県での記録がある。八代市は分布南限。

## サルメンエビネ

*Calanthe tricarinata* Lindl.種子植物  
ラン科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)**選定理由** 近年減少**生育環境** 常緑樹林帯上部から落葉樹林帯下部にかけての林内**生育状況** 県内各地で生育が見られたが、1970年代のエビネ類ブームで乱獲され、多くの産地が失われた。最近はほとんど見かけることはない。**生存への脅威** 捕獲・採集**特記事項**

トケンラン		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
<i>Cremastra unguiculata</i> (Finet) Finet	種子植物 ラン科	環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<b>選定理由</b>	県内局限、分布境界	
<b>生育環境</b>	落葉樹林内	
<b>生育状況</b>	山都町（旧矢部町）、八代市（旧八代市）、あさぎり町に生育する。山頂部の落葉林内や林縁でやや平坦になった場所である。ブナ林が生育の中心である。個体数は極めて少ない。	
<b>生存への脅威</b>	森林伐採、捕獲・採集	
<b>特記事項</b>	九州内では熊本県のみ分布し、あさぎり町は分布南限。	

スルガラン		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
<i>Cymbidium ensifolium</i> (L.) Sw.	種子植物 ラン科	環境省カテゴリー 絶滅危惧ⅠA類 (CR)
<b>選定理由</b>	全国局限、県内局限	
<b>生育環境</b>	暖地の林内	
<b>生育状況</b>	天草地方に生育していたが、現在、野生の個体は確認できない。野生絶滅の可能性が高い。趣味家の間で天草コランとして栽培され、園芸店などでも販売されている。	
<b>生存への脅威</b>	捕獲・採集、森林伐採	
<b>特記事項</b>	別名 コラン。前川（1971）はコランを <i>C. koran</i> Makino として、スルガランとは別種として扱っている。	

マヤラン		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
<i>Cymbidium macrorhizon</i> Lindl.	種子植物 ラン科	環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<b>選定理由</b>	県内局限、その他（もともと希少）	
<b>生育環境</b>	常緑広葉樹林の林床	
<b>生育状況</b>	大津町（北向山）、高森町で生育が見られる。八代市の記録もあるが現状は不明。北向山は熊本地震で斜面の崩壊が発生しており、生育状況は確認できない。高森町の生育数は数個体程度である。	
<b>生存への脅威</b>	森林伐採	
<b>特記事項</b>		

クマガイソウ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
<i>Cypripedium japonicum</i> Thunb.	種子植物 ラン科	環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<b>選定理由</b>	近年減少	
<b>生育環境</b>	山地の林内	
<b>生育状況</b>	県内各地に見られたが、乱獲されて激減した。産地によっては絶滅したり、幼苗が数個体という状態になっている。以前ほどではないが、現在も採取による減少が続いている。	
<b>生存への脅威</b>	捕獲・採集、森林伐採	
<b>特記事項</b>	多様性条例（指定希少野生動植物）。	

## キバナノセッコク

*Dendrobium catenatum* Lindl.種子植物  
ラン科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 低山地の樹上や岩上**生育状況** 芦北町、球磨村で見られている。球磨村では近年、確認情報がない。**生存への  
脅威  
特記事項** 捕獲・採集、森林伐採

## エソスズラン

*Epipactis papillosa* Franch. et Sav.種子植物  
ラン科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 林内**生育状況** 上天草市に見られたが、近年の確認情報はない。絶滅または絶滅に近い状況にあると思われる。**生存への  
脅威  
特記事項** 不明

## カシノキラン

*Gastrochilus japonicus* (Makino) Schltr.種子植物  
ラン科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 II 類 (VU)**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 常緑樹林内の樹幹**生育状況** 山鹿市（旧鹿北町）、錦町、天草市（旧本渡市）で生育が確認されている。樹上に生育するため確認が容易でなく、情報が少ない。今後、詳細な調査が必要な種である。**生存への  
脅威  
特記事項** 森林伐採、捕獲・採集

## ダイサギソウ

*Habenaria dentata* (Sw.) Schltr.種子植物  
ラン科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 草地**生育状況** 小国町、御船町、山江村、湯前町など県内各地に見られたが、現在生育が確認できるのは西原村だけである。西原村ではゴルフ場建設や公園整備工事により激減し、50 個体以下になっている。**生存への  
脅威  
特記事項** 管理放棄、自然遷移、草地の開発、踏み付け、観光開発  
写真撮影のための来訪者が多く、踏み付けや採取被害が懸念される。多様性条例（指定希少野生動植物）。

## ハクウンラン

*Kuhlhasseltia nakaiana* (F.Maek.) Ormerod

種子植物  
ラン科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー

**選定理由** 県内局限、その他 (もともと希少)

**生育環境** 常緑樹林帯上部から落葉樹林帯下部にかけての湿った地上または腐植した樹上

**生育状況** 菊池渓谷の上流域と南小国町の常緑林内で確認されている。林内の陰湿な地上に散在して生育するが、生育場所、生育面積ともに限られている。

**生存への脅威** 森林伐採

**特記事項** 菊池渓谷は熊本地震で斜面の崩壊が発生しており、同地での生育状態は現在確認できない。

## クロムヨウラン

*Lecanorchis nigricans* Honda

種子植物  
ラン科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー

**選定理由** 県内局限、その他 (もともと希少)

**生育環境** 低山地の林内

**生育状況** 天草市 (旧天草町) で生育が確認されている。多良木町の標本・記録もあるが、ムヨウランとの区別がはっきりしない。いずれにしても、情報が少ないために詳しいことは不明で、今後詳細な調査が必要な種である。

**生存への脅威** 森林伐採

**特記事項**

## ギボウシラン

*Liparis auriculata* Blume ex Miq.

種子植物  
ラン科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)

**選定理由** 県内局限、その他 (もともと希少)

**生育環境** 常緑林内

**生育状況** 球磨村、水俣市で生育が確認されているが、近年の生育情報はない。資料・情報も少なく個体数等もわからない。今後、詳細な調査が必要な種である。

**生存への脅威** 森林伐採

**特記事項**

## フガクスズムシソウ

*Liparis fujisanensis* F.Maek. ex F.Konta et S.Matsumoto

種子植物  
ラン科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 II 類 (VU)

**選定理由** 県内局限、分布境界、その他 (もともと希少)

**生育環境** 落葉林の樹上

**生育状況** 1992年に八代市 (旧泉村) のブナ林で樹上に着生した個体が確認された。熊本県最初の記録である。本種が樹上に着生すること、花期が梅雨期であることと個体数が極端に少ないこと等のため、採集確認が遅れたと考えられる。ブナ林の伐採は絶滅を招きかねない。産山村にも生育するといわれるが調査が必要。

**生存への脅威** 森林伐採

**特記事項** 九州では福岡県・大分県境 (犬ヶ岳) のみで、八代市は分布の南限である。

## ジガバチソウ

*Liparis krameri* Franch. et Sav.種子植物  
ラン科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、近年減少、その他（もともと希少）**生育環境** 山地の疎林内**生育状況** 阿蘇市（旧波野村）、八代市（旧泉村）、山都町（旧矢部町）水上村などで生育が確認されている。落葉林内に稀に見られるラン科植物で、苔むした岩上や柔らかな地面に生育する。個体数が極端に少なく、採取や森林の伐採による環境の変化は直ちに消滅に至る状況である。**生存への脅威** 森林伐採、捕獲・採集**特記事項** 花期でないとスズムシソウのなかまやクモキリソウとの区別は難しい。

## ササバラシ

*Liparis odorata* (Willd.) Lindl.種子植物  
ラン科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)**選定理由** 県内局限**生育環境** 山地の草原**生育状況** 阿蘇（端辺地域、旧阿蘇町）、西原村、山江村などに生育する。希少化傾向が進行し、西原村以外ではほとんど見ることができない状態になっている。**生存への脅威** 人工造林、管理放棄、自然遷移、捕獲・採集**特記事項**

## ボウラン

*Luisia teres* (Thunb.) Blume種子植物  
ラン科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)**選定理由** 近年減少**生育環境** 常緑林や社寺等の樹幹**生育状況** 美里町（旧中央町）、水俣市、芦北町、球磨村など県南部において生育が確認されているが、着生木の伐採や採取で減少が著しい種である。社寺や人家近くのクスノキ、マツ、カキなどに着生しているので、注意を要する種である。**生存への脅威** 森林伐採、捕獲・採集**特記事項**

## アオフタバラン

*Neottia makinoana* (Ohwi) Szlach.種子植物  
ラン科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 山地カシ林及びモミ林内の湿った地上**生育状況** 南小国町、山都町（旧矢部町）、水上村で生育が確認されている。極く少数の個体が林床の湿った斜面地上に散生する。森林伐採など環境の変化により容易に消滅する可能性がある。**生存への脅威** 森林伐採、人工造林**特記事項**



ムカデラン		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
<i>Pelatantheria scolopendrifolia</i> (Makino) Aver.		環境省カテゴリー
種子植物 ラン科		絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<b>選定理由</b>	県内局限、近年減少	
<b>生育環境</b>	山地林内の岩上	
<b>生育状況</b>	これまでに山鹿市（旧山鹿市）、熊本市（旧熊本市）、津奈木町で生育が確認されているが、熊本市では現在生育が確認できない状態である。山鹿市では多くが採取され、残っているのはわずかになっている。津奈木町の生育地は狭い範囲であるが、険しい岩上にやや面状に生育している。	
<b>生存への脅威</b>	捕獲・採集、道路工事	
<b>特記事項</b>		

ムカゴトンボ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
<i>Peristylus densus</i> (Lindl.) Santapau et Kapadia		環境省カテゴリー
種子植物 ラン科		絶滅危惧ⅠB類 (EN)
<b>選定理由</b>	その他（もともと希少）	
<b>生育環境</b>	山野の湿った草地	
<b>生育状況</b>	相良村、錦町、あさぎり町、人吉市、天草市（旧本渡市、旧天草町）等で生育が確認されているが、近年の生育情報はなく、個体数はかなり減少しているものと思われる。	
<b>生存への脅威</b>	自然遷移	
<b>特記事項</b>		

ヒュウガトンボ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
<i>Peristylus intrudens</i> (Ames) Ormerod		環境省カテゴリー
種子植物 ラン科		
<b>選定理由</b>	全国局限、県内局限、その他（もともと希少）	
<b>生育環境</b>	明るい湿性草地	
<b>生育状況</b>	水俣市の1ヶ所で生育が確認されている。面積は極く限られ、これまで確認された個体数も少ない。近年は生育地一帯の遷移が進行しつつあり、生育確認ができない状態になっている。絶滅または絶滅寸前の状態と思われる。	
<b>生存への脅威</b>	管理放棄、自然遷移、捕獲・採集	
<b>特記事項</b>	これまで「タコガタサギソウ」と表記してきたものである。和名の混乱があり、米倉（2012）の見解に従い表記の和名を用いた。国内の他地域の産地は宮崎県。種の保存法（希少野生動植物種）。	

ニイタカチドリ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
<i>Platanthera brevicalcarata</i> Hayata subsp. <i>brevicalcarata</i>		環境省カテゴリー
種子植物 ラン科		
<b>選定理由</b>	県内局限、分布境界、地域的孤立・希少、その他（もともと希少）	
<b>生育環境</b>	山地の林内	
<b>生育状況</b>	1983年に五木村の標高1000m付近のスギ植林下で、県内で初めて確認された。その後の植林伐採により、近年の生育情報はない。今後、詳細な調査が必要な種である。	
<b>生存への脅威</b>	森林伐採、捕獲・採集、道路工事	
<b>特記事項</b>	国内北限。九州南部（霧島山、野間岳、稲尾岳）、屋久島、奄美大島に分布する。	

## ヤマサギソウ

*Platanthera mandarinorum* Rchb.f. subsp. *mandarinorum* var. *oreades* (Franch. et Sav.) Koidz.種子植物  
ラン科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 近年減少、その他（もともと希少）**生育環境** 草地**生育状況** 小国町、西原村、山江村など県内各地に見られたが、生育が確認できる産地は減少しつつある。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移**特記事項**

## マイサギソウ

*Platanthera mandarinorum* Rchb.f. var. *macrocentron* (Franch. et Sav.) Ohwi種子植物  
ラン科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限**生育環境** 山地の草原**生育状況** 阿蘇市（旧阿蘇町、旧一の宮町）の外輪山上の草原に散生する。採草や放牧が行われるようなやや短草型の草場が生育適地であるため、希少化が進行することが危惧される。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移**特記事項**

## オオヤマサギソウ

*Platanthera sachalinensis* F.Schmidt種子植物  
ラン科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限**生育環境** 山地の林内**生育状況** 小国町で生育が確認されている。生育範囲が限られ、確認された生育個体数は 10 個体以下。球磨地方の記録もあるが詳細は不明。**生存への脅威** 森林伐採**特記事項** 九州での他地域の分布は大分県、宮崎県であるが、いずれも稀。

## コバントンボソウ

*Platanthera tipuloides* (L.f.) Lindl. subsp. *nipponica* (Makino) Murata種子植物  
ラン科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、分布境界、その他（もともと希少）**生育環境** 貧栄養の低茎型湿生草原**生育状況** 生育が確認されているのは人吉市の 1 ヶ所だけである。コイヌノハナヒゲ、カリマタガヤなどが優占する低茎型湿生草地に 50~100 個体程度が生育している。生育地一帯は県の保護区で、草刈り管理が継続されているが、緩やかに遷移が進行している。**生存への脅威** 自然遷移**特記事項** 人吉市~宮崎県西都市は分布の南限域。

トンボソウ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
<i>Platanthera ussuriensis</i> (Regel et Maack) Maxim.		環境省カテゴリー
種子植物 ラン科		
<b>選定理由</b>	県内局限、近年減少	
<b>生育環境</b>	山地の湿った樹林下や湿生草原	
<b>生育状況</b>	小国町、阿蘇市（旧一の宮町、旧波野村）、大津町（矢護山）で見られたが、現在生育が確認できるのは旧一の宮町と小国町だけである。旧一の宮町では湿生草原に稀に見られる。小国町では樹林内の湿生地に少数個体が生育していた。	
<b>生存への脅威</b>	森林伐採、道路工事	
<b>特記事項</b>	小国町の生育個体は道路工事に伴い、隣接地に移植された（平成17年）。	

ヤクシマアカシュスラン		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
<i>Rhomboda yakusimensis</i> (Masam.) Ormerod		環境省カテゴリー
種子植物 ラン科		絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<b>選定理由</b>	全国局限、県内局限、分布境界	
<b>生育環境</b>	山地の林内	
<b>生育状況</b>	球磨村、天草市、上天草市の各所に見られるが、各生育地とも個体数は少ない。	
<b>生存への脅威</b>	道路工事、森林伐採、捕獲・採集	
<b>特記事項</b>	天草市は分布北限。九州での他地域の分布は宮崎県、鹿児島県、沖縄県。	

コオロギラン		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
<i>Stigmatodactylus sikokianus</i> Maxim. ex Makino		環境省カテゴリー
種子植物 ラン科		絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<b>選定理由</b>	県内局限、その他（もともと希少）	
<b>生育環境</b>	常緑樹林内	
<b>生育状況</b>	大関山（水俣市-芦北町）、あさぎり町、人吉市（藍田、矢岳）に見られたが、近年、生育の確認情報が無く、絶滅または絶滅に近い状況にあると思われる。	
<b>生存への脅威</b>	森林伐採	
<b>特記事項</b>		

キヌラン		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
<i>Zeuxine strateumatica</i> (L.) Schltr.		環境省カテゴリー
種子植物 ラン科		
<b>選定理由</b>	県内局限、分布境界	
<b>生育環境</b>	日当たりの良い草原	
<b>生育状況</b>	水俣市のみで生育記録があるが、近年の確認情報は無い。個体数が極端に少なく、生育状況については、詳細な調査が必要である。	
<b>生存への脅威</b>	自然遷移	
<b>特記事項</b>	鹿児島県、宮崎県と熊本県のみで、水俣市は分布北限。	

## キンバイザサ

*Curculigo orchoides* Gaertn.種子植物  
キンバイザサ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 低山地の林縁**生育状況** 熊本市（旧熊本市）、相良村、山江村、球磨村、天草市（旧五和町）など県内各地に見られたが、近年の確認情報は水俣市、山江村以外ではない。希少化傾向が強く進行していると思われる。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移**特記事項** 天草に由来する個体は保存栽培されている。

## エヒメアヤメ

*Iris rossii* Baker種子植物  
アヤメ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）**選定理由** 県内局限、近年減少、地域的孤立・希少**生育環境** 日当たりの良い草地**生育状況** 生育が確認されているのは産山村の数ヶ所だけである。各地点とも個体数は少なく、1～数十個体が点在する程度である。場所によっては採取圧が高い。また、人工造林や野焼き・採草などの中止による遷移の進行によっても個体数が減少している。**生存への脅威** 捕獲・採集、管理放棄、自然遷移、人工造林**特記事項** 多様性条例（指定希少野生動植物）。

## ノカンゾウ

*Hemerocallis fulva* L. var. *disticha* (Donn ex Ker Gawl.) M.Hotta種子植物  
ススキノキ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 山地草原の向陽草地**生育状況** 八代市（旧泉村）、菊池市（旧菊池市）、阿蘇市（旧一の宮町）、天草市（旧本渡市）などで記録または生育が確認されているが、現在生育が確認できるのは阿蘇市の1ヶ所だけである。**生存への脅威** 草地の開発**特記事項** 多様性条例（指定希少野生動植物）。

## キイトラツキョウ

*Allium kiiense* (Murata) Hir.Takah. et M.Hotta種子植物  
ヒガンバナ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）**選定理由** 県内局限、分布境界、その他（もともと希少）**生育環境** 河川の岩上や岩隙**生育状況** 八代市（旧坂本村）、芦北町（旧芦北町）に生育する。狭い範囲に局所的に生育し、個体数も少ない。**生存への脅威** 河川改修、捕獲・採集**特記事項** 九州では長崎県（西海）にも見られる。八代市は分布南限。

<b>ヒメニラ</b>	種子植物 ヒガンバナ科	熊本県カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Allium monanthum</i> Maxim.		環境省カテゴリー

**選定理由** 県内局限、分布境界、近年減少

**生育環境** 落葉樹林の溪谷沿い

**生育状況** 八代市（旧泉村）、山都町（旧矢部町）で生育が見られたが、石灰岩の土砂崩壊に伴う道路工事で、八代市の生育地は消滅した。

**生存への脅威** 森林伐採

**特記事項** 九州では宮崎県北部にも生育し、山都町にかけてが分布南限域。

<b>タマボウキ</b>	種子植物 キジカクシ科	熊本県カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Asparagus oligoclonos</i> Maxim.		環境省カテゴリー
		絶滅危惧 I B 類 (EN)

**選定理由** 全国局限、県内局限、近年減少

**生育環境** 長草型の草地

**生育状況** 阿蘇市（旧阿蘇町、旧一の宮町）の阿蘇外輪山や中央火口丘北面等の草原に見られる。数十本が群生している場所もあるが、ほとんどが数個体点在する程度である。人工造林や野焼き・放牧・採草などの中止による遷移の進行のため、個体数が減少している。

**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、人工造林

**特記事項** 別名ツクシタマボウキといわれ、国内での分布は本県と大分県に限られる。多様性条例(指定希少野生動物)。

<b>ワニグチソウ</b>	種子植物 キジカクシ科	熊本県カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Polygonatum involucratum</i> (Franch. et Sav.) Maxim.		環境省カテゴリー

**選定理由** 県内局限、分布境界

**生育環境** 山地の林内

**生育状況** 県内では、1990年に阿蘇市（旧波野村）で初めて確認された。生育地は限定的で、個体数も極めて少ない。生育地の植生遷移による環境の変化で、絶滅の危険性は極めて高い。

**生存への脅威** 森林伐採

**特記事項** 九州では他に大分県（湯布院、久住など）にも生育する。阿蘇市は分布南限。

<b>ヒロウ</b>	種子植物 ヤシ科	熊本県カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Livistona chinensis</i> (Jacq.) R.Br. ex Mart. var. <i>subglobosa</i> (Hassk.) Becc.		環境省カテゴリー

**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）

**生育環境** 沿海地の林内

**生育状況** 水俣市の1ヶ所に見られる。個体数は10個体未満で多くは幼個体である。天草市（旧河浦町）では人家に栽培中のものが確認されている。近くの山林からの採取物であり、自生していたものと考えられる。

**生存への脅威** 海辺の改変等

**特記事項**

## ミズアオイ

*Monochoria korsakowii* Regel et Maack種子植物  
ミズアオイ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧（NT）**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 平地の水湿地**生育状況** 県内各地に見られたが、現在生育が確認できるのは熊本市（旧熊本市）と益城町の1水系だけである。この水系ではボランティアにより保全活動が行われており、場所によっては多数の個体の生育が見られる。**生存への脅威** 河川改修、埋め立て、農業使用、捕獲・採集  
**特記事項**

## ヒメミクリ

*Sparganium subglobosum* Morong種子植物  
ミクリ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 湖沼、ため池、水路などの浅水域や湿地**生育状況** 小岱山域、阿蘇地方、人吉地方、水俣市で稀に見られたが、現在生育が確認できるのは阿蘇市（旧一の宮町）、相良村、錦町、水俣市の4ヶ所だけである。このうち相良村の生育地は遷移が進行し、個体数の減少が顕著である。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、埋め立て  
**特記事項**

## クロホシクサ

*Eriocaulon parvum* Koern.種子植物  
ホシクサ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 水湿地**生育状況** 阿蘇市（旧阿蘇町）、水俣市、相良村、あさぎり町などで見られたが、現在生育が確認できるのは人吉市の1ヶ所と相良村だけである。人吉市では遷移の進行により個体数が減少している。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移  
**特記事項**

## ゴマシオホシクサ

*Eriocaulon senile* Honda種子植物  
ホシクサ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類（EN）**選定理由** 県内局限、模式産地、近年減少**生育環境** 水湿地**生育状況** 人吉市（2ヶ所）と錦町で生育が確認されている。人吉市では耕作放棄地とその周辺の湿生草地に生育するが、ともに遷移の進行が見られ個体数の減少が懸念される。一方、錦町では現在、生育が確認できない。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移  
**特記事項**人吉市は模式産地。改訂新版日本の野生植物（2015）では *E. nepalense* Prescott ex Bong. と同じとされている。多様性条例（指定希少野生動植物）。

トダスゲ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
<i>Carex aequialta</i> Kük.	種子植物 カヤツリグサ科	環境省カテゴリー 絶滅危惧ⅠA類 (CR)
<b>選定理由</b>	全国局限、県内局限、分布境界	
<b>生育環境</b>	河畔や湿性地	
<b>生育状況</b>	熊本市（旧熊本市）の1ヶ所 <span style="font-size: small;">のみに</span> に生育する。生育地は水田跡地で、近年急速に乾燥化（中生地化）が進み、生育環境の劣化が懸念される。また、一部にセイタカアワダチソウの侵入も見られる。	
<b>生存への脅威</b>	自然遷移、湿地の乾燥化、外来種の侵入	
<b>特記事項</b>	多様性条例（指定希少野生動植物）。熊本市の生育地は条例の保護区で、国内分布の南限。	

アワボスゲ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
<i>Carex brownii</i> Tuck.	種子植物 カヤツリグサ科	環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	県内局限、近年減少	
<b>生育環境</b>	湿性草地	
<b>生育状況</b>	山鹿市（旧山鹿市）、人吉・球磨地方に見られたが、現在生育が確認できるのは山鹿市の1ヶ所 <span style="font-size: small;">だけ</span> である。ここでも遷移の進行により個体数が減少している。現在の生育数は10個体以下と思われる。	
<b>生存への脅威</b>	自然遷移、その他（スギ林の生長）	
<b>特記事項</b>		

ハナビスゲ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
<i>Carex cruciata</i> Wahlenb.	種子植物 カヤツリグサ科	環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<b>選定理由</b>	県内局限	
<b>生育環境</b>	平地の草地や林縁	
<b>生育状況</b>	天草市（旧河浦町）のみに見られるが、個体数はごく僅かである。	
<b>生存への脅威</b>	管理放棄、自然遷移、道路工事	
<b>特記事項</b>		

タマツリスゲ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
<i>Carex filipes</i> Franch. et Sav. var. <i>filipes</i>	種子植物 カヤツリグサ科	環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	県内局限	
<b>生育環境</b>	山地の林内	
<b>生育状況</b>	山都町（旧清和村）の限られた地域 <span style="font-size: small;">に見られる</span> 。生育状態は安定的だが、個体数が少ない。現在、生育地周辺で林道工事が行われており、影響が懸念される。	
<b>生存への脅威</b>	森林伐採、道路工事	
<b>特記事項</b>		

## クジュウツリスゲ

*Carex kujuzana* Ohwi

種子植物  
カヤツリグサ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)

**選定理由** 県内局限、分布境界

**生育環境** 高茎型の二次草地

**生育状況** 阿蘇市（旧波野村、旧一の宮町）と高森町に見られる。生育地は 10 ヶ所以下で、生育個体数も少ない。生育地は野焼きのみ管理の草地で、今後の植生状況の変化に注意が必要である。

**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移

**特記事項** 阿蘇市は分布南限。九州での他地域の分布は大分県（久住山、湯布院）。

## ミヤマイワスゲ

*Carex odontostoma* Kük.

種子植物  
カヤツリグサ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 II 類 (VU)

**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）

**生育環境** 山地の明るい風衝地

**生育状況** 現在生育が確認されているのは水上村（市房山）の 1 ヶ所だけである。同地では風衝作用の強い岩場に少数個体が生育している。阿蘇山での記録もあるが、詳細は不明。

**生存への脅威** 自然災害

**特記事項**

## カタスゲ

*Carex macrandrolepis* H.Lév.

種子植物  
カヤツリグサ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー

**選定理由** 県内局限

**生育環境** 低地の林内

**生育状況** 南関町、山鹿市（旧山鹿市）、八代市（旧坂本村）、人吉市などに見られたが、現在生育が確認できるのは和水町と山鹿市だけである。個体数は 100 個体以上であるが生育地が局限しており、森林伐採などで容易に絶滅状態になる危険性がある。

**生存への脅威** 森林伐採、道路工事

**特記事項**

## キノクニスゲ

*Carex matsumurae* Franch.

種子植物  
カヤツリグサ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)

**選定理由** 県内局限

**生育環境** 海岸の樹林内

**生育状況** 八代市（旧八代市）のみに生育が見られる。生育状況は良好で、安定的である。生育地の一部は道路拡張工事に伴って失われた。

**生存への脅威** 土地造成、道路工事

**特記事項**



ケヒエスゲ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
<i>Carex mayebarana</i> Ohwi	種子植物 カヤツリグサ科	環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	県内局限、模式産地、その他（もともと希少）	
<b>生育環境</b>	山地の林内	
<b>生育状況</b>	現在生育が確認されているのは水上村（市房山）の1ヶ所だけである。同地ではブナ帯の林床に散生しているが、個体数は少ない。近年、シカ食害による生育環境の悪化があり、その影響が懸念される。	
<b>生存への脅威</b>	動物食害	
<b>特記事項</b>	水上村（市房山）が模式産地。	

ホシナシゴウソ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
<i>Carex maximowiczii</i> Miq. var. <i>levisaccus</i> Ohwi	種子植物 カヤツリグサ科	環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	県内局限	
<b>生育環境</b>	明るい湿性草地	
<b>生育状況</b>	生育が確認されているのは上天草市の1ヶ所だけである。同地では湿地全域に生育するが個体数は少なく50個体以下と思われる。	
<b>生存への脅威</b>	管理放棄、自然遷移	
<b>特記事項</b>		

ムギガラガヤツリ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
<i>Cyperus uniolooides</i> R.Br.	種子植物 カヤツリグサ科	環境省カテゴリー 絶滅危惧ⅠA類 (CR)
<b>選定理由</b>	近年減少	
<b>生育環境</b>	湿生草地	
<b>生育状況</b>	山鹿市（旧山鹿市）、山都町（旧矢部町）、人吉市、相良村、山江村などに見られたが、現在生育が確認できる所はない。絶滅または絶滅に近い状況と思われる。	
<b>生存への脅威</b>	水湿地の開発、埋め立て、管理放棄、捕獲・採集	
<b>特記事項</b>		

カガシラ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
<i>Diplacrum caricinum</i> R.Br.	種子植物 カヤツリグサ科	環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<b>選定理由</b>	近年減少	
<b>生育環境</b>	湿地	
<b>生育状況</b>	山鹿市（旧山鹿市）、阿蘇市（旧阿蘇町）、人吉市など県内各地に見られたが、近年、確認情報がない。絶滅または絶滅に近い状況にあると思われる。	
<b>生存への脅威</b>	不明	
<b>特記事項</b>		

## コツブヌマハリイ

*Eleocharis parvinux* Ohwi

種子植物  
カヤツリグサ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）

**選定理由** 県内局限、分布境界

**生育環境** 湿地

**生育状況** 熊本市の江津湖に生育する。本種は一般には関東地方にのみ分布するとされるが、江津湖にも見られる。湖岸湿地に点在し、量的には多くない。熊本地震とその後の護岸の復旧工事により生育地が大きく改変され、現在、生育が確認できない状況になっている。

**生存への脅威** 踏み付け

**特記事項** 熊本市は分布南限。

## イソテンツキ

*Fimbristylis pacifica* Ohwi

種子植物  
カヤツリグサ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）  
環境省カテゴリー

**選定理由** 県内局限、特殊生育生息環境

**生育環境** 海岸湿地

**生育状況** 天草市（旧牛深市）、上天草市で確認されている。天草市は海岸のやや湿った砂礫地、上天草市は満潮時に水に浸かる河口の汽水に生育している。天草市（旧本渡市）でも確認されているが、近年の生育情報はない。

**生存への脅威** 海辺の改変等

**特記事項**

## ノハラテンツキ

*Fimbristylis pierotii* Miq.

種子植物  
カヤツリグサ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）

**選定理由** 県内局限

**生育環境** 山野の草地

**生育状況** 阿蘇、人吉市、多良木町で確認されているが、近年の生育情報はない。今後、詳細調査が必要な種である。

**生存への脅威** 不明

**特記事項**

## ハタケテンツキ

*Fimbristylis stauntonii* Debeaux et Franch.

種子植物  
カヤツリグサ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類（EN）

**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）

**生育環境** 水田や湿地

**生育状況** 阿蘇市（旧一の宮町、旧阿蘇町）、熊本市（旧熊本市）、嘉島町、山江村で生育が確認されている。遷移の進行や除草などで個体数が減少する危険性がある。

**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、除草

**特記事項** 九州での他地域の分布は長崎県（島原市）、鹿児島県（志布志）。県内にはトネテンツキ（*Fimbristylis stauntonii* Debeaux et Franch. var. *tonensis* (Makino) Ohwi ex T.Koyama）と思われるものもあり、注意が必要。

クロタマガヤツリ		熊本県カテゴリー
<i>Fuirena ciliaris</i> (L.) Roxb.		絶滅危惧 I A 類 (CR)
種子植物 カヤツリグサ科		環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	県内局限	
<b>生育環境</b>	水田や湿地	
<b>生育状況</b>	山鹿市（旧山鹿市）、相良村、人吉市などに見られたが、1985 年にあさぎり町で採集されて以降、確認情報がない。絶滅または絶滅に近い状況にあると思われる。	
<b>生存への脅威</b>	管理放棄、自然遷移	
<b>特記事項</b>		

ネビキグサ		熊本県カテゴリー
<i>Machaerina rubiginosa</i> (Sol. ex G.Forst.) T.Koyama		絶滅危惧 I A 類 (CR)
種子植物 カヤツリグサ科		環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	県内局限	
<b>生育環境</b>	水湿地	
<b>生育状況</b>	水俣市、津奈木町に生育する。生育地へのヨシの侵入、周辺林の成長にともなう日照障害、遷移の進行などが顕在化しつつあり、今後、個体数の減少が危惧される。	
<b>生存への脅威</b>	管理放棄、自然遷移、その他（ヨシの繁茂）	
<b>特記事項</b>	別名 アンペライ。	

ロツカクイ		熊本県カテゴリー
<i>Schoenoplectiella mucronata</i> (L.) J.D.Jung et H.K.Choi var. <i>ishizawae</i> (K.Kohno, Iokawa et Daigobo) Hayas.		絶滅危惧 I A 類 (CR)
種子植物 カヤツリグサ科		環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	県内局限	
<b>生育環境</b>	明るい水湿地	
<b>生育状況</b>	南小国町、湯前町の 2 ヶ所に生育するが、いずれも遷移の進行、管理放棄により個体数が減少しつつある。南限は鹿児島県大口市であるが、ここでも管理放棄により個体数の減少が著しい。	
<b>生存への脅威</b>	管理放棄、自然遷移	
<b>特記事項</b>		

シズイ		熊本県カテゴリー
<i>Schoenoplectus nipponicus</i> (Makino) Soják		絶滅危惧 I A 類 (CR)
種子植物 カヤツリグサ科		環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	県内局限、分布境界、近年減少	
<b>生育環境</b>	湖沼畔、湿地	
<b>生育状況</b>	相良村、山都町（旧蘇陽町）に見られた。相良村では 1960 年代以降、生育が確認されていない。山都町では 1990 年代に多数の個体が確認されたが、近年はほとんど生育個体を見ることがない。絶滅寸前の状況と思われる。	
<b>生存への脅威</b>	管理放棄、自然遷移	
<b>特記事項</b>	熊本県の生育地は分布南限。九州での他地域の分布は大分県（小田の池）、佐賀県（唐津市）、福岡県。	

## コマツカサスキ

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー

*Scirpus fuirenoides* Maxim.

種子植物  
カヤツリグサ科

**選定理由** 近年減少

**生育環境** 水湿地

**生育状況** 阿蘇市（旧阿蘇町）、高森町、熊本市（旧熊本市）などに見られたが、阿蘇市や熊本市では近年、生育の確認ができない状態になっている。

**生存への脅威** 埋め立て、管理放棄、自然遷移  
**特記事項**

## マツカサスキ

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー

*Scirpus mitsukurianus* Makino

種子植物  
カヤツリグサ科

**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）

**生育環境** 水湿地

**生育状況** 八代市（旧泉村）に見られる。生育地は放棄水田で、遷移の進行が認められる。今後の生育状況に注視が必要。

**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移  
**特記事項**

## ツクシアブラガヤ

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)

*Scirpus rosthornii* Diels var. *kiushuensis* (Ohwi) Ohwi

種子植物  
カヤツリグサ科

**選定理由** 県内局限

**生育環境** 水辺の草地や空き地

**生育状況** 人吉市、錦町、相良村、水上村に見られたが、錦町の生育地は九州自動車道の建設により消失した。相良村の生育地でも近年生育が確認されていない。

**生存への脅威** 道路工事、水湿地の開発  
**特記事項**

## マネキシングユガヤ

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー

*Scleria rugosa* R.Br. var. *onoei* (Franch. et Sav.) Yonek.

種子植物  
カヤツリグサ科

**選定理由** 県内局限、近年減少

**生育環境** 湿地

**生育状況** 相良村、人吉市に見られたが、近年、確認情報がない。絶滅または絶滅に近い状況にあると思われる。

**生存への脅威** 不明  
**特記事項**

<b>ケシングヤ</b>	熊本県カテゴリー
	絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Scleria rugosa</i> R.Br. var. <i>rugosa</i>	種子植物 カヤツリグサ科
	環境省カテゴリー

**選定理由** 近年減少

**生育環境** 湿地

**生育状況** 荒尾市、相良村、人吉市に見られたが、近年、確認情報がない。絶滅または絶滅に近い状況にあると思われる。

**生存への脅威** 不明

**特記事項**

<b>コウボウ</b>	熊本県カテゴリー
	絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Anthoxanthum nitens</i> (Weber) Y.Schouten et Veldkamp var. <i>sachalinense</i> (Printz) Yonek	種子植物 イネ科
	環境省カテゴリー

**選定理由** 近年減少

**生育環境** 長草型の草地

**生育状況** 阿蘇地域と八代市（旧泉村）で生育が確認されている。阿蘇地域では南阿蘇村（旧白水村）、阿蘇市（旧波野村）など数ヶ所で見られる。長草型の草地や畑地周辺の草地などに生育しているが、個体数は少ない。八代市の現状は不明。

**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移

**特記事項** 阿蘇地域では国道の路傍に見られ、他所からの移入が疑われるものもある。セイヨウコウボウ (*Anthoxanthum nitens* (Weber) Y.Schouten et Veldkamp var. *nitens*) に注意する必要がある。

<b>ホガエリガヤ</b>	熊本県カテゴリー
	絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Brylkinia caudata</i> (Munro ex A.Gray) F.Schmidt	種子植物 イネ科
	環境省カテゴリー

**選定理由** 県内局限、分布境界、近年減少、その他（もともと希少）

**生育環境** 落葉樹林内

**生育状況** 山都町（旧矢部町）、八代市（旧泉村）で生育が確認されている。尾根沿いや沢沿い等に生育するが、個体数は極めて少ない。五家荘ではシカの食害で最近の 10 年以上、生育が確認できていない。

**生存への脅威** 森林伐採、動物食害

**特記事項**

<b>ツクシガヤ</b>	熊本県カテゴリー
	絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Chikusichloa aquatica</i> Koidz.	種子植物 イネ科
	環境省カテゴリー
	絶滅危惧 II 類 (VU)

**選定理由** 全国局限、県内局限、模式産地

**生育環境** 河川、湖沼、ため池、水路などの浅水域やその周辺

**生育状況** 人吉市、相良村の限られた地域に生育する。以前は人吉・球磨地方の各地に見られたが、水路や河川の改修工事、圃場整備事業などにより減少した。

**生存への脅威** 河川改修、埋め立て

**特記事項** 人吉市が模式産地。

## ミズタカモジ

*Elymus humidus* (Ohwi et Sakam.) A.Löve種子植物  
イネ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)**選定理由** 県内局限**生育環境** 水田跡などの湿地**生育状況** 玉名市(旧玉名市)、阿蘇市(旧一の宮町)、熊本市(旧熊本市)、天草市(旧五和町)、人吉市などで確認されているが、人吉市と天草市以外では現在生育が確認できない。**生存への脅威** 農地開発、管理放棄**特記事項** 別名 ミズタカモジグサ。

## ミノボロ

*Koeleria macrantha* (Ledeb.) Schult. et Schult.f.種子植物  
イネ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 近年減少**生育環境** 長草型の草地**生育状況** 長洲町、水俣市、人吉市、天草市(旧牛深市)、阿蘇など県内各地で確認されているが、1991年に阿蘇市(旧一の宮町)で採集されて以降、確認情報がない。今後、詳細調査が必要な種である。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移**特記事項**

## イトアゼガヤ

*Leptochloa panicea* (Retz.) Ohwi種子植物  
イネ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他(もともと希少)**生育環境** 日当たりの良い畑地など**生育状況** 上天草市(旧松島町)と八代市(旧八代市)で確認されている。上天草市では、路傍や田の畔に少数個体が見られる。八代市は1992年に生育が確認されているが、その後の生育情報はない。今後、詳細調査が必要な種である。**生存への脅威** 不明**特記事項**

## ミチシバ

*Melica onoei* Franch. et Sav.種子植物  
イネ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、近年減少、分布境界**生育環境** 石灰岩地の林縁、路傍**生育状況** 八代市(旧泉村)、五木村、球磨村で生育が確認されている。石灰岩の風化土壌が形成された岩上や林縁に、株立ちで点在する。**生存への脅威** 道路工事**特記事項** 球磨村は分布南限。

ヌマガヤ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Moliniopsis japonica</i> (Hack.) Hayata		環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	県内局限、その他（もともと希少）	
<b>生育環境</b>	湿生草地	
<b>生育状況</b>	小国町の 1 ヶ所で生育が確認されている。生育地は毎年野焼きが行われ、本種の生育状況は良好であるが次第にヨシが増加しつつある。	
<b>生存への脅威</b>	埋め立て	
<b>特記事項</b>		

タキキビ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Phaenosperma globosum</i> Munro ex Benth.		環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	県内局限、その他（もともと希少）	
<b>生育環境</b>	沿海地の林内	
<b>生育状況</b>	県内の生育地は菊池市（旧菊池市）の 1 ヶ所のみである。道路沿いの林縁部に生育しているため、道路工事等があれば一気に消失する危険性がある。	
<b>生存への脅威</b>	道路工事	
<b>特記事項</b>		

ウキシバ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Pseudoraphis sordida</i> (Thwaites) S.M.Phillips et S.L.Chen		環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	県内局限、近年減少	
<b>生育環境</b>	ため池の岸辺、干し上がった池底	
<b>生育状況</b>	宇城市（旧松橋町）と益城町に生育が確認されている。古くは八代市（旧八代市）、人吉市、相良村、水上村の記録があるが、近年はこれらの地域での確認情報はない。	
<b>生存への脅威</b>	池沼の改修、埋め立て	
<b>特記事項</b>		

ササキビ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Setaria palmifolia</i> (J.Konig) Stapf		環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	全国局限、県内局限、分布境界	
<b>生育環境</b>	山野の路傍	
<b>生育状況</b>	天草市（旧天草町）で生育が確認されているが、個体数は少ない。	
<b>生存への脅威</b>	除草	
<b>特記事項</b>	九州では鹿児島県、宮崎県にも生育する。天草市は分布北限。	

## シマキケマン

*Corydalis balansae* Prain種子植物  
ケシ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 海岸の林縁**生育状況** 天草市（旧牛深市）、苓北町で生育が確認されている。苓北町では道路沿いに点々と生育しているが、今後絶滅の危険性が高い。**生存への脅威** 海辺の改変等、自然災害**特記事項**

## イソヤマアオキ

*Cocculus laurifolius* DC.種子植物  
ツツラフジ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 沿海地の常緑林内**生育状況** 八代市（旧八代市）、芦北町（旧芦北町）に生育する。いずれの生育地も局所的で狭く、生育数は少ない。**生存への脅威** 森林伐採**特記事項**

## ハナカズラ

*Aconitum ciliare* DC.種子植物  
キンポウゲ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)**選定理由** 県内局限、近年減少、地域的孤立・希少**生育環境** 長草型の草地、林縁の草地**生育状況** 阿蘇地域では各地に見られたが、近年生育が確認されているのは、高森町、山都町（旧蘇陽町、旧矢部町）など数ヶ所である。人工造林や野焼き・採草などの中止による遷移の進行のため、個体数が減少している。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、人工造林**特記事項** 別名 ハナヅル。多様性条例（指定希少野生動植物）。

## カザグルマ

*Clematis patens* C.Morren et Decne.種子植物  
キンポウゲ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)**選定理由** 県内局限、分布境界、近年減少**生育環境** 低山地の林縁や谷筋**生育状況** 八代市（旧八代市）の限られた地域のみで生育する。蛇紋岩地で風化土壌も少なく痩せ地である。林内にも見られるが、多くは湿り気のある林縁や谷筋に沿って生育するが、2016年の調査で激滅していることが確認された。**生存への脅威** 自然遷移、捕獲・採集**特記事項** 多様性条例（指定希少野生動植物）。保護区では必要に応じて生育環境の管理が行われている。宮崎県（高鍋～小林）～熊本県八代市は分布南限域。



## キイセンニンソウ

*Clematis uncinata* Champ. ex Benth. var. *ovatifolia* (T.Ito ex Maxim.) Ohwi ex Tamura

種子植物  
キンポウゲ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー

**選定理由** 県内局限、分布境界、地域的孤立・希少、その他（もともと希少）

**生育環境** 低山地の林縁

**生育状況** 水俣市での生育が確認されているのみである。生育場所は沿海地の疎林周辺部で、近年は生育域の拡大が見られる。

**生存への脅威** 森林伐採、土地造成

**特記事項** 紀伊半島南部と熊本県のみ分布し、水俣市は分布南限（日本固有）。

## ミスミソウ

*Hepatica nobilis* Schreb. var. *japonica* Nakai

種子植物  
キンポウゲ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)

**選定理由** 県内局限、分布境界、その他（もともと希少）

**生育環境** 疎林内のやや乾燥した林床

**生育状況** 天草市（旧本渡市）に 1ヶ所の生育地が知られる。コナラ林の狭い範囲に少数個体が散生する。

**生存への脅威** 森林伐採、自然災害、自然遷移

**特記事項** 天草市は分布南限。

## ミヤマカラマツ

*Thalictrum tuberiferum* Maxim.

種子植物  
キンポウゲ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー

**選定理由** 県内局限、分布境界、その他（もともと希少）

**生育環境** 山地の林内

**生育状況** 小国町、南阿蘇村（旧久木野村）、水上村などに見られたが、近年は生育が確認されていない。

**生存への脅威** 森林伐採

**特記事項** 水上村（市房山）は分布南限。

## ベニバナヤマシャクヤク

*Paeonia obovata* Maxim.

種子植物  
ボタン科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 II 類 (VU)

**選定理由** 県内局限、近年減少

**生育環境** 長草型の草地、林縁の草地

**生育状況** 阿蘇外輪山上の各地（阿蘇市[旧阿蘇市]、南小国町、産山村、高森町）などに見られる。人工造林や草地の開発、野焼きや採草の中止による遷移の進行によって生育環境が悪化し、個体数が減少している。

**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、人工造林、捕獲・採集

**特記事項** 多様性条例（指定希少野生動植物）。

## トキワマンサク

*Loropetalum chinense* (R.Br.) Oliv.種子植物  
マンサク科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)**選定理由** 全国局限、県内局限**生育環境** 薪炭林として利用されてきた二次林**生育状況** 荒尾市の 1ヶ所だけに生育する。コナラ林内の狭い範囲にやや群生状に見られるが、高木類の成長にともなう照度低下で生育環境の悪化が進行しつつある。**生存への脅威** 自然遷移**特記事項** 多様性条例（指定希少野生動植物）。国内では他に三重県伊勢神宮、静岡県湖西市に生育する。

## ザリコミ

*Ribes maximowiczianum* Kom.種子植物  
スグリ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、分布境界、その他（もともと希少）**生育環境** 山地林内**生育状況** 生育地は八代市（旧泉村）の標高 1000m以上の所で、落葉林内に露出する石灰岩隙である。個体数は極めて少ない。生育地が狭いのに加え、シカの食害により減少しつつある。**生存への脅威** 動物食害、森林伐採**特記事項** 九州では熊本県のみ分布であり、八代市は南限。

## アワモリショウマ

*Astilbe japonica* (C.Morren et Decne.) A.Gray種子植物  
ユキノシタ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 渓谷沿いの岩上**生育状況** 球磨郡（3ヶ所）、山都町（旧蘇陽町）で生育が確認されている。いずれも限られた狭い範囲で、森林伐採等に伴う環境のわずかな変化で絶滅が危惧される種である。**生存への脅威** 自然災害、捕獲・採集**特記事項** 増水時には完全に水中に没し、冠水時でも常に水際になるような環境に生育する。

## シコクチャルメルソウ

*Mitella stylosa* H.Boissieu var. *makinoi* (H.Hara) Wakab.種子植物  
ユキノシタ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、地域的孤立・希少**生育環境** 山地溪側の明るい地上と岩上**生育状況** 人吉市に 1ヶ所の生育地が知られるのみ。溪流脇の狭い範囲に数十個体が群生する。**生存への脅威** 踏み付け、自然災害、自然遷移**特記事項** 四国と九州に分布し、九州では他に鹿児島県大隅半島に生育する。

## ナメラダイヤモンドソウ

*Saxifraga fortunei* Hook.f. var. *suwoensis* Nakai種子植物  
ユキノシタ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 溪流辺**生育状況** 山鹿市（旧鹿北町）、菊池市（旧菊池市）で生育が見られる。溪流辺の岩上などにやや群生し、個体数は多い。**生存への  
脅威  
特記事項** 自然災害、観光開発

## チャボツメレンゲ

*Meterostachys sikokianus* (Makino) Nakai種子植物  
ベンケイソウ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 II 類 (VU)**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 渓谷沿いの岩壁**生育状況** 阿蘇市（旧一の宮町）と八代市（旧泉村）で生育が確認されている。渓谷沿いの岩壁や岩峰の中腹などにまとまって生育するが、生育箇所は極めて少ない。八代市では道路沿いにあった 1ヶ所が崩壊防止のためのコンクリート吹き付け工事で消滅した。**生存への  
脅威  
特記事項** 自然災害

## アズマツメクサ

*Tillaea aquatica* L.種子植物  
ベンケイソウ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)**選定理由** 全国局限、県内局限**生育環境** 日当たりの良い湿性草地**生育状況** 生育地は熊本市の江津湖のみである。下江津湖の両岸にわずかに生育しているが、特定外来植物の繁茂により生育環境が急激に悪化している。左岸の生育地は大規模な公園化に伴い破壊され、一時消失したが、近年再び見られるようになった。**生存への  
脅威  
特記事項** 外来種の侵入、自然遷移、湿地の乾燥化

## ハマビシ

*Tribulus terrestris* L.種子植物  
ハマビシ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 海岸の砂地**生育状況** 苓北町（富岡）で生育が確認されていたが、その後確認できなくなっている。絶滅に近い状態ではないかと思われる。**生存への  
脅威  
特記事項** 海辺の改変等

## ヒロハネム

*Albizia julibrissin* Durazz. var. *glabrior* (Koidz.)  
H. Ohashi種子植物  
マメ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限**生育環境** 海辺の林内**生育状況** 苓北町と天草市（旧牛深市）の 2 ヶ所で生育が確認されている。20 年ほど前には 20 個体ほどが確認されていたが、近年はほとんど確認できない状況になっている。**生存への脅威** 海辺の改変等**特記事項**

## ヤエヤマハギカズラ

*Galactia tashiroi* Maxim. f. *yaeyamensis* (Ohwi)  
H. Ohashi種子植物  
マメ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 全国局限、県内局限、分布境界**生育環境** 海辺の崖地**生育状況** 天草市（旧牛深市）で生育が確認されているが、台風等の自然災害で絶滅に近い状態ではないかと思われる。今後、再確認が必要である。**生存への脅威** 自然災害、海辺の改変等**特記事項** 天草市は分布北限。

## トビカズラ

*Mucuna sempervirens* Hemsl.種子植物  
マメ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 全国局限、県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 常緑林の林縁**生育状況** 国内では、山鹿市（旧菊鹿町）、天草市（旧倉岳町）と長崎県佐世保市（九十九島）、福岡県久留米市で生育が確認されている。山鹿市の個体は、樹齢 1000 年以上ともいわれ、幹囲は約 50cm になる。**生存への脅威** 自然災害**特記事項** 別名 アイラトビカズラ。山鹿市のものは「相良のアイラトビカズラ」として国の特別天然記念物に指定されている。

## ツクシムレスズメ

*Sophora franchetiana* Dunn種子植物  
マメ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)**選定理由** 全国局限、県内局限**生育環境** 低山地河岸の林内や林縁**生育状況** 球磨村（一勝地、神瀬）、芦北町に稀に生育していたが、道路工事などにより減少し、現在、生育個体が確認できるのは芦北町の 1 ヶ所だけである。芦北町では、道路拡張工事に伴う保全措置で移植された個体が町指定天然記念物として保護されている。また、実生で増やされた個体が栽培されている。**生存への脅威** 道路工事、河川改修**特記事項** これまで野生絶滅としてきたが、2018 年に芦北町で自生と判断される個体群が確認され、本カテゴリーに変更した。国内の他の分布は宮崎県と鹿児島県の一部に限られる。

トキリマメ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
		環境省カテゴリー
<i>Rhynchosia acuminatifolia</i> Makino	種子植物 マメ科	
<b>選定理由</b>	近年減少、その他（もともと希少）	
<b>生育環境</b>	山野の林縁	
<b>生育状況</b>	県内の広い範囲に確認情報があるが、現在は山鹿市（旧菊鹿町）、八代市（旧泉村）、相良村、五木村に見られるのみである。いずれの生育地も狭く、わずかな環境変化で消滅する可能性がある。	
<b>生存への脅威</b>	人工造林、自然遷移、道路工事	
<b>特記事項</b>		

ヒナノカンザシ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
		環境省カテゴリー
<i>Salomonina ciliata</i> (L.) DC.	種子植物 ヒメハギ科	
<b>選定理由</b>	県内局限、近年減少	
<b>生育環境</b>	湿生草地	
<b>生育状況</b>	荒尾市、人吉市、あさぎり町、水俣市等に見られたが、現在、いずれの地域でも生育が確認できない。最近まで生育が見られた水俣市では、管理放棄と遷移の進行にともない確認できない状態になっている。現状は絶滅または絶滅寸前の状態と思われる。	
<b>生存への脅威</b>	管理放棄、自然遷移	
<b>特記事項</b>	阿蘇地域でも生育情報があるが確認できていない。	

チョウジザクラ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
		環境省カテゴリー
<i>Cerasus apetala</i> (Siebold et Zucc.) Ohle ex H. Ohba var. <i>tetsuyae</i> H. Ohba	種子植物 バラ科	
<b>選定理由</b>	県内局限、分布境界、その他（もともと希少）	
<b>生育環境</b>	落葉林内の溪側	
<b>生育状況</b>	山都町（旧矢部町）と八代市（旧泉村）で生育が確認されているのみであり、個体数及び生育場所もかなり限定される。	
<b>生存への脅威</b>	森林伐採	
<b>特記事項</b>	八代市は分布南限。	

カスミザクラ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
		環境省カテゴリー
<i>Cerasus leveilleana</i> (Koehne) H. Ohba	種子植物 バラ科	
<b>選定理由</b>	県内局限、分布境界、その他（もともと希少）	
<b>生育環境</b>	低山地の常緑二次林内	
<b>生育状況</b>	相良村に生育する。比較的狭い範囲に 100 個体前後が生育し、更新も行われていると思われる。	
<b>生存への脅威</b>	森林伐採、人工造林	
<b>特記事項</b>	開花期に多くの見学者があり、根元の踏み固め被害が懸念される。相良村は分布南限。	

## クサボケ

*Chaenomeles japonica* (Thunb.) Lindl. ex Spach種子植物  
バラ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 山地の林縁や草地**生育状況** 阿蘇市（旧阿蘇町）や菊池市（旧旭志村）の阿蘇外輪山の西端辺地域に散生する。菊池市の生育地では 50 m<sup>2</sup>を超える県内最大の群落が見られたが、遷移が進行し絶滅寸前の状態になっている。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移**特記事項**

## カワラサイコ

*Potentilla chinensis* Ser.種子植物  
バラ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 近年減少**生育環境** 河原や砂地**生育状況** 長洲町、大津町、甲佐町、錦町など県内各地に見られたが、1960 年代にはほとんどの地域で見られない状態になっていた。その中で、長洲町では 1970 年代まで生育が見られた。いずれの地域でも近年の確認情報はなく、絶滅または絶滅寸前の状況にあると思われる。**生存への脅威** 河川改修、海辺の改変等**特記事項**

## ツチグリ

*Potentilla discolor* Bunge種子植物  
バラ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 II 類 (VU)**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 日当たりの良い草地**生育状況** 玉名市、俵山、西原村、熊本市（金峰山）、錦町、相良村、あさぎり町などに見られたが、1975 年に水俣市で確認されて以降は確認情報がない。絶滅または絶滅寸前の状態と思われる。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移**特記事項**

## ゴショイチゴ

*Rubus chingii* Hu種子植物  
バラ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)**選定理由** 全国局限、県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 路傍の草地や林縁**生育状況** 天草市（旧本渡市）の 1ヶ所で生育が確認されている。耕作放棄地や路傍の草地にやや群落状に生育する。**生存への脅威** 自然遷移、除草**特記事項** 良好な開花が見られるが、結実は全く見られない。

## オオバライチゴ

*Rubus croceacanthus* H.Lév.種子植物  
バラ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 全国局限、県内局限**生育環境** 山地の林縁**生育状況** 天草上島、下島の常緑林の林縁部に点々と生育するが、稀であり個体数は少ない。**生存への脅威** 森林伐採、自然遷移**特記事項**

## サナギイチゴ

*Rubus pungens* Camb. var. *oldhamii* (Miq.) Maxim.種子植物  
バラ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)**選定理由** 県内局限、分布境界、地域的孤立・希少、近年減少**生育環境** 石灰岩地の落葉樹林内**生育状況** 八代市（旧泉村）、山都町（旧矢部町）に生育する。クマシデ、ブナ等の落葉樹林内で、いずれも石灰岩地である。林内の個体数は極めて少ない。道路工事のため道路沿いの株は消失した。石灰岩の崩壊が激しく、他の希少種とともに消滅が危惧される。**生存への脅威** 道路工事、動物食害、森林伐採、自然災害**特記事項** 九州での生育は熊本県のみで、八代市は分布南限。

## アイズシモツケ

*Spiraea chamaedryfolia* L. var. *pilosa* (Nakai) H.Hara種子植物  
バラ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、分布境界、その他（もともと希少）**生育環境** 落葉樹林**生育状況** 八代市（旧泉村）のみに生育する。生育地はいずれも石灰岩地で、個体数は非常に少ない。イブキシモツケが明るい岩場に多く生育しているのに比べて、本種は落葉樹林内の低木層を構成する。全体でも30数株である。**生存への脅威** 森林伐採、捕獲・採集**特記事項** 九州での分布は熊本県のみで、八代市は分布の南限。

## オニホソバシモツケ

*Spiraea japonica* L. f. var. *tomentosa* Koidz.種子植物  
バラ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 全国局限、県内局限、分布境界、近年減少、地域的孤立・希少**生育環境** 球磨川沿いの低木林内、林縁**生育状況** 「南肥植物誌」（1931）に神瀬、上松球麻、下松球麻の記載があるが、その後は確認されていなかった。2000年に八代市（旧坂本村）で再確認された。球磨川に沿って生育するが、道路工事、土砂採取によって一部の産地は失われている。**生存への脅威** 道路工事、河川改修、岩石採掘、土砂流入**特記事項** 九州では福岡県（古処山）と熊本県のみに生育する。果実、子房が有毛であることなどでシモツケと区別される（杉本：1978）。

## クロイゲ

*Sageretia thea* (Osbeck) M.C.Johnst.種子植物  
クロウメモドキ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 全国局限、県内局限**生育環境** 海辺の林縁**生育状況** 天草市（旧天草町）のスギ林縁にごくわずかな個体が生育するが、日照不足により開花が見られない。苓北町にも記録があるが、現状不明である。**生存への脅威** 森林伐採、自然遷移**特記事項** 国内の他の分布は高知県、長崎県（福江、平戸）、鹿児島県（奄美諸島）。

## ウワバミソウ

*Elatostema involucratum* Franch. et Sav.種子植物  
イラクサ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 溪流辺**生育状況** 水上村に生育する。生育環境が限定される上に個体数が少ないため、生育地の改変や自然災害などで容易に消滅する可能性がある。**生存への脅威** 道路工事、自然災害**特記事項**

## ケイタオミズ

*Pellionia keitaoensis* Yamam.種子植物  
イラクサ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 低地常緑樹林内の陰湿地**生育状況** 球磨村で生育が確認されている。生育地は、およそ 20m 四方の限られた範囲で、陰湿な斜面や岩上に比較的よい状態で生育している。急激な変化はないと思われるが、除草や刈払など注意を要する。天草市（旧天草町）でも記録があるが、詳細は不明である。**生存への脅威** 森林伐採、除草**特記事項** 別名 キミズモドキ。

## ミヤマニガウリ

*Schizopepon bryoniifolius* Maxim.種子植物  
ウリ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、分布境界、近年減少**生育環境** 山地林内の谷沿い**生育状況** 山都町（旧矢部町）と八代市（旧泉村・又志谷）で確認されている。又志谷では 2003 年頃までは谷沿いに繁茂する状態であったが、石灰岩土砂礫の流出や谷沿いの樹木の成長によって株の成長が悪くなり、現在は生育が確認できなくなっている。絶滅が危惧される。**生存への脅威** 土砂流入、自然遷移、動物食害**特記事項** 八代市は分布南限。



## オオヤマカタバミ

*Oxalis obtriangulata* Maxim.種子植物  
カタバミ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 山地の落葉林内**生育状況** 八代市（旧泉村）、山都町（旧矢部町）で確認されている。旧矢部町では溪流沿いの落葉林内に散生し、個体数は少ない。大水などの自然災害の影響を受けやすい。**生存への脅威** 踏み付け、森林伐採、自然災害**特記事項**

## ツシマカンコノキ

*Glochidion puberum* (L.) Hutch.種子植物  
ミカンソウ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）  
環境省カテゴリー  
情報不足（DD）**選定理由** 全国局限、県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 海岸の林内**生育状況** 天草市（旧本渡市）の1ヶ所で生育が確認されている。市道脇の林縁と水田地帯の水路脇に見られるが、後者は近年伐採された。**生存への脅威** 森林伐採**特記事項** 国内の他の分布は長崎県（対馬）。

## ツクシスミレ

*Viola diffusa* Ging種子植物  
スミレ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 湿り気が多い石垣、平地**生育状況** 熊本市（旧熊本市）、人吉市、天草市（旧本渡市）の3ヶ所で確認されている。局限された範囲で、しかも個体数が極端に少ない。いずれも湿り気が多い場所で、周囲の植物の丈が低い場所である。生育環境から、踏み付けや樹木の伐採による乾燥には細心の注意が必要である。**生存への脅威** 捕獲・採集、踏み付け、除草**特記事項** 熊本市のものは、本来の自生かどうか検討が必要と思われる。

## アソヒカゲスミレ

*Viola yezoensis* Maxim. var. *asoana* E.Hama種子植物  
スミレ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）  
環境省カテゴリー**選定理由** 模式産地、地域的孤立・希少**生育環境** 山地の林内**生育状況** 南阿蘇村（旧久木野村）と高森町の数ヶ所に点在している。個体数はどの生育地でも少なく、植生の遷移や森林伐採による生育環境の悪化で、生育地の減少や消滅が懸念される。**生存への脅威** 森林伐採、自然遷移、捕獲・採集**特記事項** 南阿蘇村（旧久木野）が模式標本産地。

## トモエソウ

*Hypericum ascyron* L. subsp. *ascyron* var. *ascyron*種子植物  
オトギリソウ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 近年減少**生育環境** 山地の林縁と草地**生育状況** 菊池市(旧菊池市)、阿蘇(端辺原野、斧岳)で確認されているが、近年の生育情報はない。今後、詳細調査が必要な種である。**生存への脅威** 不明**特記事項**

## ツクシフウロ

*Geranium soboliferum* Kom. var. *kiusianum* (Koidz.) H.Hara種子植物  
フウロソウ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)**選定理由** 全国局限、県内局限**生育環境** 山間湿地、向陽の湿った草地**生育状況** 阿蘇市(旧阿蘇町、旧一の宮町)の2ヶ所に生育する。山地草原の凹地に成立する湿地の水流辺に群生する。湿地の乾燥化とヨシの侵入により減少傾向にある。**生存への脅威** その他(ヨシの繁茂)、管理放棄、自然遷移、土砂流入**特記事項** 本州中部地方と朝鮮半島、中国東北部に分布するアサマフウロの変種とされ、熊本県と大分県にのみ知られる。多様性条例(指定希少野生動植物)。

## ミズキカシグサ

*Rotala rosea* (Poir.) C.D.K.Cook種子植物  
ミソハギ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)**選定理由** 県内局限**生育環境** 水田や水湿地**生育状況** 上妻博之氏により阿蘇で確認され、南肥植物誌(1931)にも「各地」との記述があるが確認できなくなっていた。2019年に水俣市の水田でまとまった個体群が発見された。**生存への脅威** 水湿地の開発、管理放棄、自然遷移**特記事項**

## ホザキカシグサ

*Rotala rotundifolia* (Buch.-Ham. ex Roxb.) Koehne種子植物  
ミソハギ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 明るい水湿地や水田**生育状況** 荒尾市、玉名市(旧岱明町)、山鹿市(旧山鹿市、旧菊鹿町)などでの記録はあるが、現在、生育が確認されているのは山鹿市(旧山鹿市)と天草市(旧本渡市、旧牛深市、旧河浦町)だけである。**生存への脅威** 水湿地の開発、管理放棄、自然遷移**特記事項** 多様性条例(指定希少野生動植物)。

ヒメビシ		熊本県カテゴリー
<i>Trapa incisa</i> Siebold et Zucc.		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
種子植物 ミソバギ科		環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<b>選定理由</b>	県内局限	
<b>生育環境</b>	低地の溜め池の水中	
<b>生育状況</b>	玉名市（旧玉名市）、熊本市（旧熊本市）、人吉市、苓北町等で確認されているが、現在、いずれの産地でも生育が確認できない。絶滅または絶滅寸前の状況と思われる。	
<b>生存への脅威</b>	池沼の改修、埋め立て、水質汚濁、動物食害、その他（日照低下）	
<b>特記事項</b>		

トダイアカバナ		熊本県カテゴリー
<i>Epilobium platystigmatosum</i> C.B.Rob.		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
種子植物 アカバナ科		環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<b>選定理由</b>	全国局限、県内局限、分布境界	
<b>生育環境</b>	山地の林縁と路傍の日当たりの良い湿った地上	
<b>生育状況</b>	現在生育が確認されているのは山都町（旧清和村）の1ヶ所だけである。シデ林の林縁に群生しているが生育面積が狭く個体数は少ない。生育地周辺はシカ食害による下層植生の破壊が激しく、斜面崩壊も発生しているため生育への影響が懸念される。	
<b>生存への脅威</b>	動物食害、土砂流入、道路工事	
<b>特記事項</b>	九州では宮崎県と熊本県に知られるのみで、国内分布の南限域である。	

ショウベンノキ		熊本県カテゴリー
<i>Turpinia ternata</i> Nakai		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
種子植物 ミツバウツギ科		環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	全国局限、県内局限、地域的孤立・希少	
<b>生育環境</b>	沿海地の林内	
<b>生育状況</b>	天草市（旧牛深市）の沿海地の常緑林内に生育する。生育状況は良好であるが個体数は少なく、注意が必要である。	
<b>生存への脅威</b>	森林伐採、道路工事	
<b>特記事項</b>		

ナンゴクミネカエデ		熊本県カテゴリー
<i>Acer australe</i> (Momot.) Ohwi et Momot.		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
種子植物 ムクロジ科		環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	県内局限、分布境界、その他（もともと希少）	
<b>生育環境</b>	落葉林内	
<b>生育状況</b>	県内では水上村（市房山）のみに生育する。生育する森林が荒廃しつつあり、注視が必要。	
<b>生存への脅威</b>	森林伐採	
<b>特記事項</b>	市房山は分布南限。	

## カラコギカエデ

*Acer tataricum* L. subsp. *aidzuense* (Franch.)  
P.C.de Jong種子植物  
ムクロジ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、分布境界**生育環境** 低山地の湿地**生育状況** あさぎり町、多良木町で見られたが、現在、生育が確認できるのはあさぎり町の4個体のみである。**生存への脅威** 除草、道路工事、自然遷移**特記事項** 九州での分布は熊本県のみで、あさぎり町は分布南限。

## タチバナ

*Citrus tachibana* (Makino) Tanaka種子植物  
ミカン科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)**選定理由** 県内局限、近年減少、その他（もともと希少）**生育環境** 常緑樹林、林縁**生育状況** 八代市（竜峰山）、天草市（旧本渡市、旧河浦町）、上天草市（旧姫戸町）等での記録がある。このうち上天草市では3本の成木が見られ、そのうち1本は樹齢130年の古木である。そのほかでは近年の生育情報はなく、絶滅または絶滅に近い状態になっていると思われる。**生存への脅威** 森林伐採**特記事項** 上天草市の古木は、「山田のたちばな」として市の天然記念物に指定されている。

## ハクサンハタザオ

*Arabidopsis halleri* (L.) O'Kane et Al-Shehbaz subsp. *gemmaifera*  
(Matsum.) O'Kane et Al-Shehbaz var. *senanensis* (Matsum.) Yonek.種子植物  
アブラナ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、分布境界**生育環境** 溪谷沿いの湿った岩上、山道沿い**生育状況** 山都町（旧矢部町）と八代市（旧泉村）の2ヶ所で生育が確認されている。いずれも湿り気の多い場所で、大きい株では幅30cmにも広がった状態のものも見られる。**生存への脅威** 動物食害、森林伐採**特記事項** 九州での分布は宮崎県と熊本県のみ。

## ハマハタザオ

*Arabis stelleri* DC. var. *japonica* (A.Gray) F.Schmidt種子植物  
アブラナ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 海辺の砂地**生育状況** 水俣市、天草市（旧五和町）で生育が確認されていたが、近年の生育情報はない。今後、詳細な調査が必要な種である。**生存への脅威** 海辺の改変等**特記事項**

ヒロハコンロンソウ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
<i>Cardamine appendiculata</i> Franch. et Sav.	種子植物 アブラナ科	環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	県内局限、分布境界、その他 (もともと希少)	
<b>生育環境</b>	渓谷沿いの湿性地	
<b>生育状況</b>	美里町に生育する。溪流沿いの砂礫地や岩上の湿性地に見られ、生育状況は良好である。	
<b>生存への脅威</b>	自然遷移、その他 (湧水の減少)、人工造林	
<b>特記事項</b>	九州唯一の生育地で分布南限。	

タカチホガラシ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
<i>Cardamine kiusiana</i> H.Hara	種子植物 アブラナ科	環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	県内局限、その他 (もともと希少)	
<b>生育環境</b>	渓谷沿いの湿性地	
<b>生育状況</b>	八代市 (旧泉村) での記録がある。最近では、五木村 (小鶴) で確認されているが、絶滅または絶滅に近い状況にあると思われる。	
<b>生存への脅威</b>	森林伐採、踏み付け、道路工事	
<b>特記事項</b>		

ハナハタザオ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
<i>Dontostemon dentatus</i> (Bunge) Ledeb.	種子植物 アブラナ科	環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	全国局限、県内局限	
<b>生育環境</b>	日当たりのよい草地	
<b>生育状況</b>	1905年に南阿蘇村 (旧長陽村) で採集されて以後、生育が確認されず絶滅したと思われていたが、2012年10月に西原村の二次草原で約70個体の生育が確認された。しかし、生育地一帯で熊本市の植林事業が行われるため、2015年春以降、野焼きが中止されている。また、熊本県植物誌には菊池市 (旧菊池市木庭) の記録があるが現状は不明である。	
<b>生存への脅威</b>	自然遷移	
<b>特記事項</b>	RDB2009、RL2014では野生絶滅としたが、上記の理由により絶滅危惧ⅠA類に変更した。多様性条例 (指定希少野生動植物)。	

キバナハタザオ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
<i>Sisymbrium luteum</i> (Maxim.) O.E.Schulz	種子植物 アブラナ科	環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	県内局限、分布境界、近年減少	
<b>生育環境</b>	石灰岩地の落葉林内	
<b>生育状況</b>	山都町 (旧矢部町)、八代市 (旧泉村) の2ヶ所に生育する。石灰岩がオーバーハングした下の、やや乾燥気味の場所である。五家荘では180株ほどが生育していたが上部からの崩壊土壌で埋まった。今後も崩壊土壌による危険にさらされている。	
<b>生存への脅威</b>	その他 (シカの踏みつけ)、自然災害	
<b>特記事項</b>	九州では長崎県と熊本県のみで、八代市は国内分布の南限。	

## アマクサツチトリモチ

*Balanophora subcupularis* P.C.Tam種子植物  
ツチトリモチ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 全国局限、県内局限**生育環境** 沿海地の林内**生育状況** 天草市（旧天草町）で生育が確認されている。生育地は人里の二次林内で、森林伐採による生育環境悪化の可能性がある。また、周辺は観光地であり、今後、観光開発による生育地の消失や生育環境の悪化も懸念される。**生存への脅威** 森林伐採、観光開発、遷移の進行**特記事項** 2014年に生育が確認され、2016年に本種と同定された。天草市は国内唯一の生育地である。国外の生育地は中国、ミャンマー。

## キイレツチトリモチ

*Balanophora tobiracola* Makino種子植物  
ツチトリモチ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 沿海地の林内**生育状況** 天草市（旧牛深市、旧御所浦町）、水俣市で生育が確認されている。生育地は海沿いの二次林内であるが、遷移の進行により生育量が減少する傾向があり注視が必要。**生存への脅威** 森林伐採**特記事項**

## マツグミ

*Taxillus kaempferi* (DC.) Danser種子植物  
オオバヤドリギ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 近年減少、その他（もともと希少）**生育環境** 山地林内の樹上**生育状況** 御船町、釈迦院（美里町、八代市）、水上村（市房山）など県内各地で生育が確認されていたが、最近ではほとんど見かけることはない。アカマツなどの針葉樹に寄生する。**生存への脅威** 森林伐採**特記事項**

## クリンユキフデ

*Bistorta suffulta* (Maxim.) H.Gross種子植物  
タデ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、分布境界、その他（もともと希少）**生育環境** 山地林内**生育状況** 山都町（旧矢部町）の天主山、国見岳の尾根部に少数個体が生育する。狭い山道沿いでは、登山者による踏圧被害も見られる。**生存への脅威** 動物食害、踏み付け**特記事項** 九州での分布は宮崎県と熊本県のみである。山都町は国内における分布南限。

ヤナギヌカボ		熊本県カテゴリー
<i>Persicaria foliosa</i> (H.Lindb.) Kitag. var. <i>paludicola</i> (Makino) H.Hara		絶滅危惧 I A 類 (CR)
種子植物 タデ科		環境省カテゴリー 絶滅危惧 II 類 (VU)
選定理由	県内局限	
生育環境	水湿地	
生育状況	山鹿市（旧山鹿市）に見られたが近年の生育情報はない。今後、詳細な調査が必要な種である。	
生存への脅威	不明	
特記事項		

フトボノヌカボタデ		熊本県カテゴリー
<i>Persicaria tenella</i> (Blume) H.Hara var. <i>tenella</i>		絶滅危惧 I A 類 (CR)
種子植物 タデ科		環境省カテゴリー 絶滅危惧 II 類 (VU)
選定理由	県内局限	
生育環境	水湿地	
生育状況	荒尾市に見られたが近年の生育情報はない。今後、詳細な調査が必要な種である。	
生存への脅威	不明	
特記事項		

タチハコベ		熊本県カテゴリー
<i>Arenaria trinervia</i> L.		絶滅危惧 I A 類 (CR)
種子植物 ナデシコ科		環境省カテゴリー 絶滅危惧 II 類 (VU)
選定理由	その他（もともと希少）	
生育環境	山野の林縁と路傍	
生育状況	阿蘇市（旧阿蘇町）、南阿蘇村（旧白水村）、八代市（旧東陽村）、球磨村などに見られたが、近年の生育情報はない。今後、詳細な調査が必要な種である。	
生存への脅威	不明	
特記事項		

ヒュウガアジサイ		熊本県カテゴリー
<i>Hydrangea serrata</i> (Thunb.) Ser. var. <i>minamitanii</i> H.Ohba		絶滅危惧 I A 類 (CR)
種子植物 アジサイ科		環境省カテゴリー 絶滅危惧 II 類 (VU)
選定理由	県内局限、分布境界	
生育環境	沢沿いの岩質地	
生育状況	水上村の 1 ヶ所に見られる。ほぼ垂直の水のしたたる岩上に生育し、生育状態は良好。1 集団のみであるため、道路の拡幅工事や自然災害で容易に消失する危険性がある。	
生存への脅威	道路工事、自然災害	
特記事項	水上村は分布の南限域。	

## キレンゲショウマ

*Kirengeshoma palmata* Yatabe種子植物  
アジサイ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）**選定理由** 県内局限**生育環境** 深山の落葉林内**生育状況** かつて九州中央山地の山々に広く分布し、なかでも宮崎県境に位置する白鳥山一帯には多数の個体が生育していたが、1995年頃を境にシカの食害が進み、近年は絶滅に近い。現在、岩場や樹上にわずかに生育しているのみである。**生存への脅威** 動物食害、その他（林内の乾燥化）  
**特記事項**

## ハナシノブ

*Polemonium caeruleum* L. subsp. *kiushianum* (Kitam.) H.Hara種子植物  
ハナシノブ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）**選定理由** 全国局限、県内局限、模式産地、近年減少、その他（もともと希少）**生育環境** 長草型の草地、林縁の草地**生育状況** 阿蘇市（旧一の宮町、旧波野村）、高森町の阿蘇外輪山東部地域に見られ、1998年までの調査で50ヶ所ほどの自生地が確認されていた。しかし、現在生育地が確認できるのは、環境省、県の保護区など数ヶ所である。ほとんどの生育地で、人工造林や遷移の進行などにより激減し、絶滅寸前の状況である。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、人工造林、交雑  
**特記事項** 高森町野尻が模式産地。種の保存法（希少野生動植物種）。

## リュウキュウコザクラ

*Androsace umbellata* (Lour.) Merr.種子植物  
サクラソウ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 日当たりのよい草地**生育状況** 山鹿市（旧山鹿市）、熊本市（旧熊本市、旧植木町）、益城町にも見られたが、現在、生育が確認できるのは西原村と宇城市（旧豊野町）の2ヶ所だけである。**生存への脅威** 農地開発、農薬使用、草地の開発、その他（草花植栽）**特記事項** 植木町では2006年まで生育が確認されたが、生育地に緑化目的でアブラナ類が植えられたため、その後、確認できなくなった。

## ノジトラノオ

*Lysimachia barystachys* Bunge種子植物  
サクラソウ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 長草型の草地**生育状況** 1908年に高森町で採集されて以後、生育個体は確認されていない。絶滅または絶滅に近い状態であると思われる。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移  
**特記事項** 近年、西原村、高森町で生育情報があり、調査が必要である。



サワトラノオ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Lysimachia leucantha</i> Miq.		環境省カテゴリー
種子植物 サクラソウ科		絶滅危惧 I B 類 (EN)
<b>選定理由</b>	県内局限、近年減少	
<b>生育環境</b>	明るい水湿地	
<b>生育状況</b>	山鹿市（旧山鹿市）、熊本市（旧熊本市）、あさぎり町、人吉市、錦町などに見られたが、現在、生育が確認できるのは熊本市の 1ヶ所のみである。熊本市の生育地は個体数が多いが、遷移が進行しつつあり、減少傾向にある。	
<b>生存への脅威</b>	自然遷移、管理放棄	
<b>特記事項</b>	多様性条例（指定希少野生動植物）。	

オニコナスビ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Lysimachia tashiroi</i> Makino		環境省カテゴリー
種子植物 サクラソウ科		絶滅危惧 I B 類 (EN)
<b>選定理由</b>	近年減少、その他（もともと希少）	
<b>生育環境</b>	溪谷の林縁や林内	
<b>生育状況</b>	五木村に生育が見られたが、ここ 10 年以上確認できない状態が続いている。すでに絶滅した可能性がある。	
<b>生存への脅威</b>	自然災害、河川改修、森林伐採	
<b>特記事項</b>		

ユキワリソウ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Primula farinosa</i> L. subsp. <i>modesta</i> (Bisset et S.Moore) Pax var. <i>modesta</i> (Bisset et S.Moore) Makino ex T.Yamaz.		環境省カテゴリー
種子植物 サクラソウ科		
<b>選定理由</b>	県内局限、分布境界、その他（もともと希少）	
<b>生育環境</b>	石灰岩峰	
<b>生育状況</b>	生育が確認されているのは、八代市（旧泉村）の 1ヶ所のみである。生育地、生育個体数ともに限られる。	
<b>生存への脅威</b>	自然災害、捕獲・採集、踏み付け	
<b>特記事項</b>	九州では宮崎県（洞岳）と熊本県のみで生育し、八代市は分布南限。	

イワザクラ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Primula tosaensis</i> Yatabe var. <i>tosaensis</i>		環境省カテゴリー
種子植物 サクラソウ科		準絶滅危惧 (NT)
<b>選定理由</b>	県内局限、近年減少	
<b>生育環境</b>	落葉林内や湿り気が多い岩壁・斜面	
<b>生育状況</b>	あさぎり町、五木村、美里町（旧中央町）、球磨村の 4ヶ所に生育している。あさぎり町の自生地では採取によりその多くが失われた。五木村の生育地では、採取や踏圧被害が大きく、多くが消滅した。道路工事による生育環境の変化も個体数の減少に拍車をかけている。	
<b>生存への脅威</b>	捕獲・採集、道路工事、踏み付け	
<b>特記事項</b>	多様性条例（指定希少野生動植物）。	

## ヤッコソウ

*Mitrastemma yamamotoi* Makino

種子植物  
ヤッコソウ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー

**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）

**生育環境** 常緑林内

**生育状況** 水俣市の 1ヶ所で生育が確認されている。宿主木が倒れ、現在生育が確認できない状態になっている。

**生存への  
脅威** 森林伐採

**特記事項**

## アマクサミツバツジ

*Rhododendron amakusaense* (K.Takada ex T.Yamaz.) T.Yamaz.

種子植物  
ツツジ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)

**選定理由** 県特産、全国局限、県内局限、模式産地、地域的孤立・希少

**生育環境** 海岸沿いの山地岩上、林内

**生育状況** 上天草市だけに生育する。尾根沿いの岩石が露頭する箇所やその周辺の林内に生育する。生育地にはオンツツジもあり、その交雑種も見られる。

**生存への  
脅威** 捕獲・採集、自然遷移

**特記事項** 熊本県だけの固有種で、上天草市は模式産地。

## レンゲツツジ

*Rhododendron molle* (Blume) G.Don subsp. *japonicum* (A.Gray) K.Kron

種子植物  
ツツジ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー

**選定理由** 県内局限

**生育環境** 山地の湿り気のある林縁や湿地

**生育状況** 小国町、多良木町、あさぎり町、球磨村、山江村などに見られたが、1975 年にあさぎり町で採集されて以降、生育が確認されず、すでに野生絶滅したと思われていた。しかし、2016 年に多良木町槻木で自生個体が再確認され、絶滅危惧 I A 類に変更した。

**生存への  
脅威** 捕獲・採集、遷移の進行

**特記事項** 槻木地域では、昭和期に自生地から移植した個体が民家で栽培され、実生による増殖個体もある。

## ウスユキムグラ

*Galium shikokianum* Nakai

種子植物  
アカネ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー

**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）

**生育環境** 産地の林内

**生育状況** 八代市（旧泉村）の 1ヶ所で生育が見られる。個体数は少ない。

**生存への  
脅威** 森林伐採、自然災害

**特記事項**

オオバノヤエムグラ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
<i>Galium pseudoasprellum</i> Makino	種子植物 アカネ科	環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	県内局限、分布境界、その他 (もともと希少)	
<b>生育環境</b>	落葉林域の路傍	
<b>生育状況</b>	高森町、八代市 (旧泉村) に生育する。八代市での生育状況は良好であるが、確認されている生育地は2ヶ所で生育面積も狭い。道路工事などによる生育地の改変で容易に消失する可能性が高い。	
<b>生存への脅威</b>	道路工事	
<b>特記事項</b>	八代市は分布南限。	

ソナレムグラ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
<i>Lreptopetalum strigulosum</i> (DC.) Neupane et N.Wikstr. var. <i>parvifolium</i> (Hook. et Arn.) T.C.Hsu	種子植物 アカネ科	環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	県内局限	
<b>生育環境</b>	海辺の崖地	
<b>生育状況</b>	苓北町、天草市 (旧天草町、旧牛深市) の海岸岩上に極めて稀に産する。生育面積が狭く個体数も少ないため、今後注意が必要である。	
<b>生存への脅威</b>	海辺の改変等、自然災害	
<b>特記事項</b>		

ハナイカリ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
<i>Halenia corniculata</i> (L.) Cornaz	種子植物 リンドウ科	環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	県内局限、分布境界、その他 (もともと希少)	
<b>生育環境</b>	石灰岩峰	
<b>生育状況</b>	生育が確認されているのは、八代市 (旧泉村) の1ヶ所のみである。生育地、生育個体数ともに限られる。	
<b>生存への脅威</b>	自然災害、捕獲・採集	
<b>特記事項</b>	八代市の自生地は九州における唯一の生育域であるとともに、分布南限。	

イヌセンブリ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
<i>Swertia tosaensis</i> Makino	種子植物 リンドウ科	環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<b>選定理由</b>	近年減少、県内局限	
<b>生育環境</b>	湿性草地	
<b>生育状況</b>	益城町、水俣市、あさぎり町、天草市 (旧本渡市) に見られたが、益城町以外では近年の確認情報はない。	
<b>生存への脅威</b>	自然遷移、水湿地の開発	
<b>特記事項</b>		

## ヒメナエ

*Mitrasacme indica* Wight種子植物  
マチン科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 水田跡などの日当たりの良い湿地**生育状況** 阿蘇市（旧阿蘇町）と相良村で生育が確認されている。このうち阿蘇市では1961年以降、生育が確認されていない。生育地の千町無田はその後大規模な圃場整備が行われており、すでに絶滅したと思われる。相良村では現在も生育個体があるが、生育地へのヨシの侵入などで環境悪化が顕著であり、絶滅が危惧される状況にある。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、農地開発  
**特記事項**

## ツルモウリнка

*Tylophora tanakae* Maxim.種子植物  
キョウチクトウ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）  
環境省カテゴリー**選定理由** 全国局限、県内局限、近年減少**生育環境** 沿海地の林縁**生育状況** 天草市（旧牛深市）の下須島等で生育が確認されているが、個体数は非常に少ない。**生存への脅威** 自然遷移  
**特記事項**

## スナビキソウ

*Heliotropium japonicum* A.Gray種子植物  
ムラサキ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限**生育環境** 海辺の砂地**生育状況** 長洲町、苓北町に見られたが、現在生育が確認できない。苓北町では数年前までは生育が確認されたが、台風による高潮等の影響で消滅したと思われる。絶滅または絶滅寸前の状況にあると思われる。**生存への脅威** 自然災害、自然遷移、海辺の改変等  
**特記事項**

## チョウセンカメバソウ

*Trigonotis radicans* (Turcz.) Steven var. *sericea* (Maxim.) H.Hara種子植物  
ムラサキ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類（EN）**選定理由** 全国局限、県内局限、近年減少、地域的孤立・希少**生育環境** 長草型の草地**生育状況** 国内では阿蘇地域にのみ分布する。阿蘇市（旧一の宮町、旧波野村）の外輪山上の草原に見られるが、各生育地とも個体数は少なく数個体～数十個体が点在する程度である。生育環境の劣化や消失により個体数が減少している。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、人工造林  
**特記事項**

ケルリソウ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
<i>Trigonotis radicans</i> (Turcz.) Steven		環境省カテゴリー
種子植物 ムラサキ科		絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<b>選定理由</b>	全国局限、県内局限、近年減少、地域的孤立・希少	
<b>生育環境</b>	長草型の草地	
<b>生育状況</b>	国内では阿蘇地域にのみ分布する。阿蘇市（旧一の宮町、旧波野村）、高森町の外輪山上の草原に見られる。高森町や阿蘇市波野では群生してカーペット状になっている生育地もある。生育環境の劣化や消失により個体数が減少している。	
<b>生存への脅威</b>	管理放棄、自然遷移、人工造林	
<b>特記事項</b>		

ソコベニヒルガオ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
<i>Ipomoea littoralis</i> Blume		環境省カテゴリー
種子植物 ヒルガオ科		
<b>選定理由</b>	全国局限、県内局限、分布境界、その他（もともと希少）	
<b>生育環境</b>	海岸や海岸近くの草地	
<b>生育状況</b>	苓北町の1ヶ所で生育が確認されているが、定着しているのかははっきりしない。	
<b>生存への脅威</b>	海辺の改変等	
<b>特記事項</b>	国内での他の分布は鹿児島県、小笠原。苓北町は分布の北限。	

ガンバイヒルガオ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
<i>Ipomoea pes-caprae</i> (L.) Sweet		環境省カテゴリー
種子植物 ヒルガオ科		
<b>選定理由</b>	全国局限、県内局限	
<b>生育環境</b>	海辺の砂地	
<b>生育状況</b>	苓北町、天草市（旧牛深市）で生育が確認されている。生育量は年によって増減がある。今後注視する必要がある。	
<b>生存への脅威</b>	海辺の改変等	
<b>特記事項</b>		

アオホオズキ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
<i>Physaliastrum japonicum</i> (Franch. et Sav.) Honda		環境省カテゴリー
種子植物 ナス科		絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<b>選定理由</b>	県内局限、その他（もともと希少）	
<b>生育環境</b>	落葉林内	
<b>生育状況</b>	高森町、菊池市（旧菊池市）、山都町（旧矢部町）に見られたが、近年の確認情報はない。絶滅または絶滅に近い状況にあると思われる。	
<b>生存への脅威</b>	森林伐採	
<b>特記事項</b>		

## ヤマホロシ

*Solanum japonense* Nakai種子植物  
ナス科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他 (もともと希少)**生育環境** 山地の林内**生育状況** 山都町 (旧矢部町)、五木村 (白髪岳)、八代市 (旧泉村) 等で生育が確認されている。生育地はいずれも落葉林内の水はけの良い斜面や岩上である。個体数は極めて少ない。**生存への脅威** 森林伐採、自然災害**特記事項** マルバノホロシと似ているが、より山地性で標高の高い箇所に生育している。

## シソクサ

*Limnophila chinensis* (Osbeck) Merr. subsp. *aromatica* (Lam.) T.Yamaz.種子植物  
オオバコ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限**生育環境** 水田やその周辺の湿地**生育状況** これまで阿蘇市 (旧阿蘇町) の古い記録以降、情報がなく絶滅の可能性が示唆されていたが、近年山江村、あさぎり町、水俣市、上天草市 (旧松島町)、天草市 (旧本渡市、旧新和町、旧河浦町、旧天草町) などで確認された。**生存への脅威** 農地開発、水湿地の開発、自然災害**特記事項**

## ハマクワガタ

*Veronica javanica* Blume種子植物  
オオバコ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)**選定理由** 県内局限、その他 (もともと希少)**生育環境** 沿岸地の畦畔や路傍**生育状況** 菊池市 (旧菊池市)、宇城市 (旧小川町)、八代市 (旧八代市) で生育が確認されているが、近年の生育情報はなく、個体数など詳しいことはわからない。今後、詳細な調査が必要な種である。**生存への脅威** 土地造成、道路工事**特記事項**

## ナンゴククガイソウ

*Veronicastrum japonicum* (Nakai) T.Yamaz. var. *australe* (T.Yamaz.) T.Yamaz.種子植物  
オオバコ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)**選定理由** 県内局限、その他 (もともと希少)**生育環境** 山地の林内**生育状況** 生育が確認されているのは、八代市 (旧泉村) の1ヶ所のみで、生育面積も限られ個体数も少ない。**生存への脅威** 動物食害、踏み付け**特記事項**

<b>ツクシクガイソウ</b>		熊本県カテゴリー
<i>Veronicastrum sibiricum</i> (L.) Pennell var. <i>zuccarinii</i> (Koidz.) H.Hara		絶滅危惧 I A 類 (CR)
種子植物	オオバコ科	環境省カテゴリー
		絶滅危惧 II 類 (VU)
<b>選定理由</b>	全国局限、県内局限、近年減少	
<b>生育環境</b>	長草型の草地	
<b>生育状況</b>	阿蘇市（旧一の宮町、旧波野村）、高森町の阿蘇外輪山上の草原に見られる。高森町や旧波野村では 50 個体以上が群生している場所もあるが、旧一の宮町では点在する程度である。生育環境の劣化や消失により個体数が減少している。	
<b>生存への脅威</b>	管理放棄、自然遷移、人工造林、捕獲・採集	
<b>特記事項</b>	多様性条例 (指定希少野生動植物)。	

<b>ハマジンチョウ</b>		熊本県カテゴリー
<i>Pentacoelium bontioides</i> Siebold et Zucc.		絶滅危惧 I A 類 (CR)
種子植物	ゴマノハグサ科	環境省カテゴリー
		絶滅危惧 II 類 (VU)
<b>選定理由</b>	全国局限、県内局限	
<b>生育環境</b>	海辺の砂礫地	
<b>生育状況</b>	苓北町にのみ生育する。隣接する森林の成長に伴い生育面積の縮小が進行する状況が発生している。	
<b>生存への脅威</b>	自然災害	
<b>特記事項</b>	苓北町のハマジンチョウ群落は県の天然記念物に指定されている。文化財保護条例 (天然記念物)。	

<b>カリガネソウ</b>		熊本県カテゴリー
<i>Tripora divaricata</i> (Maxim.) P.D.Cantino		絶滅危惧 I A 類 (CR)
種子植物	シソ科	環境省カテゴリー
		絶滅危惧 II 類 (VU)
<b>選定理由</b>	県内局限、分布境界、その他 (もともと希少)	
<b>生育環境</b>	山地林内の湿った地上	
<b>生育状況</b>	山鹿市 (旧鹿北町)、大津町で生育が確認されている。いずれも極く狭い面積に少数個体が群生しており、生育地破壊による消滅の可能性が高い。	
<b>生存への脅威</b>	森林伐採	
<b>特記事項</b>	大津町は分布の南限。	

<b>カイジンドウ</b>		熊本県カテゴリー
<i>Ajuga ciliata</i> Bunge var. <i>villosior</i> A.Gray ex Nakai		絶滅危惧 I A 類 (CR)
種子植物	シソ科	環境省カテゴリー
		絶滅危惧 II 類 (VU)
<b>選定理由</b>	近年減少、地域的孤立・希少	
<b>生育環境</b>	長草型の草地	
<b>生育状況</b>	阿蘇地域や大津町、熊本市など各地で見られたが、現在生育しているのは阿蘇地域のみである。阿蘇市（旧一の宮町、旧波野村）、高森町、山都町（旧蘇陽町）、南阿蘇村（旧白水村）など数ヶ所に自生しているが、どの生育地も数個体が点在する程度である。	
<b>生存への脅威</b>	管理放棄、自然遷移、動物食害、人工造林	
<b>特記事項</b>		

## ミズネコノオ

*Pogostemon stellatus* (Lour.) Kuntze種子植物  
シソ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)**選定理由** 近年減少**生育環境** 平地の池溝や水田**生育状況** かつては県内各地に見られたが、近年は大きく数を減らしている。天草市（旧河浦町、旧天草町、旧牛深市）では水田に群落をつくっている。農業使用など人為的負荷がかかりやすい生育環境であり、注意が必要である。**生存への脅威** 農地開発、農業使用、水湿地の開発、自然災害**特記事項**

## シロネ

*Lycopus lucidus* Turcz. ex Benth.種子植物  
シソ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 湿生草地**生育状況** 御船町、阿蘇市（旧一の宮町、旧波野村）に生育する。旧一の宮町の生育地のうち、生育数の多かった1ヶ所ではヨシの増加に伴い個体数が激減し、絶滅寸前の状況にある。他の1ヶ所も改良草地横の3㎡程の狭い場所であり、遷移が進行しつつある。また、旧波野村の生育地でも遷移の進行による環境悪化が見られる。**生存への脅威** 自然遷移、草地の開発**特記事項**

## コナミキ

*Scutellaria guilielmii* A.Gray種子植物  
シソ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 II 類 (VU)**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 海辺の砂地や草地**生育状況** 八代市（旧八代市）、芦北町（旧田浦町）、天草市（旧河浦町）、苓北町に見られたが、天草市以外では1985年以降、確認情報がない。**生存への脅威** 海辺の改変等**特記事項**

## ミヤマナミキ

*Scutellaria shikokiana* Makino種子植物  
シソ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 山地の林内**生育状況** 大津町（北向山）、南阿蘇村（旧久木野村）、相良村などに見られたが、近年の確認情報は無い。今後、詳細な調査が必要な種である。**生存への脅威** 森林伐採**特記事項**



ケミヤマナミキ		熊本県カテゴリー
<i>Scutellaria shikokiana</i> Makino var. <i>pubicaulis</i> (Ohwi) Kitam.		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
種子植物	シソ科	環境省カテゴリー
		絶滅危惧ⅠB類 (EN)
<b>選定理由</b>	全国局限、県内局限	
<b>生育環境</b>	山地の林縁の湿った地上	
<b>生育状況</b>	現在生育が確認されているのは五木村と相良村の2ヶ所だけである。落葉林の水流辺に群生しているが生育面積が狭く個体数は少ない。生育地周辺はシカの食害による下層植生の破壊が激しく、斜面崩壊も発生しているため、生育への影響が懸念される。	
<b>生存への脅威</b>	動物食害、土砂流入	
<b>特記事項</b>	四国と九州に固有の変種である。	

ウスユキクチナシグサ		熊本県カテゴリー
<i>Monochasma savatieri</i> Franch. ex Maxim.		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
種子植物	ハマウツボ科	環境省カテゴリー
		絶滅危惧ⅠB類 (EN)
<b>選定理由</b>	全国局限、県内局限	
<b>生育環境</b>	山足の崖地	
<b>生育状況</b>	天草市（旧本渡市）の2ヶ所で生育が確認されている。生育状況は良好であるが、生育地は墓地と路傍であり、人為的な影響を強く受けやすく、近年個体数が減少している。	
<b>生存への脅威</b>	その他（草地のコンクリート化）、管理放棄	
<b>特記事項</b>	国内では天草市だけに生育する。	

ハマウツボ		熊本県カテゴリー
<i>Orobanche coerulescens</i> Stephan ex Willd.		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
種子植物	ハマウツボ科	環境省カテゴリー
		絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<b>選定理由</b>	県内局限、その他（もともと希少）	
<b>生育環境</b>	海辺の砂礫地	
<b>生育状況</b>	宇城市（旧三角町）、天草市（旧牛深市）、八代市（旧八代市）で記録されている。近年、上天草市で確認されたが、個体数は少なく3個体のみであった。主にカワラヨモギの根に寄生する。	
<b>生存への脅威</b>	海辺の改変等、自然災害	
<b>特記事項</b>	高森町では品種のオカウツボが確認されたが、さらなる調査が必要である。	

ミカワタヌキモ		熊本県カテゴリー
<i>Utricularia exoleta</i> R.Br.		絶滅危惧ⅠA類 (CR)
種子植物	タヌキモ科	環境省カテゴリー
		絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<b>選定理由</b>	その他（もともと希少）	
<b>生育環境</b>	湖沼や湿地	
<b>生育状況</b>	1963年に熊本市秋津で採集されて以降、生育の確認がなかったため、県内では絶滅したものと思われていた。しかし、近年、苓北町に生育することが明らかになった。小さな農業用ため池に繁茂しているが、池周辺の樹木が成長して日照阻害を起こしつつある。	
<b>生存への脅威</b>	埋め立て、管理放棄、自然遷移	
<b>特記事項</b>	別名 イトタヌキモ。	

## ツクシワシャジン

*Adenophora hatsushimae* Kitam.種子植物  
キキョウ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)**選定理由** 県内局限、分布境界、その他（もともと希少）**生育環境** 山地の岩場**生育状況** 水上村（市房山）のみに生育する。生育地は垂直の岩場であり、シカによる食害はほとんどないと思われる。生育範囲が狭く、崖崩れなどの自然災害により容易に絶滅状態に移行する可能性がある。**生存への  
脅威** 自然災害**特記事項** 分布南限域。九州固有種。九州では他に宮崎県（石堂山、椎原、掃部岳）に生育している。

## キキョウ

*Platycodon grandiflorus* (Jacq.) A.DC.種子植物  
キキョウ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 II 類 (VU)**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 日当たりのよい長草型の草地**生育状況** かつては県内各地に広く見られたが、現在生育が確認できるのは阿蘇市（旧阿蘇町、旧一宮町）の 2 ヶ所だけである。**生存への  
脅威** 管理放棄、自然遷移、人工造林、捕獲・採集**特記事項**

## アサザ

*Nymphoides peltata* (S.G.Gmel.) Kuntze種子植物  
ミツガシワ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 河川や湖沼**生育状況** 1960 年代以前は県内の平野部各地に見られたといわれるが、確認記録があるのは熊本市（旧熊本市）、長洲町と錦町だけである。このうち、長洲町と錦町では現在、生育個体は確認できなくなっている。熊本市では近年数ヶ所で生育が確認されているが、発生状況から推察して、栽培個体の逸出と思われる。本来の自生種は絶滅または絶滅寸前の状況と思われる。**生存への  
脅威** 河川改修**特記事項**

## オケラ

*Atractylodes ovata* (Thunb.) DC.種子植物  
キク科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 日当たりのよい草地**生育状況** 阿蘇市（旧阿蘇町、旧一の宮町）、高森町、小国町、相良村などで確認されている。このうち、相良村では 10 年ほど前までは 10 個体程が生育していたが、生育環境の悪化にともない現在は確認できなくなっている。阿蘇市等の生育地はいずれも野焼き管理されている草地で、個体数の変動は顕在化していないが、今後、草原状態の変化（高茎化）にともなう減少が懸念される。**生存への  
脅威** 管理放棄、自然遷移**特記事項**

## コバナガンクビソウ

*Carpesium faberi* C.Winkl.種子植物  
キク科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 山地の林内**生育状況** 山鹿市（旧鹿北町）、水俣市（鬼岳）で確認されている。山鹿市では新たに作られた林道内に少数が点在するのみであるが、周辺の樹木の成長により減少している。水俣市では近年の生育情報はなく、個体数など詳しいことは分からない。**生存への脅威** 森林伐採**特記事項** パイオニア植物であり、安定した生育は難しい。

## テリハアザミ

*Cirsium lucens* Kitam.種子植物  
キク科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧（NT）**選定理由** 県内局限、模式産地、その他（もともと希少）**生育環境** 山地の林縁**生育状況** 山都町（旧矢部町）、八代市（旧泉村）、球磨村（渡）で生育が確認されている。五木村（ハツ原岳）では、林道沿いの日当たりの良い斜面上に、比較的まとまって生育している。模式地の球磨村渡では個体数は非常に少ない。**生存への脅威** 道路工事、自然遷移**特記事項** 球磨村渡が模式産地。

## オイランアザミ

*Cirsium spinosum* Kitam.種子植物  
キク科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、分布境界**生育環境** 海岸の砂地**生育状況** 天草市（旧本渡市）、苓北町に見られたが、現在は生育が確認できない。絶滅または絶滅に近い状況にあると思われる。**生存への脅威** 海辺の改変等、自然災害**特記事項** 長崎県口之津が分布の北限であり、苓北町もほぼ同域。

## サツマノギク

*Chrysanthemum ornatum* Hemsl.種子植物  
キク科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、分布境界、近年減少、その他（もともと希少）**生育環境** 海辺の崖地**生育状況** 天草市（旧牛深市）に見られたが、近年は確認できない。絶滅または絶滅に近い状況にあると思われる。**生存への脅威** 海辺の改変等、自然災害**特記事項**

## イワギク

*Chrysanthemum zawadskii* Herbich subsp. *naktongense* (Nakai) Y.N.Lee var. *dissectum* (Y.Ling) Kitag.種子植物  
キク科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)**選定理由** 特殊生息生育環境、県内局限、分布境界、その他 (もともと希少)**生育環境** 石灰岩地の岩峰や岩隙**生育状況** 八代市 (旧泉村)、山江村、五木村に生育する。生育地は限られるが、生育状況は安定的で良好である。**生存への脅威** 自然災害**特記事項** 山江村は分布南限。

## アキノハハコグサ

*Pseudognaphalium hypoleucum* (DC.) Hilliard et B.L.Burt種子植物  
キク科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)**選定理由** 近年減少**生育環境** 山地の路傍**生育状況** 山鹿市 (旧菊鹿町)、宇城市 (旧三角町)、相良村、本渡市 (旧本渡市)、熊本市 (旧熊本市) など県内各地で確認されているが、近年の生育情報は熊本市、高森町、水俣市などで少ない。今後、詳細な調査が必要な種である。**生存への脅威** 自然遷移**特記事項**

## ブゼンノギク

*Aster hispidus* Maxim. var. *koidzumianus* (Kitam.) Okuyama種子植物  
キク科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類 (CR)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)**選定理由** 県内局限、その他 (もともと希少)**生育環境** 石灰岩地の岩隙や岩上**生育状況** 五木村に生育する。産地及び個体数は限られるが、生育状況は安定的である。**生存への脅威** 自然災害、捕獲・採集**特記事項** 九州各地に稀に生育するが、分類学的検討が必要との指摘がある。

## ヤナギニガナ

*Ixeridium laevigatum* (Blume) J.H.Pak et Kawano種子植物  
キク科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)**選定理由** 県内局限、その他 (もともと希少)**生育環境** 河川の陰湿な岩場**生育状況** 球磨村、水俣市、天草市 (旧天草町) で生育が確認されている。八代市 (旧東陽村) でも見られたが近年生育が確認できない。**生存への脅威** 自然遷移、自然災害**特記事項** 別名 アツバニガナ。

## コケセンボンギク

*Lagenophora lanata* A.Cunn.種子植物  
キク科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 沿海地の疎林内**生育状況** 天草市（旧天草町）で生育が確認されているが、近年の生育情報はなく、個体数など詳しいことはわからない。今後、詳細な調査が必要な種である。**生存への脅威** 自然遷移**特記事項**

## ナガバノコウヤボウキ

*Pertya glabrescens* Sch.Bip. ex Nakai種子植物  
キク科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 近年減少、その他（もともと希少）**生育環境** 落葉林内及び林縁、岩上、山地の林縁**生育状況** 大津町、小国町、八代市（旧泉村）、山江村、五木村など県内各地に散在し、いずれも生育範囲は限られる。林縁部に生育することが多いため、林道工事によって一部が消滅したり、根が露出して枯れかけた状態が見られる。**生存への脅威** 森林伐採、道路工事**特記事項**

## キクアザミ

*Saussurea ussuriensis* Maxim.種子植物  
キク科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、分布境界、その他（もともと希少）**生育環境** 日当たりのよい草地**生育状況** 阿蘇市（旧阿蘇町）に見られたが、この生育地では絶滅したと思われる。また、1990年代に阿蘇で確認されているが、詳しい生育地等は不明である。現在は絶滅または絶滅に近い状況にあると思われる。**生存への脅威** 不明**特記事項**

## タカネコウリンギク

*Tephrosieris flammea* (Turcz. ex DC.) Holub subsp. *flammea*種子植物  
キク科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)**選定理由** 県内局限、近年減少、地域的孤立・希少**生育環境** 長草型の草地**生育状況** 阿蘇、八方ヶ岳、金峰山、山都町（旧矢部町）など各地で確認されているが、現在も生育が見られるのは阿蘇地域のみである。阿蘇市（旧阿蘇町、旧一の宮町）、産山村、南阿蘇村（旧久木野村）の数ヶ所で確認されているが、どの生育地も数個体が点在する程度である。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、人工造林**特記事項**

## ヒュウガヤブレガサ

*Syneilesis akagii* Kadota et Mas.Saito種子植物  
キク科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、特殊生息生育環境、近年減少**生育環境** 山地石灰岩地の林内と林縁**生育状況** 山都町（旧矢部町、旧清和村）、球磨村、芦北町（旧芦北町）などに記録または生育が確認されている。いずれも石灰岩地やその周辺であるが、どの生育地点でもシカ食害による下層植生の破壊が激しい。現在生育が確認できるのは山都町のみであるが、旧清和村の生育地は斜面崩壊により個体群の1つが近年失われた。**生存への脅威** 動物食害、自然災害**特記事項** 2013年に記載された種で、宮崎県と熊本県に固有である。

## キクバヤマボクチ

*Synurus palmatopinnatifidus* (Makino) Kitam.  
var. *palmatopinnatifidus*種子植物  
キク科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 近年減少**生育環境** 落葉林内**生育状況** 小国町、八代市（旧泉村）、菊池市（旧菊池市）、産山村で確認されているが、現在生育が確認できるのは、産山村の1ヶ所だけである。落葉林内に数個体が点在する程度である。植生の遷移や森林伐採による生育環境の悪化で、絶滅が危惧される状態になっている。**生存への脅威** 森林伐採、自然遷移**特記事項**

## カンサイタンポポ

*Taraxacum japonicum* Koidz.種子植物  
キク科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 山地の路傍**生育状況** 小国町、八代市（旧泉村）で生育が確認されているが、近年の生育情報はない。個体数などはっきりしたことは不明であり、今後詳細な調査が必要な種である。**生存への脅威** 自然遷移**特記事項**

## ツクシタンポポ

*Taraxacum kiushianum* H.Koidz.種子植物  
キク科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 山地の路傍**生育状況** 小国町、八代市（旧泉村）で生育が確認されているが、近年の生育情報はない。個体数なども不明で、今後詳細な調査が必要な種である。**生存への脅威** 外来種の侵入**特記事項**

## オオハマグルマ

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー

*Melanthera robusta* (Makino) K.Ohashi et H.Ohashi

種子植物  
キク科

**選定理由** 県内局限

**生育環境** 海辺の礫地

**生育状況** 天草市（旧牛深市）に生育するが、生育地が限られ、個体数は少ない。

**生存への脅威** 海辺の改変等、自然災害

**特記事項**

## レンブクソウ

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー

*Adoxa moschatellina* L.

種子植物  
レンブクソウ科

**選定理由** 県内局限

**生育環境** 山野の路傍

**生育状況** 県内では、1991年に高森町で初めて確認され、その後阿蘇市（旧波野村）での生育も確認された。生育地は限定的で、個体数も極めて少ない。生育地の植生遷移による環境の変化等で絶滅する危険性は高い。

**生存への脅威** 森林伐採、自然遷移

**特記事項**

## ホソバチクセツニンジン

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー

*Panax japonicus* C.A.Mey. var. *angustatus* (Makino)  
H.Hara

種子植物  
ウコギ科

**選定理由** 分布境界、県内局限、その他（もともと希少）

**生育環境** 落葉樹林内

**生育状況** 八代市（旧泉村）の石灰岩の斜面に数株生育していた。最近、南小国町でも確認できている。八代市の生育地は石灰岩の崩壊が激しく、現在、生育個体が確認できない状態になっている。絶滅が危惧される。

**生存への脅威** 自然災害

**特記事項** 九州での分布は熊本県だけで、五家荘は分布の南限。

## ハナビゼリ

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー

*Angelica inaequalis* Maxim.

種子植物  
セリ科

**選定理由** 県内局限

**生育環境** 落葉林内の溪側

**生育状況** 現在生育が確認できるのは南阿蘇村（旧長陽村）だけである。落葉林縁に数個体が見られるのみである。山都町（旧矢部町）、八代市（旧泉村）にも極まれに見られたが、近年確認情報がない。

**生存への脅威** 森林伐採

**特記事項**

## ウバタケニンジン

*Angelica ubatakensis* (Makino) Kitag.種子植物  
セリ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 山地の岩場**生育状況** 阿蘇市の根子岳に見られる。生育は安定的であるが個体数は少ない。生育地の崩落等により容易に危機的状態になる危険性がある。**生存への  
脅威  
特記事項** 自然災害

## ドクゼリ

*Cicuta virosa* L.種子植物  
セリ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 水湿地**生育状況** 熊本市（旧熊本市）、菊池市（旧菊池市）に見られたが、近年、確認情報がない。絶滅または絶滅寸前の状況にあると思われる。**生存への  
脅威  
特記事項** 水湿地の開発、埋め立て

## ハマボウフウ

*Glehnia littoralis* F.Schmidt ex Miq.種子植物  
セリ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限**生育環境** 海辺の砂地**生育状況** 長洲町、宇城市（旧三角町）、上天草市、天草市（旧牛深市）などに見られたが、現在生育が確認されているのは天草市（旧天草町、旧五和町、旧有明町）の砂浜だけである。旧天草町では海水浴場の整備などにより近年個体数が減少している。**生存への  
脅威  
特記事項** 観光開発、踏み付け

## カワラボウフウ

*Peucedanum terebinthaceum* (Fisch. ex Trevir.)  
Fisch. ex Turcz.種子植物  
セリ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 長草型の草地**生育状況** これまでに、小国町、あさぎり町、人吉市、多良木町、錦町など県内各地で確認されているが、1991年に小国町で採集されて以降確認情報がない。絶滅または絶滅に近い状態であると思われる。**生存への  
脅威  
特記事項** 管理放棄、自然遷移



## シムラニンジン

*Pterygopleurum neurophyllum* (Maxim.) Kitag.種子植物  
セリ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 湿生草地**生育状況** 阿蘇市（旧阿蘇町、旧一の宮町）、小国町、南小国町などに見られたが、現在生育が確認できるのは阿蘇市と南小国町の限られた地域だけである。いずれも長草型の湿生草地であるが、遷移の進行やヨシの侵入により湿地環境が悪化しつつある。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、その他（ヨシの繁茂）**特記事項**

## フキヤミツバ

*Sanicula tuberculata* Maxim.種子植物  
セリ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)**選定理由** 県内局限**生育環境** 落葉林内**生育状況** 小国町（涌蓋山）に見られた。生育地は山頂近くの林内であるが、近年の確認情報はない。今後、詳細調査が必要な種である。**生存への脅威** 森林伐採**特記事項** 九州における他の分布は宮崎県（白岩山）。

## ヌマゼリ

*Sium suave* Walter var. *nipponicum* (Maxim.) H.Hara種子植物  
セリ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 水湿地**生育状況** 阿蘇市（旧阿蘇町）に見られたが、近年の確認情報はない。絶滅または絶滅に近い状況にあると思われる。**生存への脅威** 水湿地の開発**特記事項** 別名 サワゼリ。

## カノツメソウ

*Spuriopimpinella calycina* (Maxim.) Kitag.種子植物  
セリ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類 (CR)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、分布境界、その他（もともと希少）**生育環境** 山地の林内**生育状況** 阿蘇（中岳）で記録されているが確認できない。**生存への脅威** 自然災害**特記事項** 九州では他に大分県（久重火山群、由布・鶴見火山群）に生育し、阿蘇は分布の南限域にあたる。

## 絶滅危惧ⅠB類(EN)

## シダ植物

## ヒモヅル

*Lycopodium casuarinoides* Springシダ植物  
ヒカゲノカズラ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類(EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類(VU)**選定理由** 国内局限、その他(もともと希少)**生育環境** 低山地の疎林内**生育状況** 天草地域に点々と生育する。上天草市(旧姫戸町)では、疎林内の樹木の枝に茎をからませ、あちこちで4~5m程の高さまで伸び上がっているのが観察される。**生存への脅威** 森林伐採、自然災害、自然遷移**特記事項** 上天草市(旧倉岳町)の生育地は県の天然記念物に指定されている。

## ヒメスギラン

*Huperzia miyoshiana* (Makino) Chingシダ植物  
ヒカゲノカズラ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類(EN)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、特殊生息生育環境、その他(もともと希少)**生育環境** 山地の陰湿な岩上**生育状況** 山鹿市(旧菊鹿町)、菊池市、水上村、あさぎり町(旧上村)で記録または生育が確認されている。山頂または尾根稜線付近の霧のよくかかる岩上コケ中に散生する。生育環境が限定されており、生育地周辺の環境が変化した場合、消滅する危険性が高い。**生存への脅威** 森林伐採**特記事項**

## スギラン

*Phlegmariurus cryptomerinus* (Maxim.) Satouシダ植物  
ヒカゲノカズラ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類(EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類(VU)**選定理由** 近年減少**生育環境** 山地林内の樹上**生育状況** 菊池市(旧菊池市)、大津町、山都町(旧矢部町)、八代市(旧泉村)、五木村、水上村など県内各地で確認されている。山地カシ林からブナ林にかけての樹幹高所に着生する。森林伐採や栽培目的の採取により減少傾向が著しい。**生存への脅威** 森林伐採、捕獲・採集**特記事項**

## ヒロハハナヤスリ

*Ophioglossum vulgatum* L.シダ植物  
ハナヤスリ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類(EN)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限**生育環境** 草地、山足の林縁**生育状況** 阿蘇市(旧一の宮町)、高森町、西原村、天草市(旧本渡市)、八代市(旧泉村)、球磨村(神瀬)などに生育が確認されている。いずれも限られた狭い範囲である。**生存への脅威** 草地の開発、踏み付け、自然遷移**特記事項**

## オオハイホラゴケ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧 I B 類 (EN)

環境省カテゴリー

*Vandenboschia striata* (D. Don) Ebiharaシダ植物  
コケシノブ科**選定理由** その他 (もともと希少)**生育環境** 常緑林内の溪側の岩上**生育状況** 芦北町、水俣市で確認されている。空中湿度の高い溪流沿いに散在しているが、個体数は少ない。**生存への脅威** 森林伐採、自然災害**特記事項** ハイホラゴケとの雑種であるセイタカホラゴケは県内各地で見られるため、これまで本種と混同されていたおそれがある。

## ヘゴ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧 I B 類 (EN)

環境省カテゴリー

*Cyathea spinulosa* Wall. ex Hook.シダ植物  
ヘゴ科**選定理由** 県内局限、その他 (もともと希少)**生育環境** 常緑林内の溪側**生育状況** 天草市 (旧河浦町) では、一つの谷に 100 個体以上が群落をなして生育しており、幹の高さが 3m、葉の長さが 2m に達する大型株もある。以前は他の場所での自生はなかったが、近年天草下島各地と上島の一部で点々と生育が確認されようになった。寒さに弱く、数年に一度訪れる寒波によって枯死するものも見られる。かつて水俣市でも確認され、その後消滅していたが、近年別の地点で生育が確認された。**生存への脅威** 森林伐採、自然災害、捕獲・採集、その他 (冷害)**特記事項** 天草市 (旧河浦町) の生育地は県の天然記念物に指定されている。

## ヒメムカゴシダ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧 I B 類 (EN)

環境省カテゴリー

*Monachosorum* × *arakii* Tagawaシダ植物  
コバノイシカグマ科**選定理由** 国内局限、県内局限、地域的孤立・希少**生育環境** 陰湿な常緑林内**生育状況** これまで、五木村 (2ヶ所)、山江村、水俣市で記録または生育が確認されている。このうち、五木村の1つの生育地は大きな群落であったが、大雨による流失や遊歩道整備のため激減した。水俣市の生育地は、小規模であるが良好に維持されている。**生存への脅威** 踏み付け、森林伐採、自然災害、動物食害**特記事項** 本種はムカゴシダとオオフジシダの雑種であることが近年判明したが、ムカゴシダは現在日本に生育していないため掲載する。

## アイコハチジョウシダ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧 I B 類 (EN)

環境省カテゴリー

*Pteris laurisilvicola* Sa. Kurataシダ植物  
イノモトソウ科**選定理由** 県内局限、その他 (もともと希少)**生育環境** 常緑林内**生育状況** 水俣市、天草市の各地、宇土市などで生育が確認されている。産地は多いが個体数は少ない。**生存への脅威** 森林伐採、その他 (冷害)**特記事項** 今後温暖化が進むと、分布が拡大する可能性がある。日本固有種。

## ヤクシマハチジョウシダ

*Pteris yakuinsularis* Sa.Kurata

シダ植物  
イノモトソウ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

**選定理由** 県内局限

**生育環境** 常緑林内

**生育状況** 県内では長い間天草市（旧牛深市）の1ヶ所の生育地点が知られるのみであったが、近年天草下島の各地、水俣市、芦北町で新たな生育地が確認された。産地は多いが個体数は少ない。

**生存への脅威** 森林伐採、その他（冷害）

**特記事項** 今後温暖化が進むと、分布がさらに拡大する可能性がある。日本固有種。

## ヒメイワトラノオ

*Asplenium capillipes* Makino

シダ植物  
チャセンシダ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー

**選定理由** 分布境界、その他（もともと希少）

**生育環境** 山地の陰湿な石灰岩上

**生育状況** 山都町（旧矢部町、旧清和村）、八代市（旧泉村）、五木村で記録または生育が確認されている。落葉林内の岩壁面に生育することが多い。

**生存への脅威** 森林伐採

**特記事項** 分布の国内南限域である。

## ナンゴクハウビシダ

*Hymenasplenium murakami-hatanakae* Nakaike

シダ植物  
チャセンシダ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー

**選定理由** 県内局限

**生育環境** 溪流沿いの湿った岩上

**生育状況** 水俣市と天草市のそれぞれ数ヶ所、および津奈木町の1ヶ所で確認されている。川沿いの水がしたたるような岩場に群落をなして生育している。

**生存への脅威** 森林伐採、自然災害

**特記事項** 以前はハウビシダと区別されていなかった。ハウビシダとされてきたもので県南のものは、本種である可能性があり、今後標本も含め各産地を再調査していく必要がある。

## ケホシダ

*Thelypteris parasitica* (L.) Tardieu

シダ植物  
ヒメシダ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー

**選定理由** その他（もともと希少）

**生育環境** 林縁や路傍

**生育状況** これまで、熊本市（旧熊本市）、八代市（旧東陽村）、天草市（旧新和町、旧天草町、旧牛深市）で採集されているが、いずれも個体数は1～数個体と少なく、その後は消滅してしまうことが多い。

**生存への脅威** その他（冷害）

**特記事項** 本種と認識されていたものの多くはホシダとの雑種であることが指摘されている。県内で確認されたものも雑種である可能性があり、詳細な調査が必要である。南方系の種で、屋久島以南では極普通に見られる。今後温暖化が進むと、熊本県でも安定して生育する可能性がある。

コガネシダ		熊本県カテゴリー
<i>Woodsia macrochlaena</i> Mett. ex Kuhn		絶滅危惧 I B 類 (EN)
シダ植物 イワデンダ科		環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	その他 (もともと希少)	
<b>生育環境</b>	山地林内の岩上	
<b>生育状況</b>	これまで、阿蘇地域、熊本市 (旧熊本市、旧植木町)、山鹿市 (旧山鹿市) など県北で採集または記録されている。このうち、阿蘇外輪山内壁では、現在も岩場に点々と生育しているが、個体数は少ない。その他の地域からは近年情報がなく、消滅が危惧される。	
<b>生存への脅威</b>	森林伐採、自然災害	
<b>特記事項</b>		

ミヤコイヌワラビ		熊本県カテゴリー
<i>Athyrium imbricatum</i> H. Christ		絶滅危惧 I B 類 (EN)
シダ植物 メシダ科		環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	近年減少	
<b>生育環境</b>	山地の陰湿な溪側	
<b>生育状況</b>	県の中南部で記録があるが、近年減少しており、孢子嚢群の付いていない貧弱な個体が多くなっている。シカの食害が主な原因と考えられる。	
<b>生存への脅威</b>	動物食害、自然災害、森林伐採	
<b>特記事項</b>		

ハコネシケチシダ		熊本県カテゴリー
<i>Athyrium christensenianum</i> (Koidz.) Seriz.		絶滅危惧 I B 類 (EN)
シダ植物 メシダ科		環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	県内局限、分布境界、近年減少	
<b>生育環境</b>	落葉林内の陰湿な地上	
<b>生育状況</b>	これまで、南小国町、山都町 (旧矢部町)、八代市 (旧東陽村、旧泉村)、大津町、阿蘇市 (旧一の宮町)、あさぎり町 (旧上村) 等、深山の林内で採集または記録されているが、近年個体数の減少が顕著である。シカの食害による影響が考えられる。	
<b>生存への脅威</b>	動物食害、森林伐採、自然災害	
<b>特記事項</b>	本種は、シケチシダの大型株と混同されてきた可能性があり、再確認が必要である。	

ヒロハノコギリシダ		熊本県カテゴリー
<i>Diplazium dilatatum</i> Blume var. <i>dilatatum</i>		絶滅危惧 I B 類 (EN)
シダ植物 メシダ科		環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	県内局限、その他 (もともと希少)	
<b>生育環境</b>	常緑林内	
<b>生育状況</b>	天草市 (旧本渡市、旧天草町、旧牛深市、旧新和町) の約 10 ヶ所で確認されている。そのうち約半数では小さな個体が点在するだけであるが、天草市 (旧本渡市、旧牛深市) では大きな群落を作っている。	
<b>生存への脅威</b>	森林伐採、その他 (冷害)	
<b>特記事項</b>	南方系のシダで、宮崎県や鹿児島県には広く分布する。	

## オキナワコクモウクジャク

*Diplazium okinawaense* Tagawaシダ植物  
メシダ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)**選定理由** 県内局限**生育環境** 暖地の常緑林内**生育状況** 県内では天草市（旧天草町）の数ヶ所で確認されているが、個体数は多くはない。また、かつて阿蘇市（旧阿蘇町）のカルデラ内の風穴で本種と思われる標本が採集されている。**生存への  
脅威** 森林伐採  
**特記事項**

## ミドリワラビ

*Deparia viridifrons* (Makino) M.Katoシダ植物  
メシダ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー**選定理由** もともと希少**生育環境** 山地林内**生育状況** 県内の山地に広く分布し、各地で生育が確認されている。しかし、1つの生育地に数個体しか生育していないことが多く、わずかな環境の変化によってすぐに消滅してしまうことが多い。**生存への  
脅威** 森林伐採、自然災害  
**特記事項** 本種はシカの忌避植物である。

## キンモウワラビ

*Hypodematium crenatum* (Forssk.) Kuhn  
subsp. *fauriei* (Kodama) K.Iwats.シダ植物  
キンモウワラビ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 II 類 (VU)**選定理由** 県内局限、分布境界**生育環境** 石灰岩の岩隙**生育状況** 石灰岩地域に生育地が見られる。五木では小鶴、竹の川～三浦の岩隙や石灰岩の風化土壌の堆積した岩上の棚に生育している。比較的乾燥する場所であるが、量的に大きな変化はみられない。クマガイノモトソウやユズ、ナンテン、イヌトウキ等とともに見られる。**生存への  
脅威** 捕獲・採集、自然災害  
**特記事項** 福岡、宮崎にも確認されているがいずれも石灰岩地である。日本固有亜種であり、五木村は分布の南限である。

## シラネワラビ

*Dryopteris expansa* (C.Presl) Fraser-Jenk. et Jermyシダ植物  
オシダ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー**選定理由** 近年減少**生育環境** 落葉林内の地上**生育状況** 山都町（旧矢部町、旧清和村）、八代市（旧泉村）、五木村、水上村など九州中央山地の落葉林内にやや普通に見られたが、近年、大きく減少した。本種の生育地はシカ食害による下層植生の破壊が激しく、その影響で急速に希少化が進行しているものと考えられる。**生存への  
脅威** 動物食害、森林伐採  
**特記事項** 水上村は国内分布の南限である。

## ワカナシダ

*Dryopteris kuratae* Nakaike ex Hoshiz. et K.A.Wilsonシダ植物  
オシダ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類（EN）  
環境省カテゴリー**選定理由** 特殊生息生育環境、その他（もともと希少）**生育環境** 山地の湿った林床**生育状況** 山鹿市（旧鹿北町、旧菊鹿町）、産山村、阿蘇市（旧阿蘇町）、人吉市、球磨村、水上村等、県内各地で点々と生育が確認されているが、いずれも個体数は少ない。多くの生育地が、湧水がしみ出すような湿った林床であり、そのような環境が失われると消滅していく可能性がある。菊池市（旧旭志村）でも採集されていたが、近年確認できなくなっている。**生存への脅威** 森林伐採、水湿地の開発、自然災害、動物食害**特記事項**

## ムラサキベニシダ

*Dryopteris purpurella* Tagawaシダ植物  
オシダ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類（EN）  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧ⅠA類（CR）**選定理由** 動物食害、その他（もともと希少）**生育環境** 常緑林内**生育状況** これまで県南部、天草地域に生育が確認されているが、現在は水俣市、錦町、天草市（旧本渡市、旧有明町）のわずかな生育地が知られるのみである。もともと個体数が少ない上に、近年シカの食害の影響があり存続が危惧される。**生存への脅威** 森林伐採、動物食害**特記事項**

## ハガクレカナワラビ

*Arachniodes yasuiinoui* Sa.Kurata var. *yasuiinoui*シダ植物  
オシダ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類（EN）  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）**選定理由** 国内局限、県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 山地林床**生育状況** 現在多数の生育が確認できるのは、天草市（旧有明町）の1ヶ所である。ほかにも水俣市や八代市（旧泉村）などでの記録があるが、現状は不明である。**生存への脅威** 森林伐採、自然災害**特記事項**

## ヒロハナライシダ

*Arachniodes quadripinnata* (Hayata) Seriz.  
subsp. *fimbriata* (Koidz.) Seriz.シダ植物  
オシダ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類（EN）  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類（EN）**選定理由** 近年減少、県内局限**生育環境** 山地の林床や斜面**生育状況** 八代市（旧泉村）、球磨地方に生育するが、シカの食害により近年激減しており、シカの影響の及ばない斜面などに点在する状態である。**生存への脅威** 動物食害**特記事項**

## サツマシダ

*Ctenitis sinii* (Ching) Ohwiシダ植物  
オシダ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)**選定理由** 県内局限、分布境界**生育環境** やや乾いた常緑林内**生育状況** 水俣市の数ヶ所、天草市（旧栖本町、旧御所浦町、旧新和町、旧天草町、旧五和町、旧牛深市）で確認されている。多くの生育地で良好に生育しているが、いずれも伐採期を迎えたスギ林であるため、今後数を減らす可能性がある。他にも、あさぎり町（旧深田村）での記録があるが、現状は不明である。**生存への脅威** 森林伐採、自然災害**特記事項** 県内では近年新たな生育地が多数見出されている。

## ホソバヤブソテツ

*Polystichum hookerianum* (C.Presl) C.Chr.シダ植物  
オシダ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、分布境界**生育環境** 常緑林の林床**生育状況** 現在、水俣市（数ヶ所）、天草市（旧五和町、旧牛深市）、球磨村、八代市（旧泉村、旧坂本村）で確認されている。天草市（旧本渡市）でも確認されていたが、その後消滅した。錦町でも記録があるが、現状不明である。**生存への脅威** 森林伐採**特記事項** 県内では近年新たな生育地が多数見出されている。本種はシカの忌避植物である。

## ヒメサジラン

*Loxogramme grammitoides* (Baker) C.Chr.シダ植物  
ウラボシ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー**選定理由** その他（もともと希少）**生育環境** 山地林内の湿った岩上や樹上**生育状況** これまで、山都町（旧清和村、旧矢部町）、美里町、八代市（旧泉村、旧東陽村）、水上村、錦町、相良村、水俣市など県内各地の深山で、採集または記録されている。林内の湿った岩上や樹上に、コケに混じって小群落をつくるが、1ヶ所に1～数群落だけのことが多い。葉の長さが数 cm の小型のシダで、生育環境が破壊されると消滅する可能性が高い。**生存への脅威** 森林伐採、自然災害**特記事項**

## コウラボシ

*Lepisorus uchiyamae* (Makino) H.Itôシダ植物  
ウラボシ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー**選定理由** その他（もともと希少）**生育環境** 沿海地の岩上**生育状況** 天草市（旧牛深市）、上天草市（旧龍ヶ岳町、旧御所浦町）、芦北町（旧芦北町）で記録または生育が確認されている。芦北町の産地は現状不明である。海岸の崖地や岩の割れ目に極く少数個体が生育する。生育地の環境が変化した場合、消滅する危険性が高い。**生存への脅威** 海辺の改変等**特記事項**



## 種子植物

## オグラコウホネ

*Nuphar oguraensis* Miki種子植物  
スイレン科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 河川、湖沼、ため池、水路**生育状況** 錦町、あさぎり町で生育が見られる。根茎を分岐させながら広がるため群生するように見えるが、個体数は必ずしも多くない。あさぎり町(旧深田村)庄屋池の個体数は20個体以下である。**生存への脅威** 池沼の改修、河川改修、埋め立て、その他(水路改修)**特記事項** 多様性条例(指定希少野生動植物)。

## マイヅルテンナンショウ

*Arisaema heterophyllum* Blume種子植物  
サトイモ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)**選定理由** 近年減少**生育環境** 長草型の草原、湿地周辺の草原**生育状況** 県内では、阿蘇、熊本市(旧熊本市)、金峰山の記録があるが、現在生育が確認されているのは阿蘇地域のみで、阿蘇市(旧阿蘇町、旧一の宮町、旧波野村)、南阿蘇村(旧長陽村)、高森町などに点在する。北外輪では湿地周辺や凹地などのやや湿り気の多い草原に、東外輪では長草型の草原に生育しているが、どの生育地でも個体数は少ない。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、人工造林**特記事項**

## アオテンナンショウ

*Arisaema tosaense* Makino種子植物  
サトイモ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー**選定理由** 全国局限、県内局限、分布境界**生育環境** 石灰岩地の林縁及び林内**生育状況** 五木村に生育する。標高700~900mほどの石灰岩地域の林内と林縁にその多くが見られる。個体数は少ない。マムシグサも混生するが、明らかにマムシグサより遅く開花する。生育地の一部では林道工事とその土砂による埋め立てで消滅した。**生存への脅威** 森林伐採、道路工事**特記事項** 九州での分布は大分県と熊本県のみで、五木村は分布南限。

## ヒラモ

*Vallisneria natans* (Lour.) H.Hara var. *higoensis* (Miki) H.Hara種子植物  
トチカガミ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)**選定理由** 県特産、県内局限、模式産地、近年減少**生育環境** 河川、水路などの流水域**生育状況** 熊本市江津湖およびその周辺地域に見られるが、主要な生育地であった上江津湖上部域では浚渫と河川改修工事により激減した。また、水遊びによる踏み付けや公園清掃作業による除去被害が見られる。**生存への脅威** 河川改修、踏み付け、除草**特記事項** 熊本市江津湖が模式産地。

## シバナ

*Triglochin asiatica* (Kitag.) A. et D.Löve種子植物  
シバナ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)**選定理由** 県内局限、特殊生息・生育環境**生育環境** 塩性湿地**生育状況** 宇城市（旧松橋町）、八代市（旧八代市）、天草市（旧有明町、旧河浦町）、苓北町等に生育している。生育環境である塩性湿地が埋め立て、護岸工事等によって減少し、それに伴って生育個体数も減少している。**生存への脅威** 塩性湿地の減少・消失、海辺の改変等**特記事項**

## ホソバミズヒキモ

*Potamogeton octandrus* Poir. var. *octandrus*種子植物  
ヒルムシロ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー**選定理由** 近年減少**生育環境** 湖沼、ため池、水路**生育状況** 県内各地に稀に生育する。生育環境の悪化や消失にともない希少化傾向が進行している。**生存への脅威** 水湿地の開発、池沼の改修**特記事項** 熊本県でこれまでコバノヒルムシロとされてきたものの多くは本種である可能性が高い。

## カワツルモ

*Ruppia maritima* L.種子植物  
カワツルモ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)**選定理由** 県内局限、近年減少、その他（もともと希少）**生育環境** 沿海地の池溝**生育状況** 長洲町、八代市（産島、日奈久）、天草市（旧本渡市、旧新和町）で生育が確認されている。八代市では幅 6 m ほどの池溝に約 120m にわたって生育が見られる。一帯は海水が混じる箇所。**生存への脅威** 水質汚濁、自然遷移、その他（ヨシの繁茂）**特記事項**

## ヒナノシャクジョウ

*Burmannia championii* Thwaites種子植物  
ヒナノシャクジョウ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 常緑林内**生育状況** 小岱山、金峰山、球磨村、天草市（旧河浦町）など県内各地に見られたが、現在生育が確認できる産地はない。急激に減少していると思われる。**生存への脅威** 森林伐採**特記事項** 菌従属栄養植物。

## シロシャクジョウ

*Burmanna cryptopetala* Makino種子植物  
ヒナノシャクジョウ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー**選定理由** その他 (もともと希少)**生育環境** 常緑林内**生育状況** 菊池市 (旧菊池市)、玉名市 (旧玉名市)、上天草市、あさぎり町などに生育し、やや群生する。**生存への  
脅威** 森林伐採**特記事項** 菌従属栄養植物。

## キリシマシャクジョウ

*Burmanna liukuensis* Hayata種子植物  
ヒナノシャクジョウ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)**選定理由** その他 (もともと希少)**生育環境** 常緑林内**生育状況** 相良村、錦町、人吉市などで生育が確認されている。個体数など詳しいことはわからない。今後、詳細な調査が必要な種である。**生存への  
脅威** 森林伐採**特記事項** 菌従属栄養植物。

## ホンバナコバイモ

*Fritillaria amabilis* Koidz.種子植物  
ユリ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)**選定理由** 県内局限、近年減少、その他 (もともと希少)**生育環境** 落葉林内**生育状況** 阿蘇 (深葉、的石) から五家荘、球磨地方の主に標高 1000m以上の落葉林内に生育する。分布域は広いが個体数は少ない。**生存への  
脅威** 森林伐採、捕獲・採集**特記事項**

## ヒナラン

*Amitostigma gracile* (Blume) Schltr.種子植物  
ラン科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)**選定理由** 県内局限、近年減少、その他 (もともと希少)**生育環境** 山地の岩上**生育状況** 菊池市 (旧菊池市) 深葉、高森町、金峰山、宇城市 (旧三角町) などで確認されているが、近年の生育情報は少ない。今後、詳細な調査が必要な種である。**生存への  
脅威** 捕獲・採集**特記事項**

## キエビネ

*Calanthe striata* R.Br.種子植物  
ラン科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)**選定理由** 全国局限、近年減少**生育環境** 山地の林内**生育状況** 県内各地にやや稀に見られたが、1970年代のエビネ類栽培ブームで採取され、激減した。群生する産地はなくなり、現在ほとんどの産地で生育数は数個体程度である。**生存への脅威** 捕獲・採集、森林伐採**特記事項**

## ユウシュンラン

*Cephalanthera erecta* (Thunb.) Blume var. *subaphylla* (Miyabe et Kudo) Ohwi種子植物  
ラン科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 II 類 (VU)**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 山地林内の陰湿な地上**生育状況** 水俣市、八代市（泉村）で生育が確認されている。林内の溪流辺などに極く少数個体が散生する。**生存への脅威** 森林伐採、人工造林**特記事項**

## カンラン

*Cymbidium kanran* Makino種子植物  
ラン科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)**選定理由** 近年減少**生育環境** 常緑林内**生育状況** 県内各地に見られたが、採取圧が高く、野生のものを見ることはほとんどない。**生存への脅威** 捕獲・採集、森林伐採**特記事項**

## タシロラン

*Epipogium roseum* (D.Don) Lindl.種子植物  
ラン科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 山地の林内**生育状況** 山鹿市（旧鹿央町）、熊本市（旧熊本市）、氷川町（旧宮原町）、あさぎり町、天草市（旧本渡市）で生育が確認されている。いずれの生育地も生育面積は狭く、個体数も少ない。**生存への脅威** 森林伐採**特記事項** 菌従属栄養植物。

オサラン		熊本県カテゴリー
<i>Eria japonica</i> Maxim.		絶滅危惧ⅠB類 (EN)
種子植物 ラン科		環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
選定理由	県内局限、近年減少	
生育環境	山地林内の樹上	
生育状況	水俣市、水上村（市房山）、人吉市など各地に見られる。近年の確認情報は少なく、生育数の減少が推察される。	
生存への脅威	森林伐採	
特記事項		

オニノヤガラ		熊本県カテゴリー
<i>Gastrodia elata</i> Blume		絶滅危惧ⅠB類 (EN)
種子植物 ラン科		環境省カテゴリー
選定理由	近年減少	
生育環境	落葉林内、山地の草原	
生育状況	南阿蘇村（旧長陽村、旧久木野村）、高森町、小国町などで確認されている。どの生育地も個体数が少ない。高森町では、野焼き・採草などの中止による遷移の進行のため、個体数が減少している。	
生存への脅威	管理放棄、自然遷移	
特記事項	菌従属栄養植物。	

ムヨウラン		熊本県カテゴリー
<i>Lecanorchis japonica</i> Blume		絶滅危惧ⅠB類 (EN)
種子植物 ラン科		環境省カテゴリー
選定理由	県内局限、その他（もともと希少）	
生育環境	山地林内	
生育状況	深葉、宇城市（旧小川町）、山都町（旧矢部町）などで生育が確認されているが、近年の生育情報はなく、個体数など詳しいことは分からない。今後、詳細な調査が必要な種である。	
生存への脅威	森林伐採	
特記事項	菌従属栄養植物。	

ニラバラン		熊本県カテゴリー
<i>Microtis unifolia</i> (G.Forst.) Rchb.f.		絶滅危惧ⅠB類 (EN)
種子植物 ラン科		環境省カテゴリー
選定理由	県内局限、近年減少、その他（もともと希少）	
生育環境	沿岸地の丘陵地の草原	
生育状況	宇土市、天草市（旧五和町、旧本渡市、旧牛深市）、芦北町（旧芦北町）など、沿海地の各地で生育が確認されている。しかし、近年の生育情報はなく、個体数など詳しいことはわからない。今後、詳細な調査が必要な種である。	
生存への脅威	土地造成、自然遷移	
特記事項		

## フウラン

*Neofinetia falcata* (Thunb.) Hu種子植物  
ラン科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)**選定理由** 近年減少**生育環境** 常緑林内の樹上**生育状況** 県内各地に見られたが、近年は生育地および生育個体数ともに激減している。減少要因である森林伐採や採取は今も続いており、希少化は進行しつつある。**生存への脅威**  
**特記事項** 森林伐採、捕獲・採集

## トキシウ

*Pogonia japonica* Rchb.f.種子植物  
ラン科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 日当たりの良い湿性草原**生育状況** 阿蘇市(旧阿蘇町、旧一の宮町)、産山村、山都町(旧矢部町)で生育が確認されている。いずれも草原に点在する湿地に生育しており、どの生育地でも生育面積は狭い。**生存への脅威**  
**特記事項** 水湿地の開発、捕獲・採集、土砂流入、自然遷移

## ウチョウラン

*Ponerorchis graminifolia* Rchb.f.種子植物  
ラン科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)**選定理由** 近年減少**生育環境** 山地の岩上や樹上**生育状況** 県内各地に見られたが、主に園芸目的の採取により激減した。近年は採取圧も低下したが今も続いており、希少化は進行しつつある。**生存への脅威**  
**特記事項** 捕獲・採集、森林伐採

## ヒトツボクロ

*Tipularia japonica* Matsum.種子植物  
ラン科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、近年減少、その他(もともと希少)**生育環境** 山地林内**生育状況** 五木村(元井谷)、山都町(旧矢部町)、水上村等県内数ヶ所で生育が確認されている。いずれも落葉林内の腐葉土の堆積した場所で、水はけの良いところである。葉が1枚で地面すれすれにあり、葉の色が落ち葉に似ているので、見落とされやすい。個体数はいずれも少ない。**生存への脅威**  
**特記事項** 森林伐採、道路工事

## キバナノショウキラン

熊本県カテゴリー

絶滅危惧 I B 類 (EN)

環境省カテゴリー

絶滅危惧 I B 類 (EN)

*Yuania amagiensis* Nakai et F.Maek.種子植物  
ラン科**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 山地林内**生育状況** 阿蘇市（旧一の宮町）、南阿蘇村（旧久木野村）、八代市（旧泉村）などで生育が確認されていたが、近年の生育情報はなく、個体数など詳しいことは分からない。今後、詳細な調査が必要な種である。**生存への脅威** 森林伐採、人工造林**特記事項** 菌従属栄養植物。

## コキンバイザサ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧 I B 類 (EN)

環境省カテゴリー

*Hypoxis aurea* Lour.種子植物  
キンバイザサ科**選定理由** その他（もともと希少）**生育環境** 山地の草原**生育状況** 南阿蘇村（旧久木野村）、西原村、相良村、あさぎり町（旧須恵村）、天草市（旧天草町）、水俣市など県内各地で生育が確認されているが、個体数は少ない。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、草原の開発**特記事項**

## スズラン

熊本県カテゴリー

絶滅危惧 I B 類 (EN)

環境省カテゴリー

*Convallaria majalis* L. var. *manshurica* Kom.種子植物  
キジカクシ科**選定理由** 県内局限、分布境界、近年減少**生育環境** 阿蘇地域の長草型草原**生育状況** 現在、生育が確認されているのは、阿蘇市（旧波野村、旧一の宮町）だけで、旧波野村の保全地域では群生している。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、捕獲・採集**特記事項** 阿蘇市は分布南限。旧波野村の生育地は県の自然環境保全地域に指定されている。多様性条例（指定希少野生動植物）。

## カンザシギボウシ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧 I B 類 (EN)

環境省カテゴリー

*Hosta capitata* (Koidz.) Nakai種子植物  
キジカクシ科**選定理由** 県内局限**生育環境** 山地の林縁**生育状況** 天草市（旧倉岳町）、八代市（旧泉村）に生育が見られる。生育面積は狭く、個体数も多くない。また、人目に付きやすい場所であり、開花期に採取される危険性もある。**生存への脅威** 自然災害、動物食害、捕獲・採集**特記事項**

## ミヤマナルコユリ

*Polygonatum lasianthum* Maxim.種子植物  
キジカクシ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 山地の林内**生育状況** 上天草市、菊池市（旧旭志村）、山鹿市（旧菊鹿町）、八代市（旧泉村）などに生育する。上天草市と八代市の自生地では、生育状況は良好である。**生存への  
脅威  
特記事項** 森林伐採

## ヒロハノイヌノヒゲ

*Eriocaulon alpestre* Hook.f. et Thomson ex Koern.種子植物  
ホシクサ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー**選定理由** 近年減少**生育環境** 水湿地**生育状況** 山鹿市（旧山鹿市）、水俣市、相良村、湯前町に見られるが、いずれの生育地でも生育環境の悪化によって個体数が減少しつつある。**生存への  
脅威  
特記事項** 管理放棄、自然遷移、埋め立て  
別名 ヒロハイヌノヒゲ。

## オオホシクサ

*Eriocaulon buergerianum* Koern.種子植物  
ホシクサ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 水田や水湿地**生育状況** 益城町、相良村、湯前町、水俣市、上天草市などに見られたが、上天草市ではすでに絶滅した可能性がある。他の生育地も遷移の進行が顕著で、生育個体数が大きく減少している。**生存への  
脅威  
特記事項** 管理放棄、自然遷移

## ワンドスゲ

*Carex argyi* H.Lév. et Vaniot種子植物  
カヤツリグサ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 II 類 (VU)**選定理由** 県内局限、分布境界**生育環境** 平地の湿性地**生育状況** 熊本市江津湖に生育する。群生し、生育状態は良好である。**生存への  
脅威  
特記事項** 水湿地の開発  
本種はこれまでエヅナルコと仮称していたものである。国内での分布は他に大阪府と高知県で、江津湖は分布の南限。



<b>コハリスゲ</b>	熊本県カテゴリー
	絶滅危惧 I B 類 (EN)
<i>Carex hakonensis</i> Franch. et Sav.	環境省カテゴリー

種子植物  
カヤツリグサ科

選定理由 県内局限、分布境界

生育環境 落葉広葉樹林の林床

生育状況 市房山（水上村）の山頂近くのみで生育する。林床の転石上にわずかに見られ、生育面積も 10 a 前後と推定される。同地は近年シカによる林床植物の減少が顕著であり、被害が懸念される。

生存への脅威 自然災害、動物食害

特記事項 市房山は分布の南限。

<b>コウボウムギ</b>	熊本県カテゴリー
	絶滅危惧 I B 類 (EN)
<i>Carex kobomugi</i> Ohwi	環境省カテゴリー

種子植物  
カヤツリグサ科

選定理由 県内局限

生育環境 海辺の砂地

生育状況 天草市（旧五和町、旧天草町、旧牛深市）に生育している。旧天草町では土木機械による強い攪乱を受け個体数が減少したが、現在生育状況は良好である。

生存への脅威 海辺の改変等、踏み付け

特記事項

<b>ミヤマシラスゲ</b>	熊本県カテゴリー
	絶滅危惧 I B 類 (EN)
<i>Carex olivacea</i> Boott subsp. <i>confertiflora</i> (Boott) T.Koyama	環境省カテゴリー

種子植物  
カヤツリグサ科

選定理由 県内局限、分布境界

生育環境 湿性地

生育状況 小国町、南小国町の各地に生育する。生育地のほとんどは以前草原であった場所であるが、耐陰性があり、スギ植林になった場所でもよく生育している。

生存への脅威 管理放棄、埋め立て

特記事項

<b>コウボウシバ</b>	熊本県カテゴリー
	絶滅危惧 I B 類 (EN)
<i>Carex pumila</i> Thunb.	環境省カテゴリー

種子植物  
カヤツリグサ科

選定理由 県内局限

生育環境 海辺の砂地

生育状況 天草市の 2 ヶ所（旧天草町、旧牛深市）に生育が見られる。両生育地とも個体数も多く生育状況は良好であるが、海水浴場であるため踏みつけ等の人為的な影響を受けやすい。

生存への脅威 海辺の改変等、踏み付け

特記事項

## アゼスゲ

*Carex thunbergii* Steud.種子植物  
カヤツリグサ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、分布境界、その他 (もともと希少)**生育環境** 湿生草原**生育状況** 生育が確認されているのは阿蘇市 (旧阿蘇町) の2ヶ所だけである。群生するが、生育面積は10a以下である。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移**特記事項** 阿蘇市は分布の南限。

## アオテンツキ

*Fimbristylis dipsacea* (Rottb.) C.B. Clarke var. *verrucifera* (Maxim.) T. Koyama種子植物  
カヤツリグサ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 池沼**生育状況** 荒尾市、熊本市 (旧熊本市) で生育が確認されている。農業用ため池の水が抜かれたとき等に一齐に発生するので、生育地の確認がやや困難である。生育域はもっと広いと思われる。個体数は多いが生育地は限られるので、埋め立て工事などで一気に減少する危険性がある。**生存への脅威** 埋め立て、管理放棄**特記事項**

## ハタベカンガレイ

*Schoenoplectiella gemmifera* (C. Sato, T. Maeda et Uchino) Hayas.種子植物  
カヤツリグサ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)**選定理由** 県内局限、模式産地**生育環境** 小水路などの浅い流水域**生育状況** 小国町、南小国町、阿蘇市 (旧一の宮町)、人吉市、水俣市に生育する。いずれも小水路中にやや群生するが、小面積で局所的であるため、河川改修などで生育地全体が消失する危険性がある。小国町、南小国町の生育地は管理放棄や遷移の進行により日照障害が生じ、生育量の低下が見られる。**生存への脅威** 河川改修、埋め立て、管理放棄**特記事項** 小国町が模式産地。

## ヒメカンガレイ

*Schoenoplectiella mucronata* (L.) J. D. Jung et H. K. Choi var. *mucronata*種子植物  
カヤツリグサ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)**選定理由** 全国局限、県内局限、近年減少**生育環境** 湿生草原**生育状況** 荒尾市、小国町、山鹿市 (旧山鹿市)、益城町、上天草市、山都町 (旧矢部町) に生育する。カンガレイよりも自然度の高い湿性環境に生育する。山都町以外の生育地は管理放棄などで生育環境の悪化が見られ、個体数が減少傾向にある。国内の生育地も少ない。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移**特記事項**

## ツクシカンガレイ

*Schoenoplectiella multiseta* (Hayas. et C.Sato) Hayas.種子植物  
カヤツリグサ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、模式産地、近年減少**生育環境** 池沼や湿地**生育状況** 人吉市、水俣市の限られた地域に生育する。カンガレイとの雑種が生じ、その勢力が強く、本種の生育量が減少しつつある生育地もある。また、生育地の管理不足やヨシの生育量増加により、本種の生育環境が悪化しつつある生育地もある。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、その他（ヨシの繁茂）**特記事項** 水俣市が模式産地。

## ヒロハノドジョウツナギ

*Glyceria leptolepis* Ohwi種子植物  
イネ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、分布境界、近年減少**生育環境** 明るい湿生草原や水路**生育状況** 現在生育が確認されているのは南小国町の2ヶ所だけである。生育地はいずれも二次草原内の水湿地。近年、遷移の進行が顕著で、個体数が減少しつつある。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移**特記事項** 南小国町瀬の本は国内分布の南限。熊本県の過去の記録で南小国町以外で本種とされたものは、マンゴクドジョウツナギの誤認である。

## ミヤコジマツツラフジ

*Cyclea insularis* (Makino) Hatus.種子植物  
ツツラフジ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー**選定理由** 全国局限、県内局限**生育環境** 沿海地の林縁**生育状況** 天草市（旧牛深市）の沿海地の林縁に生育するが、個体数は少ない。**生存への脅威** 森林伐採、自然遷移**特記事項**

## アズマイチゲ

*Anemone raddeana* Regel種子植物  
キンポウゲ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、分布境界、近年減少**生育環境** 落葉林内および田畑の土手や道端の石垣**生育状況** 山都町（旧矢部町、旧蘇陽町）、高森町、阿蘇市（旧波野村）で生育が確認されている。一部の自生地では開花期に多くの人々が訪れ、採取や踏み付けによる被害が見られる。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、人工造林、捕獲・採集、踏み付け**特記事項** 九州では熊本県と大分県の限られた地域に見られ、熊本県の自生地は分布の南限にあたる。多様性条例（指定希少野生動植物）。

## ヒメバイカモ

*Ranunculus kazusensis* Makino種子植物  
キンポウゲ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 日当たりの良い透明度の高い流水中**生育状況** 熊本市（旧熊本市）、嘉島町、山江村、人吉市で生育が確認されている。熊本市、嘉島町の生育地は、水遊びの人が頻繁に入り、踏み付けるなどの攪乱を受けている。また熊本市では、生育地一帯の清掃作業によって取り除かれることもある。**生存への脅威** 河川改修、踏み付け、除草**特記事項**

## フシノハアブキ

*Meliosma arnottiana* (Wight) Walp. subsp. *oldhamii* (Maxim.) H. Ohba種子植物  
アブキ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー**選定理由** 全国局限、県内局限、近年減少、その他（もともと希少）**生育環境** 低山地の林内**生育状況** 南阿蘇村（旧久木野村）、高森町、大津町、山都町（旧蘇陽町、旧清和村）の広葉樹林やスギ植林内に稀に見られる。スギ植林内のものは幼樹が多いが、広葉樹林内のものは樹高が 10m を超えるものもある。成木が最も多かった旧久木野村の生育地では、森林伐採によりその多くが消失した。**生存への脅威** 森林伐採**特記事項** 国内の他の分布は山口県、長崎県（対馬）、大分県（上津江）、沖縄県。

## ツゲ

*Buxus microphylla* Siebold et Zucc. var. *japonica* (Müll. Arg. ex Miq.) Rehder et E. H. Wilson種子植物  
ツゲ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 常緑樹林内（石灰岩）**生育状況** 球磨村（一勝地、神瀬）の石灰岩上に、イブキシモツケ、コマユミ、アラカシ等と共に生育している。いずれの産地も生育面積が狭い。道路の拡張工事、法面のセメント吹付け工事等により一部失われたものの、その後安定した状態が維持されている。**生存への脅威** 捕獲・採集**特記事項**

## ヒゴミズキ

*Corylopsis gotoana* Makino var. *pubescens* (Nakai) T. Yamaz.種子植物  
マンサク科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)**選定理由** 県内局限、地域的孤立・希少、模式産地**生育環境** 低山地の疎林内**生育状況** 八代市（旧八代市、旧坂本村）に 2ヶ所の生育地がある。いずれも蛇紋岩地である。生育地は伐採も無く、現状が維持されている。樹高が 3~5m 程であるので、スギ、ヒノキが植林されると、照度低下により枯死消滅が危惧される。**生存への脅威** 森林伐採、人工造林、捕獲・採集**特記事項** 八代市は模式産地。

## ヤシャビシヤク

*Ribes ambiguum* Maxim.種子植物  
スグリ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)**選定理由** 近年減少、その他（もともと希少）**生育環境** 落葉樹の樹上**生育状況** 九州中央山地のブナなどの高木上で腐葉土の堆積したような箇所には生育している。個体数は決して多くない。森林伐採や採取によってかなりの個体数が消滅している。**生存への脅威** 森林伐採、捕獲・採集  
**特記事項**

## コチャルメルソウ

*Mitella pauciflora* Rosend.種子植物  
ユキノシタ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、分布境界**生育環境** 山地の水流辺の地上**生育状況** 南小国町、阿蘇市（旧阿蘇町）、菊池市（旧菊池市）、八代市（旧泉村）で生育が確認されている。各生育地の生育個体数は比較的多く、生育状況も安定している。八代市以外は、大分県日田市（旧上津江村）との県境山地に集中している。**生存への脅威** 河川改修  
**特記事項** 国内南限。

## ワタナベソウ

*Peltoboykinia watanabei* (Yatabe) H.Hara種子植物  
ユキノシタ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 II 類 (VU)**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 落葉林内**生育状況** 県内では阿蘇地域にのみ分布する。これまでに、南外輪の狼ヶ宇土、駒返峠、本谷峠などで確認されているが、現在生育が確認できるのは南阿蘇村（旧久木野村）、高森町の数ヶ所である。個体数はどの生育地でも少なく、植生の遷移や森林伐採による生育環境の悪化で、生育地の減少や消滅が懸念される。**生存への脅威** 森林伐採  
**特記事項**

## ウチワダイモンジソウ

*Saxifraga fortunei* Hook.f. var. *obtusocuneata* (Makino) Nakai種子植物  
ユキノシタ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 山地の溪流沿いの湿った岩上**生育状況** 南阿蘇村（旧久木野村）、水上村、あさぎり町、多良木町で生育が確認されている。溪流沿いの湿った岩場などに生育している。**生存への脅威** 自然災害、捕獲・採集  
**特記事項**

## ツメレンゲ

*Orostachys japonica* (Maxim.) A.Berger種子植物  
ベンケイソウ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)**選定理由** 県内局限**生育環境** 海辺の岩上**生育状況** 上天草市、天草市（旧倉岳町、旧御所浦町、旧牛深市）に見られたが、現在、上天草市では生育が確認できない。生育面積が狭く、個体数も多くないので、自然災害などによって容易に絶滅する可能性がある。**生存への脅威** 自然災害、捕獲・採集**特記事項**

## クマガワブドウ

*Vitis kiusiana* Momiy種子植物  
ブドウ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)**選定理由** 全国局限、県内局限、模式産地**生育環境** 低山地の林縁**生育状況** 球磨地方を中心に、水俣市や八代市にも生育している。暖帯林の構成種であるアラカシ、コジイ等の高木の上部を覆っている。大きいものでは幹の直径が 10cm にも達する。**生存への脅威** 森林伐採**特記事項** 九州での他地域の分布は宮崎県と鹿児島県。

## フジキ

*Cladrastis platycarpa* (Maxim.) Makino種子植物  
マメ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限**生育環境** 山地の林内**生育状況** 小国町、南小国町に生育する。生育範囲が限られ、生育個体数も少ない。**生存への脅威** 森林伐採**特記事項** 九州での他地域の分布は大分県、宮崎県であるが、いずれも稀。

## クロバナキハギ

*Lespedeza melanantha* Nakai種子植物  
マメ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 II 類 (VU)**選定理由** 全国局限、県内局限、分布境界**生育環境** 石灰岩峰上**生育状況** 山都町（旧矢部町）、球磨村、五木村に生育する。いずれも石灰岩峰上の非常に厳しい環境下で生育している。特殊な環境であるため、多くは高さ 30~50cm ほどで、下部から多数の株立ち状態をなしている。**生存への脅威** 自然災害**特記事項** 国内では熊本県と愛知県だけに生育し、球磨村は分布の南限。

<b>イヌハギ</b>		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠB類 (EN)
<i>Lespedeza tomentosa</i> (Thunb.) Siebold ex Maxim.		環境省カテゴリー
種子植物 マメ科		絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<b>選定理由</b>	近年減少、地域的孤立・希少	
<b>生育環境</b>	長草型の草原	
<b>生育状況</b>	県内では、各地に散在していたとの記録があるが、現在生育が確認されているのは、阿蘇地域の高森町や西原村など数ヶ所のみである。どの生育地も数個体が点在する程度である。野焼き・採草などの中止による遷移の進行のため、個体数が減少している。	
<b>生存への脅威</b>	管理放棄、自然遷移、人工造林	
<b>特記事項</b>		

<b>アカササゲ</b>		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠB類 (EN)
<i>Vigna vexillata</i> (L.) A.Rich. var. <i>tsusimensis</i> Matsum.		環境省カテゴリー
種子植物 マメ科		絶滅危惧ⅠB類 (EN)
<b>選定理由</b>	全国局限、近年減少	
<b>生育環境</b>	日当たりの良い草原や路傍、林縁	
<b>生育状況</b>	熊本市（旧熊本市）、山鹿市（旧山鹿市、旧菊鹿町）、山都町（旧矢部町）、八代市（旧泉村）、人吉・球磨地方、天草市（旧本渡市、旧河浦町）など、平地を中心に県内各地に生育する。生育環境である林縁や道路沿いなどの長草型の草原が各種土木工事や管理放棄などにより消失したり劣化して減少している。	
<b>生存への脅威</b>	管理放棄、自然遷移	
<b>特記事項</b>		

<b>シモツケソウ</b>		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠB類 (EN)
<i>Filipendula multijuga</i> Maxim.		環境省カテゴリー
種子植物 バラ科		
<b>選定理由</b>	県内局限	
<b>生育環境</b>	長草型の草原	
<b>生育状況</b>	小国町、南小国町、産山村の数ヶ所で生育が確認されている。低茎から中茎の二次草原に見られるが、遷移の進行などによる生育環境の劣化により個体数が減少している。	
<b>生存への脅威</b>	管理放棄、自然遷移、人工造林	
<b>特記事項</b>		

<b>シマバライチゴ</b>		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠB類 (EN)
<i>Rubus lambertianus</i> Ser.		環境省カテゴリー
種子植物 バラ科		絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<b>選定理由</b>	全国局限、県内局限	
<b>生育環境</b>	低山地の林縁	
<b>生育状況</b>	球磨村、上天草市、天草市（旧本渡市、旧五和町、旧天草町、旧有明町）、苓北町等に生育するが、生育地は限られる。自生地はややマント群落的な二次的植生域であり、遷移の進行により生育環境が悪化することが懸念される。	
<b>生存への脅威</b>	自然遷移、森林伐採	
<b>特記事項</b>		

## キリエノキ

*Trema cannabina* Lour.種子植物  
アサ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー**選定理由** 全国局限、県内局限**生育環境** 山地の林内**生育状況** 天草市（旧天草町、旧河浦町、旧牛深市）で生育が確認されているが、個体数は少ない。**生存への脅威** 森林伐採**特記事項** 伐採直後に侵入するパイオニア植物であり、安定した生育は難しい。

## イワシデ

*Carpinus turczaninovii* Hance種子植物  
カバノキ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 山地の尾根（石灰岩地）**生育状況** 八代市と美里町にまたがる権現山、芦北町（笠山銅山）で生育が見られる。いずれも石灰岩地の尾根沿いに見られ、安定した生育状況である。権現山では尾根部に群落を形成している。**生存への脅威** 森林伐採**特記事項**

## ヒカゲスミレ

*Viola yezoensis* Maxim.種子植物  
スミレ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限**生育環境** 落葉林内**生育状況** 県内では阿蘇地域にのみ分布する。南阿蘇村（旧久木野村）と高森町の数ヶ所に点在している。個体数はどの生育地でも少なく、植生の遷移や森林伐採による生育環境の悪化で、生育地の減少や消滅が懸念される。**生存への脅威** 森林伐採、自然遷移**特記事項**

## オオトモエソウ

*Hypericum ascyron* L. var. *longistylum* Maxim.種子植物  
オトギリソウ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 II 類 (VU)**選定理由** 県内局限、近年減少、地域的孤立・希少**生育環境** 長草型の草原、林縁の草原**生育状況** 県内では金峰山と阿蘇で確認されている。現在、生育が確認できるのは阿蘇市（旧阿蘇町、旧一の宮町、旧波野村）、産山村、高森町にかけての外輪山上の草原や林縁の草原であるが、どの産地も個体数は少ない。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、人工造林**特記事項** 別名 コウライトモエソウ。



ツキヌキオトギリ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧 I B 類 (EN)
<i>Hypericum sampsonii</i> Hance		環境省カテゴリー
種子植物 オトギリソウ科		絶滅危惧 I B 類 (EN)
選定理由	その他 (もともと希少)	
生育環境	山地の湿り気の多い林縁や路傍	
生育状況	県内各地に見られるが、個体数はいずれも数株~10 数株程度で少ない。森林伐採による乾燥や周辺環境の変化などに左右されやすく、2 年ほどで消滅する事例も見られる。近年、やや増加の傾向が感じられる。	
生存への脅威	自然遷移	
特記事項		

イワアカバナ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧 I B 類 (EN)
<i>Epilobium amurense</i> Hausskn. subsp. <i>cephalostigma</i> (Hausskn.) C.J.Chen, Hoch et P.H.Raven		環境省カテゴリー
種子植物 アカバナ科		
選定理由	県内局限、その他 (もともと希少)	
生育環境	山地の水湿地	
生育状況	八代市 (旧泉村) だけに見られる。小群落になることが多く、生育地は散在する。	
生存への脅威	森林伐採、道路工事	
特記事項		

ヒメノボタン		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧 I B 類 (EN)
<i>Osbeckia chinensis</i> L.		環境省カテゴリー
種子植物 ノボタン科		絶滅危惧 II 類 (VU)
選定理由	県内局限、近年減少、地域的孤立・希少	
生育環境	長草型の草原	
生育状況	和水町 (旧三加和町)、人吉市、水俣市、天草市 (旧本渡市) など県内各地で記録されているが、現在生育が確認されているのは、山江村、水俣市と西原村のみである。西原村では草原の斜面に生育し、個体数は比較的多い。水俣市では生育地の管理停止に伴って生育環境が悪化し、個体数の減少が起きている。	
生存への脅威	管理放棄、自然遷移、人工造林、捕獲・採集	
特記事項		

シマサクラガンピ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧 I B 類 (EN)
<i>Diplomorpha pauciflora</i> (Franch. et Sav.) Nakai var. <i>yakushimensis</i> (Makino) T.Yamanaka		環境省カテゴリー
種子植物 ジンチョウゲ科		
選定理由	県内局限、その他 (もともと希少)	
生育環境	山地の林内	
生育状況	現在生育が確認されているのは水上村と五木村の 2 ヶ所だけである。水上村では生育環境は安定に保たれており、個体数も 50 個体以上と推定される。ただ、生育範囲が狭く、岩盤上の急傾斜地であるため、崩壊などの自然災害があった場合、壊滅的な被害を受ける危険性がある。五木村では岩峰上に少数個体が生育している。	
生存への脅威	自然災害	
特記事項		

## ミヤマツチトリモチ

*Balanophora nipponica* Makino種子植物  
ツチトリモチ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)**選定理由** 全国局限、県内局限、地域的孤立・希少、その他（もともと希少）**生育環境** 山地の林内や林縁**生育状況** 生育が確認されているのは、八代市（旧泉村）の1ヶ所のみで、生育面積も限られ個体数も少ない。**生存への脅威** 森林伐採、踏み付け**特記事項** 別名 キュウシュウツチトリモチ。寄生植物。

## オグラセンノウ

*Silene kiusiana* (Makino) H.Ohashi et H.Nakai種子植物  
ナデシコ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)**選定理由** 全国局限、県内局限、分布境界、近年減少**生育環境** 湿生草原**生育状況** 阿蘇市（旧阿蘇町、旧一の宮町）、南小国町、小国町の二次草原内の湿地に稀に生育する。いずれも高茎型の湿生草原であるが、近年、遷移の進行やヨシの侵入により湿地環境の劣化が顕在化している。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、捕獲・採集**特記事項** 阿蘇地域は分布の南限。九州での他地域の分布は大分県（久住地域、上津江）。多様性条例（指定希少野生動植物）。

## マツモトセンノウ

*Silene sieboldii* (Van Houtte) H.Ohashi et H.Nakai種子植物  
ナデシコ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)**選定理由** 全国局限、県内局限、近年減少、地域的孤立・希少**生育環境** 長草型の草原、林縁の草原**生育状況** 阿蘇外輪山の東部地域（阿蘇市：旧一の宮町、旧波野村、産山村、高森町）に見られる。高森町や旧波野村では群生している場所もあるが、旧一の宮町や産山村では草原の谷間に数個体が点在する程度である。人工造林や野焼き・放牧・採草などの中止による遷移の進行により激減している。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、捕獲・採集、人工造林**特記事項** 別名 マツモト、ツクシマツモト。多様性条例（指定希少野生動植物）。

## ヨウラクツツジ

*Rhododendron kroniae* Craven種子植物  
ツツジ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 落葉林内**生育状況** 美里町（旧砥用町）、八代市（旧泉村）、山都町（旧矢部町）に生育する。山頂付近の狭い範囲に見られ、個体数、生育範囲とも限られる。**生存への脅威** 森林伐採  
**特記事項**

## ナンゴクミツバツツジ

*Rhododendron mayebarae* Nakai et H.Hara種子植物  
ツツジ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

選定理由 県内局限、模式産地

生育環境 山地の林内

生育状況 水上村(市房山)、あさぎり町(黒原山)に生育する。大分県(祖母・大崩山)から鹿児島県(大隅山地)にかけて見られ、分布の中心は宮崎県尾鈴・米良山地。

生存への  
脅威 森林伐採

特記事項 九州固有種。黒原山は模式産地。

## ゲンカイツツジ

*Rhododendron mucronulatum* Turcz. var. *ciliatum*  
Nakai種子植物  
ツツジ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)

選定理由 県内局限、その他(もともと希少)

生育環境 山地の岩場

生育状況 阿蘇の南外輪山内壁(高森町、南阿蘇村)の集塊岩上に生え、県内の生育場所はこの地域だけである。南阿蘇村(旧久木野村)では岩峰に点々と生育しているが、高森町では1967年の時点で盗掘により消滅したとされている。

生存への  
脅威 捕獲・採集、自然遷移

特記事項

## ミヤマムグラ

*Galium paradoxum* Maxim. subsp. *franchetianum*  
Ehrend. et Schönb.-Tem.種子植物  
アカネ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー

選定理由 県内局限、近年減少、その他(もともと希少)

生育環境 山地林内の陰湿地

生育状況 山都町(旧矢部町)、水上村(市房山、江代山)、あさぎり町(白髪岳)、八代市(旧泉村)で生育が確認がされている。いずれもブナやシデ類を中心とする落葉林内の湿り気の多い沢沿いに生育する。

生存への  
脅威 森林伐採、動物食害

特記事項

## コハンムグラ

*Hedyotis chrysotricha* (Palib.) Merr.種子植物  
アカネ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)

選定理由 地域的孤立・希少

生育環境 山野の路傍

生育状況 これまで、山鹿市(旧山鹿市、旧鹿本町、旧菊鹿町)、南阿蘇村(旧久木野村)、益城町、八代市(旧泉村)、苓北町、天草市(旧天草町)など県内各地で記録、採集されているが、現在生育が確認できる産地は少ない。山鹿市(旧菊鹿町)では100株程度が道沿いの草原に点在している。

生存への  
脅威 道路工事、農地開発

特記事項

## クルマバアカネ

*Rubia cordifolia* L. var. *lancifolia* Regel

種子植物  
アカネ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー

**選定理由** 県内局限

**生育環境** 海辺の草原と林縁

**生育状況** 天草市（旧天草町）と苓北町に生育が見られる。天草市の生育地では旺盛に繁茂しているが、生育地が局限されており、しかもキャンプ場と隣接しているため、草刈り等で除草される可能性がある。

**生存への脅威** 草原の開発、除草

**特記事項**

## ヤマトグサ

*Theligonum japonicum* Okubo et Makino

種子植物  
アカネ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー

**選定理由** 県内局限、分布境界、近年減少、その他（もともと希少）

**生育環境** 山地の林内および林縁

**生育状況** 現在、生育が確認されているのは、八代市（旧泉村）、五木村、山都町（旧矢部町）である。五木村の自生地では、シカによる食害が顕著に見られる。

**生存への脅威** 動物食害、森林伐採、人工造林、踏み付け、自然災害

**特記事項** 熊本県の自生地は九州における唯一の生育域であるとともに、分布の南限にあたる。

## シノメソウ

*Swertia swertopsis* Makino

種子植物  
リンドウ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 II 類 (VU)

**選定理由** 県内局限、近年減少、地域的孤立・希少

**生育環境** 落葉林内

**生育状況** 県内では、菊池市（旧菊池市深葉、旧旭志村）、大津町（矢護山、北向山）、高森町で確認されているが、現在生育が確認できるのは高森町と北向山だけである。個体数は少なく、森林伐採などで容易に絶滅状態になる可能性がある。

**生存への脅威** 森林伐採、捕獲・採集

**特記事項**

## ミヤマイボタ

*Ligustrum tschonoskii* Decne.

種子植物  
モクセイ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー

**選定理由** その他（もともと希少）

**生育環境** 落葉林内

**生育状況** 八代市（旧泉村）と水上村（市房山）で生育が確認されている。その他に県内数ヶ所の記録があるが、サイコクイボタと混同した標本もあり、詳しいことはわからない。

**生存への脅威** 自然遷移、森林伐採

**特記事項**

<b>マンシュウハシドイ</b>	種子植物	熊本県カテゴリー
	モクセイ科	絶滅危惧ⅠB類 (EN) 環境省カテゴリー

<b>選定理由</b>	県内局限、分布境界、近年減少
<b>生育環境</b>	落葉林内
<b>生育状況</b>	八代市（旧泉村）に生育する。生育地一帯で石灰岩地の落土砂礫防止の工事がなされ、かなりの個体数が失われた。また、道路わきに移植された株もすべて枯死した。林内の個体は維持されている。
<b>生存への脅威</b>	道路工事、森林伐採
<b>特記事項</b>	九州では福岡県と熊本県のみで、分布の南限。

<b>キタミソウ</b>	種子植物	熊本県カテゴリー
	オオバコ科	絶滅危惧ⅠB類 (EN) 環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

<b>選定理由</b>	全国局限、県内局限
<b>生育環境</b>	日当たりの良い湖岸や水路沿いの湿地
<b>生育状況</b>	熊本市江津湖とその周辺地域に生育する。生育地は、冬から春に陸域になり、初夏から秋には冠水するような場所に多く見られるが、このような場所は釣り人などの踏み付け被害を受けることが多い。また、近年はナガエツルノゲイトウなどの外来種の侵入が見られるようになっている。
<b>生存への脅威</b>	河川改修、踏み付け、外来種の侵入、自然遷移、湿地の乾燥化
<b>特記事項</b>	国内の他地域の産地は埼玉県と北海道（北見市）など。

<b>ツクシトラノオ</b>	種子植物	熊本県カテゴリー
	オオバコ科	絶滅危惧ⅠB類 (EN) 環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

<b>選定理由</b>	全国局限、県内局限、分布境界、近年減少
<b>生育環境</b>	長草型の草原、林縁の草原
<b>生育状況</b>	産山村、阿蘇市（旧一の宮町、旧波野村）、高森町の阿蘇外輪山上の草原に見られる。高森町や旧波野村では群生している場所もあるが、旧一の宮町や産山村では草原の谷間に数個体が点在する程度である。人工造林や野焼き・採草などの中止による遷移の進行のため、個体数が減少している。
<b>生存への脅威</b>	管理放棄、自然遷移、人工造林、捕獲・採集
<b>特記事項</b>	別名 ヒロハトラノオ。高森町は分布南限。多様性条例（指定希少野生動植物）。

<b>イヌノフグリ</b>	種子植物	熊本県カテゴリー
	オオバコ科	絶滅危惧ⅠB類 (EN) 環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

<b>選定理由</b>	近年減少
<b>生育環境</b>	平地の畑地と路傍
<b>生育状況</b>	以前はどこにでも普通に見られる雑草であったが、オオイヌノフグリやタチイヌノフグリなどに駆逐されて最近ほとんど見られない。近年確認されている産地は、阿蘇市（旧一の宮町）、高森町、熊本市（熊本城内）、美里町、上天草市、八代市（旧八代市）、五木村などで、どの産地も個体数は少ない。
<b>生存への脅威</b>	外来種の侵入
<b>特記事項</b>	

## ビロードムラサキ

*Callicarpa kochiana* Makino種子植物  
シソ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)**選定理由** 全国局限、県内局限、その他 (もともと希少)**生育環境** 平地の林内、林縁**生育状況** 天草市 (旧新和町、旧河浦町) で生育が確認されている。2地域での生育数は20個体未満である。**生存への  
脅威** 森林伐採**特記事項** 国内の他の分布は紀伊半島、四国南部、鹿児島県。

## ヒメナミキ

*Scutellaria dependens* Maxim.種子植物  
シソ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他 (もともと希少)**生育環境** 山地の湿原、休耕田**生育状況** 阿蘇市 (旧阿蘇町)、八代市 (旧八代市、旧鏡町)、相良村で生育記録がある。近年では芦北町 (旧田浦町)、八代市、天草市の湿地で採集されている。個体数は多くはなく、今後湿地の開発等で容易に消失する可能性がある。**生存への  
脅威** 水湿地の開発、自然遷移**特記事項**

## スズメノハコベ

*Microcarpaea minima* (K.D.Koenig ex Retz.)  
Merr.種子植物  
ハエドクソウ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)**選定理由** 近年減少**生育環境** 平地の河岸や水湿地、水田、休耕田**生育状況** 玉名市 (旧玉名市)、熊本市 (旧熊本市)、球磨地方などに見られたが、近年はあさぎり町 (旧須恵村)、天草市で確認されているのみである。**生存への  
脅威** 水湿地の開発、池沼の改修**特記事項** 別名 スズメハコベ

## クチナシグサ

*Monochasma sheareri* (S.Moore) Maxim.種子植物  
ハマウツボ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー**選定理由** その他 (もともと希少)**生育環境** 低山地の林縁**生育状況** 小岱山、熊本市 (旧熊本市)、天草市 (旧本渡市) で生育が確認されている。日当たりの良い林縁に生育するが稀である。道ばたの除草や整備で影響を受ける可能性がある。**生存への  
脅威** 道路工事、土地造成、自然遷移**特記事項**

## キヨスミウツボ

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー

*Phacellanthus tubiflorus* Siebold et Zucc.

種子植物  
ハマウツボ科

**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）

**生育環境** 常緑林内の陰湿地

**生育状況** 南阿蘇村（旧久木野村）、あさぎり町（旧上村）、人吉市、菊池水源、西原村などの県内各地で生育が確認されている。

**生存への脅威** 森林伐採

**特記事項**

## ホザキノミミカキグサ

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー

*Utricularia caerulea* L.

種子植物  
タヌキモ科

**選定理由** 県内局限、近年減少

**生育環境** 貧栄養の短草型湿生草原

**生育状況** 小岱山、小国町、水俣市、相良村などに見られたが、現在生育が確認できるのは阿蘇市（旧阿蘇町、旧一の宮町）の阿蘇外輪山上の湿地と人吉市だけになっている。

**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移

**特記事項** 別名 ホザキミミカキグサ。

## フウリンウメモドキ

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー

*Ilex geniculata* Maxim.

種子植物  
モチノキ科

**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）

**生育環境** 山地林内、林縁

**生育状況** 山都町（旧矢部町）、八代市（旧泉村：白鳥山）で生育が確認されている。ブナ林においてオオカメノキ等とともに低木層を形成している。白鳥山の谷筋では比較的良好な状態で生育している。

**生存への脅威** 森林伐採、動物食害

**特記事項**

## ヤツシロソウ

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)

*Campanula glomerata* L. subsp. *speciosa* (Spreng.) Domin

種子植物  
キキョウ科

**選定理由** 全国局限、県内局限、近年減少

**生育環境** 長草型の草原

**生育状況** 南小国町、産山村、阿蘇市（旧阿蘇町、旧一の宮町、旧波野村）、高森町の阿蘇外輪山上の草原に見られる。高森町や旧波野村、旧一の宮町では群生している場所もあるが、その他の地域では草原の谷間に数個体が点在する程度である。人工造林や野焼き・採草などの中止による遷移の進行のため、個体数が減少している。

**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、人工造林、捕獲・採集

**特記事項** 多様性条例（指定希少野生動植物）。

## ツルギキョウ

*Codonopsis javanica* (Blume) Hook.f. et Thomson  
subsp. *japonica* (Makino) Lammers種子植物  
キキョウ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 II 類 (VU)**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 常緑林の林内と林縁**生育状況** 山鹿市（旧鹿北町）、益城町、球磨村、五木村、水俣市、天草市（下島）などに稀に見られた。山鹿市では生育状況は良好で個体数も多い。天草市では各地に見られるが個体数は少ない。**生存への脅威** 森林伐採**特記事項**

## ヤハズハハコ

*Anaphalis sinica* Hance種子植物  
キク科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 落葉樹林内の石灰岩峰**生育状況** 山江村（薬師岳）、八代市（旧泉村）の標高 1000m の岩上、岩隙にわずかに生育している。生育地が岩峰という厳しい所であるので個体数は非常に少ない。生育場所には、イワギク、イワキンバイ、イワツクバネウツギ等が見れる。**生存への脅威** 自然災害**特記事項** 九州では宮崎県と熊本県のみに生育している。

## ヒゴシオン

*Aster maackii* Regel種子植物  
キク科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 II 類 (VU)**選定理由** 全国局限、県内局限、近年減少**生育環境** 阿蘇地域の草原の湿地**生育状況** 阿蘇市（旧一の宮町、旧阿蘇町）、南小国町、山都町（旧矢部町、旧蘇陽町）などに見られる。生育地の多くは、二次草原内の軟泥質湿地であり、近年、希少化傾向が顕在化している。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、草原の開発**特記事項** 国内では熊本県と大分県に稀に生育している。多様性条例（指定希少野生動植物）。

## ノジギク

*Chrysanthemum japonense* (Makino) Nakai種子植物  
キク科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 沿海地の崖地等**生育状況** 天草市（旧天草町高浜）、苓北町で生育が確認されている。日奈久・水俣間での記録もあるがはっきりしたことはわからない。今後、詳細な調査が必要な種である。**生存への脅威** 海辺の改変等**特記事項**



## ヤナギアザミ

*Cirsium lineare* (Thunb.) Sch.Bip.種子植物  
キク科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー

選定理由 県内局限

生育環境 長草型の草原

生育状況 阿蘇地域を中心に県内各地に生育していたが、最近阿蘇地方の限られた地域でしか確認されていない。野焼き・採草などの中止による遷移の進行のため、個体数が減少している。

生存への脅威 管理放棄、自然遷移、人工造林

特記事項

## ヒゴタイ

*Echinops setifer* Iljin種子植物  
キク科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

選定理由 全国局限、県内局限、近年減少

生育環境 長草型の草原

生育状況 小国町、南小国町、産山村、阿蘇市（旧阿蘇町、旧一の宮町、旧波野村）の草原に見られる。球磨村の記録があるが、絶滅したものと思われる。阿蘇でも人工造林や野焼き・放牧・採草などの中止による遷移の進行、採取のため個体数が激減している。

生存への脅威 管理放棄、自然遷移、人工造林

特記事項 多様性条例（指定希少野生動植物）。

## イズハハコ

*Eschenbachia japonica* (Thunb.) Koster種子植物  
キク科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

選定理由 近年減少

生育環境 山野の路傍と崖地

生育状況 熊本市（旧熊本市）、西原村、八代市（旧八代市、旧東陽村）、水俣市、球磨村、天草市など県内各地で確認され、以前はやや普通程度に生育していたと思われるが、近年の生育情報は少ない。

生存への脅威 自然遷移

特記事項

## ハマニガナ

*Ixeris repens* (L.) A.Gray種子植物  
キク科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー

選定理由 県内局限

生育環境 海辺の砂地

生育状況 荒尾市、長洲町、上天草市、天草市（旧本渡市、旧天草町）などに見られたが、現在生育が確認されているのは旧天草町のみである。海水浴場であるため人為的攪乱を受けやすく、注意が必要である。

生存への脅威 観光開発、海辺の改変等

特記事項

## ヒナヒゴタイ

*Saussurea japonica* (Thunb.) DC.種子植物  
キク科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)

選定理由 近年減少

生育環境 長草型の草原

生育状況 小国町、阿蘇市（旧阿蘇町、旧一の宮町、旧波野村）、産山村、高森町、芦北町（旧田浦町）などで確認されている。どの生育地も個体数が少ない。野焼き・採草などの中止による遷移の進行のため、個体数が減少している。

生存への  
脅威  
特記事項 管理放棄、自然遷移

## ヒメヒゴタイ

*Saussurea pulchella* (Fisch. ex Hornem.) Fisch.種子植物  
キク科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

選定理由 近年減少

生育環境 長草型の草原

生育状況 阿蘇市（旧阿蘇町）で確認されている。個体数は極めて少なく、野焼き・採草などの中止による遷移の進行のため、個体数が減少している。

生存への  
脅威  
特記事項 管理放棄、自然遷移

## アオヤギバナ

*Solidago yokusaiana* Makino種子植物  
キク科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー

選定理由 県内局限、その他（もともと希少）

生育環境 川岸の崖上

生育状況 球磨村、芦北町の球磨川沿岸に見られる。今後、詳細な調査の必要な種である。

生存への  
脅威  
特記事項 河川改修

## ヤマボクチ

*Synurus palmatopinnatifidus* (Makino) Kitam. var. *indivisus* Kitam.種子植物  
キク科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー

選定理由 県内局限、その他（もともと希少）

生育環境 落葉林内

生育状況 生育が確認されているのは、八代市（旧泉村）の数ヶ所のみで、生育面積も限られ個体数も少ない。

生存への  
脅威  
特記事項 森林伐採

ウラギク		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠB類 (EN)
<i>Tripolium pannonicum</i> (Jacq.) Schur	種子植物 キク科	環境省カテゴリー 準絶滅危惧 (NT)
<b>選定理由</b>	近年減少	
<b>生育環境</b>	海辺の塩性湿地	
<b>生育状況</b>	長洲町、熊本市（旧熊本市）、宇城市（旧三角町）、上天草市（旧松島町）、天草市（旧本渡市、旧新和町）など、県内各地で確認されているが、生育地の埋め立てなどで近年急激に減少している。	
<b>生存への脅威</b>	塩性湿地の減少・消失	
<b>特記事項</b>		

ウスバヒョウタンボク		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠB類 (EN)
<i>Lonicera cerasina</i> Maxim.	種子植物 スイカズラ科	環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<b>選定理由</b>	県内局限	
<b>生育環境</b>	山地の落葉林内	
<b>生育状況</b>	南阿蘇村（旧久木野村）、山都町（旧矢部町）、美里町（旧砥用町）、五木村で生育が確認されている。いずれも個体数は少ない。	
<b>生存への脅威</b>	森林伐採、動物食害	
<b>特記事項</b>		

ヤマヒョウタンボク		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠB類 (EN)
<i>Lonicera mochidzukiana</i> Makino var. <i>nomurana</i> (Makino) Nakai	種子植物 スイカズラ科	環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	その他（もともと希少）	
<b>生育環境</b>	山地の林内	
<b>生育状況</b>	南阿蘇村（旧久木野村、旧白水村）、五木村、球磨村（白岩山）、美里町（旧中央町）などで生育が確認されている。石灰岩地や蛇紋岩地に生育していることが多く、個体はかなり少ない。	
<b>生存への脅威</b>	森林伐採	
<b>特記事項</b>		

ヨロイグサ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧ⅠB類 (EN)
<i>Angelica dahurica</i> (Hoffm.) Benth. et Hook.f. ex Franch. et Sav.	種子植物 セリ科	環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	近年減少	
<b>生育環境</b>	長草型の草原	
<b>生育状況</b>	現在、山鹿市（旧菊鹿町、旧鹿北町）、阿蘇市（旧波野村）、高森町、南阿蘇村（旧久木野村）などで確認されている。生育地は多いが個体数は少ない。かつて、八方岳、矢護山、金峰山などでも確認されている。	
<b>生存への脅威</b>	管理放棄、自然遷移、人工造林	
<b>特記事項</b>	別名 オオシシウド。	

## ミシマサイコ

*Bupleurum stenophyllum* (Nakai) Kitag.種子植物  
セリ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)**選定理由** 近年減少、地域的孤立・希少**生育環境** 長草型の草原**生育状況** 県内では、金峰山を始め各地で確認されているが、現在、生育が確認されているのは阿蘇地域のみである。阿蘇市（旧阿蘇町）、南阿蘇村（旧長陽村、旧白水村）、西原村などで確認されている。南阿蘇村では100個体以上が生育するが、他の生育地では少数個体が点在する程度である。野焼き・採草などの中止による遷移の進行のため、個体数が減少している。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、人工造林**特記事項**

## 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

## シダ植物

## ヒモラン

*Phlegmariurus sieboldii* (Miq.) Chingシダ植物  
ヒカゲノカズラ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)**選定理由** 国内局限、県内局限、近年減少、その他（もともと希少）**生育環境** 山地林内の樹上**生育状況** これまで、菊池市（旧菊池市）、阿蘇市（旧阿蘇町）、山都町（旧矢部町、旧清和村）、南阿蘇村（旧長陽村）、水上村、多良木町など、県内各地の自然林内の溪側で採集または記録されている。**生存への脅威** 森林伐採、自然災害、捕獲・採集**特記事項** 全国的に、森林伐採、および園芸用の採取のため著しく減少している。

## ナガホノナツノハナワラビ

*Botrychium strictum* Underw.シダ植物  
ハナヤスリ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー**選定理由** その他（もともと希少）、近年減少**生育環境** 山地林内**生育状況** 阿蘇地域や八代市（旧泉村）で確認されているが、まとまって生育することはなく、少数個体が点々と分布する。近年減少傾向にあり、シカ食害の影響が考えられる。**生存への脅威** 森林伐採、動物食害**特記事項**

## マツバラン

*Psilotum nudum* (L.) P.Beauv.シダ植物  
マツバラノ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)**選定理由** その他（もともと希少）**生育環境** 低山地の岩上と樹幹、希に地上**生育状況** 県内全域に記録または生育が確認されているが、いずれも個体数は少ない。しばしば栽培目的で採取され、現存する生育地点は溶結凝灰岩の岩壁面高所など採取困難な場所であることが多い。**生存への脅威** 森林伐採、捕獲・採集**特記事項**

## チチブホラゴケ

*Crepidomanes schmidtianum* (Zenker ex Taschner)  
K.Iwats. var. *schmidtianum*シダ植物  
コケシノブ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他 (もともと希少)、近年減少**生育環境** 山地林内の溪流脇の岩上**生育状況** 山都町 (旧矢部町、旧清和村)、美里町 (旧砥用町)、八代市 (旧泉村)、水上村で記録または生育が確認されている。山都町の1ヶ所の生育地は溪流の増水により生育量が激減した。シカ食害による下層植生の破壊で林内が乾燥し生育状態が悪化している。**生存への脅威** 自然災害**特記事項**

## ヒメハイホラゴケ

*Vandenboschia nipponica* (Nakai) Ebihara.シダ植物  
コケシノブ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他 (もともと希少)**生育環境** 山地林内の溪流脇の岩上**生育状況** 菊池市 (旧菊池市)、大津町、山都町 (旧矢部町、旧清和村、旧蘇陽町)、八代市 (旧泉村)、五木村、水俣市、天草市 (旧本渡市) など県内各地で記録されているが、近年ハイホラゴケとの交雑個体が多数存在することが判明、本種の生育量は従来考えられるよりはるかに少ないものと考えられる。溪流の増水や土石流による生育地の破壊が懸念される。**生存への脅威** 森林伐採、自然災害**特記事項** これまでに知られている産地については、交雑個体に関する再確認が必要である。日本固有種。

## カネコシダ

*Diplpterygium laevissimum* (H.Christ) Nakaiシダ植物  
ウラボシ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)**選定理由** 国内局限、県内局限、その他 (もともと希少)**生育環境** 常緑林内**生育状況** 山鹿市に2ヶ所 (旧鹿北町、旧菊鹿町) と、天草市 (旧本渡市) の2ヶ所に生育している。旧菊鹿町の生育地は大きな群落をなして良好に生育しているが、旧鹿北町の生育地は、一部が樹木に被覆されて衰退している。また、天草市の両生育地はもともと小群落で、遷移の進行により危険な状態となっている。人吉市でも記録があるが、現状不明である。**生存への脅威** 自然遷移、自然災害**特記事項**

## サイゴクホングウシダ

*Osmolindsaea japonica* (Baker) Lehtonen et Christenh.シダ植物  
ホングウシダ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー**選定理由** 特殊生息生育環境、その他 (もともと希少)**生育環境** 溪流沿いの岩上**生育状況** これまで、山鹿市 (旧鹿北町)、八代市 (旧八代市)、芦北町、水俣市、人吉市、上天草市 (旧姫戸町、旧松島町)、天草市 (旧天草町) など採集または記録されている。暖地の溪流沿いの岩上に、コケに混じって群落をつくる。限られた環境でのみ生育できる種であり、生育環境の変化により消滅しやすい。上天草市 (旧姫戸町) の生育地は、増水により消滅した。**生存への脅威** 森林伐採、自然災害、河川改修**特記事項**

## フジシダ

*Monachosorum maximowiczii* (Baker) Hayataシダ植物  
コバノイシカゲマ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他 (もともと希少)**生育環境** 落葉林内の岩上**生育状況** 山都町 (旧矢部町)、八代市 (旧泉村)、五木村など九州中央山地の岩場に稀に生育している。葉の先端をつる状に伸ばして無性芽をつけ群落をなしていることもあるが、個体数は少ない。**生存への脅威** 森林伐採、自然災害**特記事項**

## ヒメミスワラビ

*Ceratopteris gaudichaudii* Brongn. var. *vulgaris*  
Masuyama et Watanoシダ植物  
イノモトソウ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー**選定理由** 近年減少**生育環境** 水田、水路、沼地**生育状況** かつては、県内の平地に広く分布し、水田やその周辺にびっしりと生育することもあったが、生育地の消失や農薬使用などにより急速に減少している。現在、生育が確認されるのは、熊本市 (旧熊本市)、玉名市、嘉島町、八代市 (旧八代市)、人吉市、あさぎり町、天草地域である。**生存への脅威** 池沼の改修、埋め立て、農薬使用、自然遷移**特記事項** 以前、「ミスワラビ」とされていたものは、近年、南方型のミスワラビと北方型のヒメミスワラビに分けられた。九州本土のものは北方型にあたる。

## クマガワイノモトソウ

*Pteris deltodon* Bakerシダ植物  
イノモトソウ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)**選定理由** 国内局限、分布境界、特殊生息生育環境、その他 (もともと希少)**生育環境** 石灰岩地の岩上**生育状況** 県央から県南にかけての石灰岩地に分布し、鍾乳洞周辺や岩壁面下部などに生育する。これまでに、路傍の石灰岩壁面改修等によって、多くの生育地が失われた。**生存への脅威** 森林伐採、自然災害、道路工事**特記事項** 国内ではほかに宮崎県 (高千穂町) に生育するのみで、熊本県が最大の産地であり、国内分布の南限である。

## イチョウシダ

*Asplenium ruta-muraria* L.シダ植物  
チャセンシダ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)**選定理由** 県内局限、特殊生息生育環境、分布境界、その他 (もともと希少)**生育環境** 石灰岩地の岩上**生育状況** 山都町 (旧矢部町、旧清和村)、八代市 (旧泉村)、山江村の石灰岩峰の岩隙に生育する。個体数は極めて少ない。生育地はいずれも特殊な地形と環境なので、減少傾向はみられないが、注意深く見守る必要がある。**生存への脅威** 自然災害**特記事項** 九州では福岡、宮崎県に産する。山江村は国内分布の南限である。

## テツホシダ

*Thelypteris interrupta* (Willd.) K.Iwats.

シダ植物  
ヒメシダ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー

**選定理由** 県内局限、特殊生息生育環境、近年減少、地域的孤立・希少

**生育環境** 水辺湿地

**生育状況** これまで熊本市（旧熊本市）、荒尾市、山鹿市（旧山鹿市）、水俣市、天草市（旧牛深市）の湿地や湧水地周辺で採集または記録されている。このうち、天草市（旧牛深市）のように池の周辺に大きな群落をなして安定して生育しているところもある。荒尾市では農地の開発により消滅し、水俣市でも近年確認できなくなっている。

**生存への脅威** 農地開発、池沼の改修、水湿地の開発、湿地の乾燥化、自然遷移、除草

**特記事項**

## フクロシダ

*Woodsia manchuriensis* Hook.

シダ植物  
イワデンダ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー

**選定理由** その他（もともと希少）

**生育環境** 落葉林内の岩上

**生育状況** これまで、九州中央山地、阿蘇地域、球磨地域などの山地落葉林内で採集または記録されている。溪側の岩場に群落をなすこともあるが、多くの産地は数個体が点在するのみである。生育地、個体数とも減少傾向にある。

**生存への脅威** 森林伐採、自然災害

**特記事項**

## トゲカラクサイヌワラビ

*Athyrium setuligerum* Sa.Kurata

シダ植物  
メシダ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー

**選定理由** その他（もともと希少）

**生育環境** 山地林内

**生育状況** 県内の山地に広く分布し、各地で標本が採集されている。しかし、1つの生育地に少数の個体しか生育しておらず、わずかな環境の変化によって消滅する危険性が高い。

**生存への脅威** 森林伐採、自然災害、動物食害

**特記事項**

## ヒュウガシダ

*Diplazium takii* Sa.Kurata

シダ植物  
メシダ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー

**選定理由** その他（もともと希少）

**生育環境** 常緑林内

**生育状況** 県内では2015年以降、天草市（旧天草町、旧本渡市）、水俣市で確認された。スギ植林のやや明るいギャップを中心に群落を作っている。

**生存への脅威** 森林伐採

**特記事項** 本種は当初、シロヤマシダとコクモウクジャクの雑種として記載されたが、その後の研究で三倍体無融合生殖種であることが確認された。

## アソシケシダ

*Deparia otomasui* (Sa.Kurata) Seriz.シダ植物  
メシダ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)**選定理由** 国内局限、県内局限、模式産地**生育環境** 湿り気のある山地林内**生育状況** 小国町、南小国町、南阿蘇村（旧久木野村）、山都町（旧蘇陽町）、五木村での生育が確認されている。生育地は、谷状になった湿り気のある林内で、五木村以外はスギ植林地である。伐採や林内の環境の変化によって容易に生育量が変化する。**生存への脅威** 森林伐採、自然遷移**特記事項** 南阿蘇村（旧久木野村）が模式産地である。大分県、宮崎県、愛媛県にも分布するが、熊本県の生育量が最も多いと思われる。

## キヨズミオオクジャク

*Dryopteris namegatae* (Sa.Kurata) Sa.Kurataシダ植物  
オシダ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー**選定理由** 近年減少**生育環境** 山地林内**生育状況** 県内各地で点々と記録されているが、いずれの産地とも個体数は限られている。また、環境の変化およびシカの食害により消滅することが多く、減少傾向にある。**生存への脅威** 動物食害、森林伐採、自然災害**特記事項** 本種はイワヘゴとオオクジャクシダの中間的な形態であり、分布域も重なっていること、および形態に変異があることから、これまでの記録の中には、両種と区別されていないものがある可能性がある。

## ギフベニシダ

*Dryopteris kinkiensis* Koidz. ex Tagawaシダ植物  
オシダ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー**選定理由** その他（もともと希少）**生育環境** 石垣、茶畑**生育状況** 県内各地で採集されているが、1ヶ所に1~数個体見られる程度である。また、生育地は人間の生活範囲に非常に近いため、人為的な影響を受けて消滅する危険性が高い。**生存への脅威** 土地造成、道路工事、農地開発、除草**特記事項**

## ナンゴクナライシダ

*Arachniodes fargesii* (H.Christ) Seriz.シダ植物  
オシダ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー**選定理由** 近年減少**生育環境** 山地林内**生育状況** 高森町、山都町（旧矢部町）、八代市（旧東陽村、旧泉村）、五木村などで生育が確認されている。近年シカ食害による下層植生の破壊で生育量が減少している。**生存への脅威** 動物食害**特記事項**



<b>ミヤジマシダ</b>	熊本県カテゴリー
	絶滅危惧Ⅱ類（VU）
<i>Polystichum balansae</i> H.Christ	環境省カテゴリー

シダ植物  
オシダ科

選定理由 県内局限、その他（もともと希少）

生育環境 常緑樹林内

生育状況 山鹿市（旧鹿北町）、八代市（旧八代市、旧坂本村）、球磨村、天草市（旧本渡市）にかけて見られる。湿り気の多い岩上や斜面の狭い範囲にまとまって生育している。個体数の増減はあまりない。

生存への  
脅威  
特記事項 森林伐採、道路工事

## 種子植物

<b>ハリモミ</b>	熊本県カテゴリー
	絶滅危惧Ⅱ類（VU）
<i>Picea torano</i> (Siebold ex K.Koch) Koehne	環境省カテゴリー

種子植物  
マツ科

選定理由 県内局限、近年減少

生育環境 山地の尾根

生育状況 南阿蘇村（旧久木野村）、山都町（旧矢部町）、五木村、八代市（旧泉村）などに生育する。分布域は広いが、生育面積は限られ個体数も少ない。

生存への  
脅威  
特記事項 森林伐採

<b>ヒメコマツ</b>	熊本県カテゴリー
	絶滅危惧Ⅱ類（VU）
<i>Pinus parviflora</i> Siebold et Zucc. var. <i>parviflora</i>	環境省カテゴリー

種子植物  
マツ科

選定理由 近年減少

生育環境 山地の尾根や岩場などの乾燥地

生育状況 九州中央山地の尾根や山頂などに見られる。どの生育地でも群生することはなく、少数個体が散生する。幼樹は採取圧が高い。

生存への  
脅威  
特記事項 捕獲・採集、森林伐採

<b>イブキ</b>	熊本県カテゴリー
	絶滅危惧Ⅱ類（VU）
<i>Juniperus chinensis</i> L.	環境省カテゴリー

種子植物  
ヒノキ科

選定理由 近年減少

生育環境 常緑林内の樹上

生育状況 九州中央山地の主に石灰岩峰に生育する。以前はかなりの個体数があったが、栽培目的の採取が盛んに行われ激減した。また、花材として枝や幹が切除された個体も多い。現在では、人の手が及びにくい岩峰の壁面などにわずかに見られる状態になっている。

生存への  
脅威  
特記事項 自然災害  
別名 バクシン。熊本県でこれまでミヤマバクシンとしてきたものは本種である。

## マルミカンアオイ

*Asarum subglobosum* F.Maek. ex Hatus. et Yamahata種子植物  
ウラボシ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)**選定理由** 全国局限、県内局限、地域的孤立・希少**生育環境** 山地林内**生育状況** 水上村(市房山)、湯前町、多良木町、八代市(旧泉村)に見られる。五家荘を除くと、限られた範囲の常緑樹林から落葉樹林に移行する林内である。森林伐採、道路工事、採取等により近年減少しつつある。**生存への脅威** 森林伐採、道路工事、捕獲・採集**特記事項** 分布は大分県、宮崎県と熊本県のみ。

## キリシマテンナンショウ

*Arisaema sazensoo* (Buerger ex Blume) Makino種子植物  
サトイモ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー**選定理由** 近年減少、その他(もともと希少)**生育環境** 山地の林内及び林縁**生育状況** 山鹿市(旧鹿北町)、菊池水源、南阿蘇村(旧久木野村)、八代市(旧泉村)、五木村、多良木町、水俣市などで確認されている。五木村と水俣市ではある程度の個体数が確認されているが、他所では個体数は非常に少ない。**生存への脅威** 森林伐採、道路工事、捕獲・採集**特記事項** 九州中南部に分布する。

## タシロテンナンショウ

*Arisaema tashiroi* Kitam.種子植物  
サトイモ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー**選定理由** 近年減少、その他(もともと希少)**生育環境** 山地の林内**生育状況** 五木村(白髪岳、国見山)、八代市(旧泉村)、山都町(旧清和村)等で確認されている。いずれの場所でも個体数は非常に少ない。**生存への脅威** 森林伐採、捕獲・採集**特記事項** 別名 ツクシヒトツバテンナンショウ。

## ミツバテンナンショウ

*Arisaema ternatipartitum* Makino種子植物  
サトイモ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、分布境界、近年減少、その他(もともと希少)**生育環境** 山地林内**生育状況** 山鹿市(国見山)では標高 600~800mのスギ林下に生育する。五木村では標高 1000m近くのブナ林下に群生する。五木村では登山者による踏圧被害やシカ食害による環境変化などにより消失した可能性が高い。近年、山都町(旧清和村)でも確認された。**生存への脅威** 森林伐採、捕獲・採集、踏み付け**特記事項** 五木村は分布南限。

<b>スブタ</b>		熊本県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<i>Blyxa echinosperma</i> (C.B.Clarke) Hook.f.	種子植物 トチカガミ科	環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<b>選定理由</b>	近年減少	
<b>生育環境</b>	池沼と水田の水中	
<b>生育状況</b>	菊池市（旧七城町）、熊本市（旧植木町）、美里町（旧中央村）、八代市（旧東陽村）などで生育が確認されている。水田やため池の浅い水中泥上に生育するが、生育環境の減少が顕著で、希少化傾向が進行している。	
<b>生存への脅威</b>	池沼の改修、水湿地の開発、農業使用	
<b>特記事項</b>		

<b>ヤナギスブタ</b>		熊本県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<i>Blyxa japonica</i> (Miq.) Maxim. ex Asch. et Gürke	種子植物 トチカガミ科	環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<b>選定理由</b>	近年減少	
<b>生育環境</b>	池沼と水田の水中	
<b>生育状況</b>	これまでに合志市（旧泗水町、旧合志町）、熊本市（旧熊本市）、山都町（旧蘇陽町）、八代市（旧東陽村）、人吉市、相良村などで生育が確認されている。水田やため池の浅い水中泥上に生育するが、生育環境の減少が顕著で、希少化傾向が進行している。	
<b>生存への脅威</b>	池沼の改修、水湿地の開発、農業使用	
<b>特記事項</b>		

<b>ミズオオバコ</b>		熊本県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<i>Ottelia alismoides</i> (L.) Pers.	種子植物 トチカガミ科	環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<b>選定理由</b>	近年減少	
<b>生育環境</b>	水田、ため池、水路などの水中	
<b>生育状況</b>	県内各地の過湿田や水田脇の溝、ため池などの浅い水中に生育する。生育環境の減少に加え、どの生育地でも個体数の減少が見られる。	
<b>生存への脅威</b>	農地開発、埋め立て、農業使用、その他（水路改修）	
<b>特記事項</b>		

<b>コアマモ</b>		熊本県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<i>Zostera japonica</i> Asch. et Graebn	種子植物 アマモ科	環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<b>選定理由</b>	県内局限、近年減少	
<b>生育環境</b>	海岸の干潮線下	
<b>生育状況</b>	天草市（旧倉岳町、旧本渡市、旧河浦町、旧有明町等）や上天草市（旧龍ヶ岳町、旧大矢野町、旧松島町）などで生育が確認されている。群生しているところもあり、生育状況は良好である。	
<b>生存への脅威</b>	海辺の改変等	
<b>特記事項</b>		

## カタクリ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類（VU）

環境省カテゴリー

*Erythronium japonicum* Decne.種子植物  
ユリ科**選定理由** 県内局限、分布境界、近年減少**生育環境** 落葉林内**生育状況** 山都町（旧矢部町：目丸山、内大臣）、美里町（旧砥用町：雁俣山）、五木村、八代市（旧泉村）、山江村で生育が確認されている。目丸山や雁俣山の自生地では開花期に多くの人々が訪れ、踏み付けによる被害が見られる。**生存への脅威** 踏み付け、動物食害**特記事項** 熊本県の自生地は九州における唯一の生育域であるとともに、山江村は分布の南限にあたる。多様性条例（指定希少野生動植物）。目丸山生育地保護区。

## カノコユリ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類（VU）

環境省カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類（VU）

*Lilium speciosum* Thunb.種子植物  
ユリ科**選定理由** 県内局限**生育環境** 沿海地の産地や草地**生育状況** 天草市（旧牛深市、旧河浦町、旧天草町）、苓北町などの沿海地に散生する。生育に適した明るい草地が管理停止や自然遷移によって悪化しつつあり、個体数の減少が懸念される。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、除草、捕獲・採集**特記事項**

## ホトトギス

熊本県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類（VU）

環境省カテゴリー

*Tricyrtis hirta* (Thunb.) Hook種子植物  
ユリ科**選定理由** その他（もともと希少）**生育環境** 山地林縁の崖地**生育状況** 小国町、菊池水源、山都町（旧矢部町）、人吉市、球磨村、水俣市、天草市（旧天草町）など県内各地に見られたが、近年の確認情報はほとんどない。群生することが多いため、個体数は多いが生育地は限られる。**生存への脅威** 捕獲・採集、自然遷移**特記事項**

## タマガワホトトギス

熊本県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類（VU）

環境省カテゴリー

*Tricyrtis latifolia* Maxim.種子植物  
ユリ科**選定理由** 県内局限、分布境界、その他（もともと希少）**生育環境** 落葉林内の湿った岩場や崖地**生育状況** 小国町、高森町、南阿蘇村（旧久木野村）、山都町（旧矢部町）、水上村、仰鳥帽子山などで生育が確認されている。阿蘇地域では比較的各地で見られるが、生育面積は限られていて個体数も少ない。**生存への脅威** 捕獲・採集**特記事項**

<b>エビネ</b>		熊本県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<i>Calanthe discolor</i> Lindl.	種子植物 ラン科	環境省カテゴリー 準絶滅危惧 (NT)
<b>選定理由</b>	近年減少	
<b>生育環境</b>	山地の常緑林内	
<b>生育状況</b>	かつては県下各地に見られたが、1970年代のエビネ類の栽培ブームにより採取され、激減した。ブームも収まり、回復が見られる産地もあるが、依然として採取圧がある。	
<b>生存への脅威</b>	捕獲・採集	
<b>特記事項</b>		

<b>ナギラン</b>		熊本県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<i>Cymbidium nagifolium</i> Masam.	種子植物 ラン科	環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<b>選定理由</b>	県内局限	
<b>生育環境</b>	山地の林内	
<b>生育状況</b>	芦北・天草地方の各地に生育するが、生育地、個体数ともに減少傾向が続いている。	
<b>生存への脅威</b>	森林伐採、捕獲・採集	
<b>特記事項</b>		

<b>マツラン</b>		熊本県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<i>Gastrochilus matsuran</i> (Makino) Schltr.	種子植物 ラン科	環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<b>選定理由</b>	近年減少、その他 (もともと希少)	
<b>生育環境</b>	山地の林内の樹上	
<b>生育状況</b>	菊池水源、小国町、南小国町、熊本市 (旧熊本市)、山都町 (旧矢部町)、五木村、水上村などで確認されている。植物体が小さく、樹上に生育するため確認が困難である。	
<b>生存への脅威</b>	森林伐採、捕獲・採集	
<b>特記事項</b>		

<b>アキザキヤツシロラン</b>		熊本県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<i>Gastrodia confusa</i> Honda et Tuyama	種子植物 ラン科	環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	その他 (もともと希少)	
<b>生育環境</b>	低山地の林内地上	
<b>生育状況</b>	山鹿市 (旧鹿央町)、南阿蘇村 (旧長陽村)、熊本市 (旧熊本市)、宇城市 (旧不知火町、旧豊野村)、球磨村、相良村などで記録または生育が確認されているが、生育量は少ない。	
<b>生存への脅威</b>	森林伐採、人工造林	
<b>特記事項</b>	菌従属栄養植物。	

## ベニシュスラン

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）  
環境省カテゴリー

*Goodyera biflora* (Lindl.) Hook.f.

種子植物  
ラン科

**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）、近年減少

**生育環境** 山地の林内

**生育状況** 菊池水源、大津町、山都町（旧矢部町）、水上村で確認されている。渓谷沿いのコケの生えた岩上に生育する。いずれも個体数は非常に少ない。森林伐採や採取によって減少している。

**生存への脅威** 捕獲・採集、森林伐採、自然災害  
**特記事項**

## ツクサシュスラン

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）  
環境省カテゴリー

*Goodyera foliosa* (Lindl.) Benth. ex C.B. Clarke

種子植物  
ラン科

**選定理由** 全国局限、県内局限

**生育環境** 山地の林内

**生育状況** 天草市（旧本渡市、旧天草町）、苓北町のみに見られる。生育状況は良好であるが、生育地は狭い地域に限定されている。

**生存への脅威** 森林伐採、捕獲・採集  
**特記事項**

## ツリシュスラン

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）  
環境省カテゴリー

*Goodyera pendula* Maxim.

種子植物  
ラン科

**選定理由** 近年減少、その他（もともと希少）

**生育環境** 落葉林内の樹上

**生育状況** 菊池水源、山都町（旧矢部町）、八代市（旧泉村）、水俣市、五木村などで確認されている。いずれも個体数は非常に少ない。

**生存への脅威** 森林伐採、自然災害、捕獲・採集  
**特記事項**

## ヨウラクラン

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）  
環境省カテゴリー

*Oberonia japonica* (Maxim.) Makino

種子植物  
ラン科

**選定理由** 近年減少、その他（もともと希少）

**生育環境** 山地の林内の樹上

**生育状況** 県内各地に見られるが、減少傾向が続いている。

**生存への脅威** 森林伐採、捕獲・採集  
**特記事項**

## サギソウ

*Pecteilis radiata* (Thunb.) Raf.種子植物  
ラン科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)**選定理由** 近年減少**生育環境** 日当たりの良いやや貧栄養の湿地**生育状況** 県内各地に生育していたが、最近では小国町、山都町（旧矢部町）、人吉・球磨地方の限られた地域にしか見られなくなった。荒尾市や熊本市（旧熊本市）ではすでに絶滅した可能性が高い。**生存への脅威** 水湿地の開発、捕獲・採集、自然遷移**特記事項** 多様性条例（指定希少野生動植物）。

## ガンゼキラン

*Phaius flavus* (Blume) Lindl.種子植物  
ラン科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)**選定理由** 近年減少、その他（もともと希少）**生育環境** 常緑林内**生育状況** 球磨村、八代市（旧泉町）、人吉市、芦北町、水俣市、天草市（旧本渡市、旧天草町）で確認されている。花が大きく美しいため、採取圧が高い。**生存への脅威** 森林伐採、捕獲・採集**特記事項**

## ミスチドリ

*Platanthera hologlottis* Maxim.種子植物  
ラン科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー**選定理由** 近年減少**生育環境** 湿生草地**生育状況** 荒尾市、阿蘇市（旧阿蘇町、旧一の宮町）、人吉市などに見られたが、荒尾市では現在生育が確認できない。いずれの生育地においても生育個体数は多くなく、散在する程度。生育環境は自然度の高い明るい湿生草地であるが、同環境は劣化や消失が各地でおきており、本種においても希少化傾向が進行している。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移**特記事項** 鹿児島県が南限とされるが、現状は不明。人吉市は現在生育が確認されている南限分布地。

## ヤマトキソウ

*Pogonia minor* (Makino) Makino種子植物  
ラン科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー**選定理由** 近年減少**生育環境** 山地の草原**生育状況** 小国町、南小国町、阿蘇市（旧波野村）、南阿蘇村（久木野村）、西原村、多良木町、水俣市、上天草市などで確認されている。どの産地も個体数は極めて少ない。野焼き・採草などの中止による遷移の進行のため、個体数が減少している。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、人工造林**特記事項**

## ナゴラン

*Sedirea japonica* (Lindenb. et Rchb.f.) Garay et H.R.Sweet種子植物  
ラン科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類（EN）**選定理由** 県内局限、近年減少、その他（もともと希少）**生育環境** 常緑林内の樹上**生育状況** 深葉、大津町、水上村、球磨村、水俣市、天草市（旧栖本町、旧天草町）など各地にやや稀に見られる。1970年代頃には各地で多量に採取され、個体数が減少した。当時ほどではないが、現在も山取品として採取・販売され、減少傾向が続いている。**生存への脅威** 捕獲・採集、森林伐採**特記事項**

## ミドリヨウラク

*Polygonatum inflatum* Kom.種子植物  
キジカクシ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 山地の草原**生育状況** 阿蘇市（旧阿蘇町、旧一の宮町、旧波野村）、南阿蘇村（旧久木野村）、高森町などに生育する。高茎型草地に生育しているが、どの生育地でも個体数は少ない。野焼き・採草などの中止による遷移の進行のため、個体数が減少している。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、人工造林**特記事項**

## アオノクマタケラン

*Alpinia intermedia* Gagnep.種子植物  
ショウガ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）  
環境省カテゴリー**選定理由** 全国局限、県内局限**生育環境** 沿海地の林内**生育状況** 苓北町や天草市（旧牛深市下須島、旧五和町）の林内や林縁、天草町下田から大江の沿海地の林内に生育している。生育状況は良好である。**生存への脅威** 森林伐採、自然遷移**特記事項**

## ミクリ

*Sparganium erectum* L.種子植物  
ミクリ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧（NT）**選定理由** 近年減少**生育環境** 湖沼、ため池、水路などの流れの穏やかな水域**生育状況** かつては県内各地に見られたが、生育地の減少や環境悪化により稀少化が進行しつつある。天草地方では絶滅した可能性がある。**生存への脅威** 河川改修、水湿地の開発、池沼の改修**特記事項** 人吉・球磨地方にはオオミクリが見られるが、これまでミクリと区別しておらず、調査が必要。



ヤマトミクリ		熊本県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類（VU）
<i>Sparganium fallax</i> Graebn.	種子植物 ミクリ科	環境省カテゴリー 準絶滅危惧（NT）
<b>選定理由</b>	県内局限	
<b>生育環境</b>	河川、湖沼、水路などの浅水域	
<b>生育状況</b>	荒尾市、山鹿市（旧鹿北町）、小国町、阿蘇市（旧一の宮町）、熊本市（旧熊本市）、益城町、天草市（旧本渡市）などに生育する。群生するが生育地数は必ずしも多くなく、生育環境の悪化や消失に伴い減少しつつある。	
<b>生存への脅威</b>	池沼の改修、河川改修、埋め立て、管理放棄、自然遷移	
<b>特記事項</b>		

イトイヌノヒゲ		熊本県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類（VU）
<i>Eriocaulon decemflorum</i> Maxim.	種子植物 ホシクサ科	環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	県内局限	
<b>生育環境</b>	低茎の湿生草地	
<b>生育状況</b>	山鹿市（旧山鹿市）、小国町、南小国町、阿蘇市（旧阿蘇町、旧一の宮町）、西原村、水俣市、人吉市、上天草市（旧松島町）などに見られるが、生育環境の劣化や消失に伴い減少傾向にある。	
<b>生存への脅威</b>	管理放棄、自然遷移、埋め立て	
<b>特記事項</b>		

イヌイ		熊本県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類（VU）
<i>Juncus fauriei</i> H.Lév. et Vaniot	種子植物 イグサ科	環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	県内局限	
<b>生育環境</b>	山地の湿生草地	
<b>生育状況</b>	阿蘇市（旧阿蘇町、旧一の宮町）、南阿蘇村（旧長陽村）の阿蘇外輪山上や中央火口丘の湿生草地に生育する。生育環境の劣化や消失に伴い減少傾向にある。	
<b>生存への脅威</b>	管理放棄、自然遷移	
<b>特記事項</b>	熊本県のものはイヌイの変種ツクシイヌイとして区別すべきとの見解もあり、分類学的検討が必要。	

オニスゲ		熊本県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類（VU）
<i>Carex dickinsii</i> Franch. et Sav.	種子植物 カヤツリグサ科	環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	県内局限	
<b>生育環境</b>	やや泥質の湿生草地	
<b>生育状況</b>	小国町、阿蘇市（旧阿蘇町、旧一の宮町）、人吉市、相良村、湯前町などに生育する。県内各地に見られるが、各生育地とも生育面積は狭い。二次草地や水田跡地などに生育する事が多く、生育環境の悪化や消失に伴い減少しつつある。	
<b>生存への脅威</b>	管理放棄、自然遷移	
<b>特記事項</b>		

## ウマスゲ

*Carex idzuroei* Franch. et Sav.種子植物  
カヤツリグサ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 低地の湿生草地や河岸**生育状況** 熊本市（旧熊本市）、八代市（旧八代市、旧千丁町）、あさぎり町、相良村などで見られたが、近年は熊本市と相良村以外では確認情報がない。生育環境の悪化や消失が主な原因と考えられる。**生存への脅威** 河川改修、埋め立て、管理放棄、自然遷移**特記事項**

## アオバスゲ

*Carex insanae* Koidz. var. *papillaticulmis* (Ohwi) Ohwi種子植物  
カヤツリグサ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、分布境界、その他（もともと希少）**生育環境** 山地の林内**生育状況** 山都町（旧矢部町）、水上村（市房山）の落葉広葉樹林下に稀に見られる。疎に散生し、個体数は少ない。これまで森林の伐採がなければ個体数の減少は殆どないと考えられたが、生育地一帯では近年、シカによる草本植物の摂食被害が顕著であり、その影響が懸念される。**生存への脅威** 森林伐採、動物食害**特記事項** 市房山は分布南限。

## ヤチカワズスゲ

*Carex omiana* Franch. et Sav. var. *omiana*種子植物  
カヤツリグサ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限**生育環境** 湿生草地**生育状況** 小国町、阿蘇市（旧阿蘇町、旧一の宮町）の二次草原内の湿地に生育する。群生して個体数は多いが、生育地数は10ヶ所前後である。これらの生育地では草地改良により一部が埋め立てられたり、ヨシの侵入により日照阻害が進行しているケースも見られる。過去にあさぎり町の記録もあるが、現在確認できない。**生存への脅威** 埋め立て、管理放棄、自然遷移、その他（ヨシの繁茂）**特記事項**

## エツリスゲ

*Carex papulosa* Boott種子植物  
カヤツリグサ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、分布境界**生育環境** 湿生草地**生育状況** 阿蘇市（旧阿蘇町、旧一の宮町）、小国町、南小国町で生育が見られる。生育地数はやや多いが、各湿地とも個体数は少ない。いずれも二次草地内の湿地で、野焼きや放牧がされている場所である。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移**特記事項** 阿蘇市は分布の南限。

トラノハナヒゲ		熊本県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類（VU） 環境省カテゴリー
<i>Rhynchospora brownii</i> Roem. et Schult.	種子植物 カヤツリグサ科	
<b>選定理由</b>	県内局限	
<b>生育環境</b>	湿生草地	
<b>生育状況</b>	県内各地の比較的自然度の高い湿生草地に生育する。荒尾市、熊本市（旧熊本市）、人吉市など各地の記録があるが、現在生育が確認できるのは山鹿市（旧山鹿市）、上天草市ぐらいである。生育環境の悪化や消失が主な原因と思われる。	
<b>生存への脅威</b>	埋め立て、管理放棄、自然遷移、その他（ヨシの繁茂）	
<b>特記事項</b>		

イトイヌノハナヒゲ		熊本県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類（VU） 環境省カテゴリー
<i>Rhynchospora faberi</i> C.B. Clarke	種子植物 カヤツリグサ科	
<b>選定理由</b>	県内局限	
<b>生育環境</b>	湿生草地	
<b>生育状況</b>	貧栄養の低茎型湿生草本群落の代表的な構成種で、阿蘇市（旧阿蘇町、旧一の宮町）、南小国町、小国町、上天草市、人吉市、水俣市などに生育が見られる。群生するため個体数は多いが、生育面積は数㎡程度の場合がほとんどである。	
<b>生存への脅威</b>	管理放棄、自然遷移	
<b>特記事項</b>		

イヌノハナヒゲ		熊本県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類（VU） 環境省カテゴリー
<i>Rhynchospora japonica</i> Makino var. <i>japonica</i>	種子植物 カヤツリグサ科	
<b>選定理由</b>	県内局限	
<b>生育環境</b>	湿生草地	
<b>生育状況</b>	荒尾市、阿蘇市（旧阿蘇町、旧一の宮町）、天草市（旧五和町）、上天草市、相良村、水俣市などに生育が見られる。低茎の湿生草本群落から中茎の湿生草本群落にかけての植生域に見られるが散生することが多く、個体数は少ない。	
<b>生存への脅威</b>	管理放棄、自然遷移	
<b>特記事項</b>		

ヒメホタルイ		熊本県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類（VU） 環境省カテゴリー
<i>Schoenoplectiella lineolata</i> (Franch. et Sav.) J.D.Jung et H.K.Choi	種子植物 カヤツリグサ科	
<b>選定理由</b>	県内局限、近年減少	
<b>生育環境</b>	池沼畔や水辺の湿地	
<b>生育状況</b>	荒尾市、玉名市（旧玉名市）、山鹿市（旧山鹿市）、宇城市（旧豊野町）、人吉市、あさぎり町等に見られたが、荒尾市や人吉市では最近は生育が確認できない。多くの場合、農業用ため池の岸辺に見られるが、それらの地域では改修工事や管理放棄により生育環境の消失や悪化が起きている。	
<b>生存への脅威</b>	池沼の改修、埋め立て、管理放棄	
<b>特記事項</b>		

## シンジュガヤ

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）  
環境省カテゴリー

*Scleria levis* Retz.

種子植物  
カヤツリグサ科

**選定理由** 県内局限、近年減少

**生育環境** 明るい草地

**生育状況** 県内各地で見られたが、現在確認できるのは山鹿市（旧山鹿市）、西原村、上天草市、天草市（旧五和町）、水俣市などである。人里近くの草地の減少が主な原因と思われる。

**生存への脅威** 草地の開発、管理放棄、自然遷移  
**特記事項**

## コシンジュガヤ

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）  
環境省カテゴリー

*Scleria parvula* Steud.

種子植物  
カヤツリグサ科

**選定理由** 近年減少

**生育環境** 湿生草地

**生育状況** 小岱山、山鹿市（旧山鹿市）、阿蘇外輪山地域などに見られる。生育環境はやや自然度の高い明るい湿生草地であるが、同環境は劣化や消失が各地で起きており、本種においても希少化傾向が進行している。

**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移  
**特記事項**

## ウンヌケモドキ

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧（NT）

*Eulalia quadrinervis* (Hack.) Kuntze

種子植物  
イネ科

**選定理由** 県内局限

**生育環境** 山野の草地

**生育状況** 荒尾市、八代市（旧八代市）、人吉市、天草市（旧本渡市）などに見られたが、荒尾市以外では近年確認報告がない。生育環境の減少が大きな要因と思われる。

**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移  
**特記事項**

## マツモ

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）  
環境省カテゴリー

*Ceratophyllum demersum* L.

種子植物  
マツモ科

**選定理由** 近年減少

**生育環境** 平地の池溝の水中

**生育状況** 以前は県内各地の河川や水路に普通に見られたが、河川や水路の改修などにより激減している。熊本市江津湖一帯ではやや多く見られるが、外来水草の繁茂による生育環境の減少や清掃活動による除去が見られる。

**生存への脅威** 外来種の侵入、池沼の改修、河川改修、農薬使用、除草  
**特記事項**

## ツクシケマン

*Corydalis heterocarpa* Siebold et Zucc. var. *heterocarpa*種子植物  
ケシ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限**生育環境** 海岸の林縁**生育状況** 八代市（旧八代市）、天草市（旧天草町、旧河浦町）に生育する。八代市では比較的多く、芦北・水俣地方にも生育するのではないと思われる。**生存への脅威** 海辺の改変等、自然災害**特記事項**

## ヤマブキノソ

*Hylomecon japonica* (Thunb.) Prantl et Kündig種子植物  
ケシ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、分布境界、近年減少**生育環境** 石灰岩地の落葉林内及び神社林内**生育状況** 山都町（旧蘇陽町、旧矢部町）、南阿蘇村（旧久木野村、旧白水村）、五木村、八代市（旧泉村）等で生育が確認されている。一部の自生地では開花期に多くの人々が訪れ、踏み付けによる被害が見られる。**生存への脅威** 捕獲・採集、踏み付け、動物食害**特記事項** 熊本県の自生地は、分布の南限にあたる。

## ミチノクフクジュソウ

*Adonis multiflora* Nishikawa et Koji Ito種子植物  
キンポウゲ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧（NT）**選定理由** 県内局限、分布境界、近年減少**生育環境** 阿蘇地域の草原**生育状況** 主な生育環境である草原の凹地は、管理放棄や未利用状態の継続による植生状況の変化により、生育に不適な状況になりつつある。また、園芸目的の採取も散見される。**生存への脅威** 自然遷移、管理放棄、捕獲・採集**特記事項** これまで熊本県でフクジュソウとされてきたものはミチノクフクジュソウとシコクフクジュソウの2種である。多様性条例（指定希少野生動植物）。

## リュウキンカ

*Caltha palustris* L. var. *nipponica* H.Hara種子植物  
キンポウゲ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、分布境界、近年減少**生育環境** 山地の溪流端や湿地、沼池**生育状況** 現在、生育が確認されているのは、阿蘇地域とあさぎり町の湿地だけで、あさぎり町の保護区では、管理によって維持されている。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、草地の開発**特記事項** あさぎり町の自生地（丸池）は、分布の南限にあたり、町の保護区に指定されている。また、阿蘇谷には分類学的検討が必要な大型のもの（本州産移入が疑われる）が見られる。

## フジセンニンソウ

*Clematis chinensis* Osbeck var. *fujisanensis*  
(Hisauti et H.Hara) W.T.Wang種子植物  
キンポウゲ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー**選定理由** 近年減少、その他 (もともと希少)**生育環境** 低山地の林縁**生育状況** 熊本市、山鹿市 (旧山鹿市)、人吉市、錦町で生育が確認されている。山鹿市ではセンニンソウに置き換わって生育している地域もある**生存への脅威** 森林伐採、自然遷移、除草**特記事項** センニンソウと類似するが、乾燥すると葉が黒変する。生葉だけでは区別が困難で、このことが確認情報の少なさとも関係していると思われる。

## オキナグサ

*Pulsatilla cernua* (Thunb.) Berchtold. et J.Presl種子植物  
キンポウゲ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)**選定理由** 近年減少**生育環境** 山地の短草型草地**生育状況** かつては県内各地に見られたが、生育環境の悪化や減少に伴い減少傾向が続いている。現在の主な生育地は阿蘇地域や山都町 (旧矢部町) である。**生存への脅威** 草地の開発、管理放棄、自然遷移、捕獲・採集**特記事項**

## ノカラマツ

*Thalictrum simplex* L. var. *brevipes* H.Hara種子植物  
キンポウゲ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 長草型の草地**生育状況** 県内では、阿蘇地域にのみ分布する。現在、生育が確認されているのは阿蘇市 (旧阿蘇町、旧一の宮町、旧波野村)、産山村、高森町など数ヶ所で、どの生育地でも個体数は少ない。野焼き・採草などの中止による遷移の進行のため、個体数が減少している。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、人工造林**特記事項**

## センダイソウ

*Saxifraga sendaica* Maxim.種子植物  
ユキノシタ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)**選定理由** 県内局限、分布境界**生育環境** 山地林内の岩壁面**生育状況** 高森町、南阿蘇村 (旧久木野村)、大津町、山都町 (旧蘇陽町) で記録または生育が確認されている。生育地では群生するが、生育面積が狭く乾燥にも弱いいため、森林伐採等で環境が変化すると容易に消滅する可能性がある。**生存への脅威** 森林伐採、捕獲・採集**特記事項** 日本固有種で紀伊半島、四国、九州に分布し、熊本県は分布南限域である。

<b>タコノアシ</b>		熊本県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類（VU）
<i>Penthorum chinense</i> Pursh	種子植物 タコノアシ科	環境省カテゴリー 準絶滅危惧（NT）
<b>選定理由</b>	近年減少	
<b>生育環境</b>	泥湿地	
<b>生育状況</b>	玉名市（旧玉名市）、山鹿市（旧山鹿市）、菊池市（旧旭志村）、熊本市（旧熊本市）、阿蘇市（旧阿蘇町）、宇土市、八代市、天草市（旧倉岳町）などで生育が確認されている。以前は沿海地で多く見られたが、最近ではほとんど見ることができない。	
<b>生存への脅威</b>	池沼の改修、河川改修、水湿地の開発	
<b>特記事項</b>		

<b>ウドカズラ</b>		熊本県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類（VU）
<i>Ampelopsis cantoniensis</i> (Hook. et Arn.) Planch. var. <i>leeoides</i> (Maxim.) F.Y.Lu	種子植物 ブドウ科	環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	その他（もともと希少）	
<b>生育環境</b>	山地の林内	
<b>生育状況</b>	山鹿市（旧鹿北町）、御船町、八代市（旧泉村）、人吉市、球磨村、水俣市、天草市（旧天草町）など、県内各地に稀に生育する。いずれの生育地でも生育状況は概ね良好である。	
<b>生存への脅威</b>	森林伐採	
<b>特記事項</b>		

<b>サイカチ</b>		熊本県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類（VU）
<i>Gleditsia japonica</i> Miq.	種子植物 マメ科	環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	その他（もともと希少）	
<b>生育環境</b>	山野	
<b>生育状況</b>	阿蘇市（旧一の宮町、阿蘇町）、高森町、熊本市（金峰山）、御船町など県内各地で生育が確認されている。個体数はかなり少ない。	
<b>生存への脅威</b>	自然遷移、森林伐採	
<b>特記事項</b>	まれにトゲナシサイカチ（品種）も見られる。	

<b>レンリソウ</b>		熊本県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類（VU）
<i>Lathyrus quinquenervius</i> (Miq.) Litv.	種子植物 マメ科	環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	県内局限、近年減少、地域的孤立・希少	
<b>生育環境</b>	長草型の草地	
<b>生育状況</b>	県内では阿蘇地域にのみ分布する。現在、生育が確認されているのは阿蘇市（旧阿蘇町、旧一の宮町）、産山村、南小国町の数ヶ所だけである。群生している場所もあるが、ほとんどの場所で少数個体が点在する程度である。	
<b>生存への脅威</b>	管理放棄、自然遷移、人工造林	
<b>特記事項</b>		

## クマガワナンテンハギ

*Vicia unijuga* A.Braun var. *austrohigoensis*  
(Honda) Sugim.ex Yonek.種子植物  
マメ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県特産、模式産地**生育環境** 河川や路傍の岩礫地、やや乾き気味の草地**生育状況** 球磨村、芦北町（旧芦北町）、八代市（旧坂本村）で生育が確認されている。分布範囲は広いが生育環境が限られ、生育面積はいずれも狭い。**生存への脅威** 道路工事、河川改修**特記事項** 球磨村が模式産地。熊本県固有。

## フジ

*Wisteria floribunda* (Willd.) DC.種子植物  
マメ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー**選定理由** その他（もともと希少）**生育環境** 山地の林内や林縁**生育状況** 小国町、南小国町、菊池市（旧菊池市）、阿蘇村（旧久木野村）、熊本市（旧熊本市）、飯田山、益城町などで生育が確認されているが稀である。日当たりの良い林縁や林内で他種に巻き付いて生育する。**生存への脅威** 森林伐採、人工造林、土地造成**特記事項** 栽培種の逸出が各地で見られ、注意が必要。

## ミヤマザクラ

*Cerasus maximowiczii* (Rupr.) Kom.種子植物  
バラ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 山地林内**生育状況** 阿蘇、八代市（旧泉村）、山都町（旧矢部町）、五木村で生育が確認されている。標高 1000m を超える落葉林内に点在する。シデ類、ブナ、ミズナラ等に混じて生育している。生育場所は狭く、個体数も非常に少ない。**生存への脅威** 森林伐採**特記事項**

## イワキンバイ

*Potentilla ancistrifolia* Bunge var. *dickinsii*  
(Franch. et Sav.) Koidz.種子植物  
バラ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 山地の岩場や岩礫地**生育状況** 阿蘇市（旧阿蘇町）、八代市（旧泉村）、五木村、水上村などで生育が確認されている。分布範囲は広いが、生育面積はいずれも狭く、個体数も少ない。**生存への脅威** 捕獲・採集**特記事項**



クイチゴ		熊本県カテゴリー
<i>Rubus mesogaesus</i> Focke		絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
種子植物 バラ科		環境省カテゴリー
選定理由	県内局限、その他 (もともと希少)	
生育環境	落葉樹林帯の日当たりのよい林縁や路傍	
生育状況	山都町 (旧矢部町) で生育が確認されているのみである。元来、北方系の植物で県内の記録はここだけである。個体数、生育場所ともかなり限られる。	
生存への脅威	自然遷移、森林伐採	
特記事項		

コジキイチゴ		熊本県カテゴリー
<i>Rubus sumatranus</i> Miq.		絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
種子植物 バラ科		環境省カテゴリー
選定理由	その他 (もともと希少)	
生育環境	常緑林の林縁部	
生育状況	山鹿市 (旧菊鹿町、旧鹿北町)、美里町 (旧中央町)、八代市 (旧東陽村、旧泉村)、五木村、人吉市、水上村、天草市など県内各地で生育が確認されているが、個体数は少ない。川沿いの、湿度が高く涼しい場所で見かけることが多い。	
生存への脅威	森林伐採、自然遷移	
特記事項	パイオニア植物であり、安定した生育は難しい。	

ナガボノワレモコウ		熊本県カテゴリー
<i>Sanguisorba tenuifolia</i> Fisch. ex Link		絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
種子植物 バラ科		環境省カテゴリー
選定理由	県内局限、近年減少	
生育環境	阿蘇地域の水田間の溝縁やその周辺	
生育状況	阿蘇市 (旧一の宮町、旧阿蘇町) とあさぎり町に生育が見られる。山鹿市 (旧山鹿市) にも見られたが、生育地が公園化され、近年は確認できない状態になっている。	
生存への脅威	農地開発、管理放棄、自然遷移、除草	
特記事項	熊本県ではこれまで花の色が白のものをナガボノシロワレモコウ、赤のものをナガボノアカワレモコウとして区別してきた。このうちナガボノアカワレモコウにあたるものは旧阿蘇町の1ヶ所に数個体が生育するだけである。	

ハマナツメ		熊本県カテゴリー
<i>Paliurus ramosissimus</i> (Lour.) Poir.		絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
種子植物 クrouメモドキ科		環境省カテゴリー
選定理由	その他 (もともと希少)	
生育環境	海岸付近の疎林内	
生育状況	水俣市、天草市 (旧本渡市、旧牛深市、旧倉岳町、旧新和町)、上天草市などで生育が確認されている。水俣市周辺では、わりと個体数は保たれているが、その他の地域ではかなり少ない。海流散布性のため、海辺の改変等の環境変化に伴いその数を減少させている。	
生存への脅威	海辺の改変等、自然遷移	
特記事項		

## クワノハエノキ

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）  
環境省カテゴリー

*Celtis boninensis* Koidz.

種子植物  
アサ科

**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）

**生育環境** 海岸地域の疎林内

**生育状況** 天草市（旧牛深市）の数ヶ所で生育が確認されている。どこも海岸沿いの地域であるが、久玉の権現山はやや内陸に位置している。

**生存への脅威** 森林伐採、土地造成  
**特記事項**

## クサコアカソ

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）  
環境省カテゴリー

*Boehmeria gracilis* C.H.Wright

種子植物  
イラクサ科

**選定理由** 県内局限、分布境界、その他（もともと希少）

**生育環境** 山地の林縁

**生育状況** 人吉市、八代市（旧泉村）、球磨村、五木村、南小国町で確認されている。端海野や五家荘（又志谷一帯～西の岩）にかけては、まとまって生育している。道路工事で一時消滅した箇所もあるが、回復しつつある。

**生存への脅威** 道路工事、森林伐採  
**特記事項** 球磨村（渡）は分布南限。

## チョクザキミズ

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類（EN）

*Lecanthus peduncularis* (Royle) Wedd.

種子植物  
イラクサ科

**選定理由** 県内局限

**生育環境** 溪流辺

**生育状況** 山都町（旧矢部町、旧蘇陽町）、高森町で確認されている。川沿いの飛沫がかかるような岩場に生育しているが、生育地は少なく個体数も極めて少ない。

**生存への脅威** 自然災害  
**特記事項**

## ツクシミズ

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）  
環境省カテゴリー

*Pilea sinofasciata* C.J.Chen

種子植物  
イラクサ科

**選定理由** 全国局限、県内局限、その他（もともと希少）

**生育環境** 山地の林内及び林縁

**生育状況** 八代市（旧泉村）、五木村の標高 1000m 以上の石灰岩地に生育する。湿り気が多い、日陰の谷沿いや林内では群落を形成する。一部では土砂流出により消滅した箇所もある。

**生存への脅威** 森林伐採、自然災害、自然遷移  
**特記事項** 九州での分布は宮崎県と熊本県のみである。

## ハナガガシ

*Quercus hondae* Makino種子植物  
ブナ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）**選定理由** 全国局限、県内局限**生育環境** 山地の林内**生育状況** 天草市（旧天草町）、人吉市に生育する。天草市では常緑林内に多数個体が見られ、生育状況は良好である。人吉市では個体数は少ない。**生存への  
脅威  
特記事項** 森林伐採

## ノグルミ

*Platycarya strobilacea* Siebold et Zucc.種子植物  
クルミ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）  
環境省カテゴリー**選定理由** 近年減少、その他（もともと希少）**生育環境** 常緑林内や林縁**生育状況** 和水町（旧三加和町）、小岱山、熊本市（旧熊本市）、相良村などに生育する、一部の生育地では個体数の減少が見られる。もともと生育個体数が少なく、森林伐採などで容易に減少する傾向がある。**生存への  
脅威  
特記事項** 森林伐採

## ヤマヒハツ

*Antidesma japonicum* Siebold et Zucc.種子植物  
ミカンソウ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限**生育環境** 山地の林内**生育状況** 八代、芦北、球磨、天草地方に見られるが、どの生育地でも個体数は少ない。**生存への  
脅威  
特記事項** 森林伐採

## イヌコリヤナギ

*Salix integra* Thunb.種子植物  
ヤナギ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 池溝辺、河川敷**生育状況** 荒尾市、阿蘇市（旧阿蘇町）、人吉市、相良村など県内各地に見られたが、河川工事などにより生育地がなくなり、希少化傾向が進行している。**生存への  
脅威  
特記事項** 河川改修、水湿地の開発

## ヒナスミレ

*Viola tokubuchiana* Makino var. *takedana* (Makino)  
F.Maek.種子植物  
スミレ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー

選定理由 その他 (もともと希少)

生育環境 山地の林内

生育状況 南阿蘇村 (旧久木野村)、山都町 (旧矢部町)、益城町などに見られる。いずれの産地でも個体数は少ない。

生存への  
脅威  
森林伐採

特記事項

## チャンチンモドキ

*Choerospondias axillaris* (Roxb.) B.L.Burtt et A.W.Hill種子植物  
ウルシ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)

選定理由 全国局限、県内局限

生育環境 山地の林内

生育状況 八代市、天草市 (旧天草町)、山江村、人吉市、錦町などに稀に生育する。天草市は最も個体数が多く、常緑林内に高木の個体が多数見られ、生育状況も良好である。

生存への  
脅威  
森林伐採

特記事項 菊池高校のチャンチンモドキは県の天然記念物に指定されている。

## コイヌガラシ

*Rorippa cantoniensis* (Lour.) Ohwi種子植物  
アブラナ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)

選定理由 近年減少

生育環境 水田や日当たりの良い湿った場所

生育状況 各地の田圃や、ため池周辺の湿った場所に生育しているが、近年は、生育地及び個体数の減少が著しい。農地開発や除草剤の使用が主な原因と思われるが、熊本市の江津湖では公園整備に伴い減少した。

生存への  
脅威  
農地開発、農薬使用、管理放棄

特記事項

## オオバヤドリギ

*Taxillus yadoriki* (Siebold ex Maxim.) Danser種子植物  
オオバヤドリギ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー

選定理由 その他 (もともと希少)

生育環境 常緑林内の樹上

生育状況 南阿蘇村、山鹿市 (旧菊鹿町)、天草市 (旧本渡市、旧倉岳町)、苓北町、八代市 (旧氷川町)、芦北町 (旧芦北町) など県内各地で生育が確認されているが、いずれにしても個体数は少ないと思われる。シイ、カシなどを寄主とすることが多い。

生存への  
脅威  
森林伐採、自然遷移

特記事項

## ハマサジ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

環境省カテゴリー

準絶滅危惧 (NT)

*Limonium tetragonum* (Thunb.) A.A.Bullock種子植物  
イソマツ科

選定理由 県内局限

生育環境 海辺の砂泥地

生育状況 上天草市、天草市（旧本渡市、旧新和町、旧河浦町）、苓北町、八代市等の海岸の砂泥地に生育している。分布域が限られ、また群落面積が小さいため、埋め立て等で消失しやすい。

生存への脅威 塩性湿地の減少・消失、海辺の改変等

特記事項

## アキノミチヤナギ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

環境省カテゴリー

*Polygonum polyneuron* Franch. et Sav.種子植物  
タデ科

選定理由 県内局限

生育環境 海辺の砂礫地

生育状況 苓北町、上天草市や天草市の各地で生育が見られ、生育状況も良好である。

生存への脅威 海辺の改変等

特記事項

## ヒメハマナデシコ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

環境省カテゴリー

*Dianthus kiusianus* Makino種子植物  
ナデシコ科

選定理由 全国局限、県内局限

生育環境 海岸の崖地、岩場

生育状況 天草市（旧牛深市）に見られるが、生育地が限られている。生育状況は良好である。

生存への脅威 海辺の改変等、自然災害

特記事項

## ワダソウ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

環境省カテゴリー

*Pseudostellaria heterophylla* (Miq.) Pax種子植物  
ナデシコ科

選定理由 県内局限、近年減少、地域的孤立・希少

生育環境 長草型の草地

生育状況 県内では阿蘇地域にのみ分布する。現在、生育が確認されているのは、阿蘇市（旧阿蘇町、旧一の宮町）、産山村、高森町、南阿蘇村（旧白水村）などで、端辺原野を中心に点在する。どの生育地でも数個体程度で、個体数はたいへん少ない。

生存への脅威 管理放棄、自然遷移、人工造林

特記事項

## クサレダマ

*Lysimachia vulgaris* L. var. *davurica* (Ledeb.)  
R.Knuth種子植物  
サクラソウ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 長草型の草地**生育状況** 県内では阿蘇地域にのみ分布する。阿蘇では、これまで阿蘇市（旧阿蘇町、旧波野村）、南阿蘇村（旧白水村：御竈門山）などに見られたが、現在生育が確認できるのは阿蘇市、高森町、小国町の数ヶ所だけである。野焼き・採草などの中止による遷移の進行のため、個体数が減少している。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、人工造林  
**特記事項**

## サクラソウ

*Primula sieboldii* E.Morren種子植物  
サクラソウ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)**選定理由** 県内局限**生育環境** 山地の草地**生育状況** 以前は阿蘇の各地や人吉・球磨地方で多く見られたが、最近では激減しており、人吉・球磨地方ではほとんど見られなくなった。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、捕獲・採集  
**特記事項** 多様性条例（指定希少野生動植物）。

## シャクジョウソウ

*Monotropa hypopithys* L.種子植物  
ツツジ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー**選定理由** その他（もともと希少）**生育環境** 山地の林内**生育状況** 菊池市（旧菊池市）、熊本市（金峰山）、山都町（旧矢部町）などの腐植質の多い林床に極稀に見られる。**生存への脅威** 森林伐採  
**特記事項** 菌従属栄養植物

## マルバノイチヤクソウ

*Pyrola nephrophylla* (Andres) Andres種子植物  
ツツジ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 山地林内の地上**生育状況** 高森町、南阿蘇村（旧久木野村）、西原村で生育が確認されている。八代市五家荘の記録があるが、詳しい産地と現状は不明である。山地林内のやや乾燥した地上に群生するが、生育面積が狭く環境の変化で容易に消滅する可能性がある。**生存への脅威** 森林伐採  
**特記事項**

## ツクシアケボノツツジ

*Rhododendron pentaphyllum* Maxim. var. *pentaphyllum*種子植物  
ツツジ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)**選定理由** 全国局限、県内局限**生育環境** 落葉林内**生育状況** 市房山の中腹から頂上にかけて群生している。県内での生育場所はここだけである。近年の生育状況に変化は見られないが注意して見守る必要がある。近年、高森町でも少数の群落が確認された。**生存への脅威** 自然災害、捕獲・採集**特記事項** 水上村の生育地は県の天然記念物に指定されている。文化財保護条例（天然記念物）。

## キヌタソウ

*Galium kinuta* Nakai et H.Hara種子植物  
アカネ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 落葉林内、山地の草原**生育状況** 山都町（旧蘇陽町）、高森町、八代市（泉村）で生育が確認されている。県内での生育地は稀で、個体数も少ない。植生遷移の進行による環境変化で、生育地の減少や消滅が懸念される。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、森林伐採**特記事項**

## ムラサキセンブリ

*Swertia pseudochinensis* H.Hara種子植物  
リンドウ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)**選定理由** 近年減少**生育環境** 長草型の草地**生育状況** 現在、生育が確認されているのは、阿蘇市（旧阿蘇町、旧一の宮町、旧波野村）、産山村、高森町、南阿蘇村（旧白水村）、西原村、芦北町、上天草市などであるが、どの生育地も少数個体が点在する程度である。野焼き・採草などの中止による遷移の進行のため、個体数が減少している。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、人工造林**特記事項**

## シタキシソウ

*Jasminanthes mucronata* (Blanco) W.D.Stevens et P.T.Li種子植物  
キョウチクトウ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 常緑林内**生育状況** 天草（各地）、益城町、宇城市（旧三角町）、八代市（旧坂本村）、水俣市、芦北町（旧田浦町）で生育が確認されている。いずれの生育地でも生育数は数個体で少ない。**生存への脅威** 森林伐採**特記事項** 別名 オキナワシタキヅル。

## ロクオンソウ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

*Vincetoxicum amplexicaule* Siebold et Zucc.

種子植物  
キョウチクトウ科

環境省カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

**選定理由** 近年減少

**生育環境** 長草型の草地

**生育状況** 以前は県内各地に散在していたが、現在生育が確認されているのは、阿蘇市（旧一の宮町）、高森町、南阿蘇村（旧長陽村、旧久木野村）、山都町（旧清和村、旧蘇陽町）、西原村、大津町、熊本市（旧熊本市）、山鹿市（旧山鹿市）などである。野焼き・採草などの中止による遷移の進行のため、個体数が減少している。

**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、人工造林

**特記事項**

## スズサイコ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

*Vincetoxicum pycnostelma* Kitag.

種子植物  
キョウチクトウ科

環境省カテゴリー

準絶滅危惧 (NT)

**選定理由** 近年減少

**生育環境** 長草型の草地

**生育状況** 県内各地に散在していたが、熊本市（旧熊本市）と阿蘇地域、芦北町（旧芦北町）以外ではほとんど見られない。阿蘇では阿蘇市、南小国町、産山村、高森町、南阿蘇村、西原村などの草原に点在している。分布域は広く生育地点も多いが、どの生育地も数個体が点在する程度である。野焼き・採草などの中止による遷移の進行のため、個体数が減少している。

**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、人工造林

**特記事項**

## ホタルカズラ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

*Lithospermum zollingeri* A.DC.

種子植物  
ムラサキ科

環境省カテゴリー

**選定理由** 県内局限、近年減少

**生育環境** 明るい林縁や山際の草地

**生育状況** 和水町（旧三加和町）、山鹿市（旧山鹿市）、熊本市（旧熊本市）、益城町、芦北町（旧芦北町）などで生育が確認されている。多数個体が生育するよう見えることが多いが、茎が横に這って広がるため、個体数は見た目ほどは多くない。花の時期はよく目立つため採取被害がある。

**生存への脅威** 自然遷移、道路工事、捕獲・採集

**特記事項**

## メジロホオズキ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

*Lycianthes biflora* (Lour.) Bitter

種子植物  
ナス科

環境省カテゴリー

**選定理由** その他（もともと希少）

**生育環境** 海辺の林縁

**生育状況** 上天草市（旧姫戸町）、天草市（旧牛深市）、八代市（旧八代市）、芦北町（旧芦北町）などに生育する。各地に散在するが個体数は少ない。

**生存への脅威** 海辺の改変等

**特記事項**



## シシンラン

*Lysionotus pauciflorus* Maxim種子植物  
イワタバコ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

選定理由 県内局限

生育環境 山地の岩上や樹上

生育状況 阿蘇（深葉、北向山、旧久木野村）、山都町（旧矢部町）、五木村、球磨村、水上村（市房山）、水俣市などで確認されている。やや群生するため個体数は比較的多いが、生育地は限られる。生育面積も狭いため、森林伐採などにより一度に多数の個体が消失する。

生存への脅威 森林伐採、捕獲・採集

特記事項

## オオアブノメ

*Gratiola japonica* Miq.種子植物  
オオバコ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

選定理由 近年減少

生育環境 平地の水湿地

生育状況 熊本市（旧熊本市）、八代市（旧八代市）、天草市（旧河浦町）などで確認されている。ヨシやマコモの増加など、生育地の劣化が各地でおきているが、熊本市下江津湖ではナガエツルノゲイトウの侵入で生育が脅かされている。八代市では現在、生育が確認できない。

生存への脅威 河川改修、外来種の侵入、埋め立て、自然遷移

特記事項

## ホンバヒメトラノオ

*Veronica linariifolia* Pall. ex Link種子植物  
オオバコ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類 (EN)

選定理由 近年減少

生育環境 山地の草原

生育状況 阿蘇市（旧阿蘇町、旧一の宮町）、西原村などで生育が確認されている。どの産地も数個体程度で少ない。野焼き・採草などの中止による遷移の進行のため、個体数が減少している。

生存への脅威 管理放棄、自然遷移、人工造林

特記事項

## コクワガタ

*Veronica miqueliana* Nakai f. *takedana* (Makino)  
T.Yamaz.種子植物  
オオバコ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー

選定理由 近年減少

生育環境 落葉林内のやや湿り気が多い林床

生育状況 阿蘇（深葉、狼ヶ宇土）、高森町、八代市（五家荘）、五木村、人吉市などで確認されている。もともと個体数が少ないが、森林伐採などにより生育環境が減少し、希少化傾向が進行している。

生存への脅威 森林伐採

特記事項

## ヤマトラノオ

*Veronica rotunda* Nakai var. *subintegra* (Nakai)  
T.Yamaz.

種子植物  
オオバコ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー

**選定理由** 近年減少

**生育環境** 山地の草原

**生育状況** 阿蘇市（旧阿蘇町、旧一の宮町）で生育が確認されている。どの産地も数個体程度で少ない。野焼き・採草などの中止による遷移の進行のため、個体数が減少している。

**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、人工造林  
**特記事項**

## カワミドリ

*Agastache rugosa* (Fisch. et C.A.Mey.) Kuntze

種子植物  
シソ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー

**選定理由** その他（もともと希少）

**生育環境** 山地の林縁

**生育状況** 山鹿市（旧鹿北町）、小国町、熊本市（金峰山）、御船町、阿蘇市（旧一の宮町）、南阿蘇村（旧久木野村）、八代市（旧東陽村、旧泉村）などで確認されている。いずれも個体数は少ない。

**生存への脅威** 森林伐採、管理放棄  
**特記事項**

## ヒメキランソウ

*Ajuga pygmaea* A.Gray

種子植物  
シソ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー

**選定理由** 県内局限

**生育環境** 沿海地の岩場や砂礫地

**生育状況** 天草市（旧天草町、旧牛深市）、苓北町での生育が確認されている。いずれの生育地でも環境の悪化によって、個体数が減少しつつある。

**生存への脅威** 海辺の改変等、埋め立て  
**特記事項**

## コムラサキ

*Callicarpa dichotoma* (Lour.) K.Koch

種子植物  
シソ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー

**選定理由** 県内局限、近年減少

**生育環境** 湿地及びその周辺の草地や林縁

**生育状況** 阿蘇地域、山鹿市（旧山鹿市）、熊本市（旧熊本市）、水俣市、錦町、多良木町など県内各地に見られたが、生育環境の劣化や減少に伴い急速に減少している。

**生存への脅威** 水湿地の開発、自然遷移  
**特記事項**

## タカマヒキオコシ

*Isodon shikokianus* (Makino) H.Hara var. *intermedius* (Kudo) Murata

種子植物  
シソ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー

**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）

**生育環境** 常緑樹林上部の林縁及び谷沿い

**生育状況** 八代市（旧坂本村、旧東陽村、旧泉村）、五木村、あさぎり町などで生育が確認されている。標高 500～800 m の地域における生育が多い。特に八代市、五木村では山地の谷沿いに個体数が多く見られる。林道沿いでも生育しているが、連続して生育するようなことはない。標高がより高くなる雁俣山の登山道沿いにも生育している。

**生存への脅威** 踏み付け

**特記事項**

## キセワタ

*Leonurus macranthus* Maxim.

種子植物  
シソ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

**選定理由** 近年減少、地域的孤立・希少

**生育環境** 長草型の草地

**生育状況** 県内では、阿蘇、山鹿市（旧菊鹿町）、菊池市（旧菊池市）、熊本市（旧熊本市）、水俣市、人吉市など各地で記録されているが、現在生育が確認されているのは、阿蘇地域のみである。高森町など各地に点在するが、どの生育地も数個体が生育する程度である。野焼き・採草などの中止による遷移の進行のため、個体数が減少している。

**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、人工造林

**特記事項**

## オオヤマジソ

*Mosla japonica* (Benth. ex Oliv.) Maxim. var. *hadae* (Nakai) Kitam.

種子植物  
シソ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)

**選定理由** 全国局限、県内局限、分布境界、その他（もともと希少）

**生育環境** 山地のやや荒れて乾いた草地

**生育状況** 阿蘇市（旧一の宮町）、小国町、南阿蘇村（旧白水村、旧久木野村）、西原村等に生育する。草原内のやや裸地が目立つような環境に生育するため、場所によっては遷移の進行とともに消失する。生育地は局所的で、個体数も多くない。

**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移

**特記事項** 西原村は分布の南限。九州での他地域の分布は長崎県。

## ゴマクサ

*Centranthera cochinchinensis* (Lour.) Merr. var. *lutea* (H.Hara) H.Hara

種子植物  
ハマウツボ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

**選定理由** 近年減少

**生育環境** 山足の湿地

**生育状況** 山鹿市（旧山鹿市）、菊池市（旧菊池市）、阿蘇、人吉市、山江村、水俣市などで生育が確認されている。日当たりの良い湿地に点在する。湿地の埋め立てや開発により減少が進んでいる。

**生存への脅威** 水湿地の開発、埋め立て、管理放棄

**特記事項**

## ツクシゴメグサ

*Euphrasia multifolia* Wettst.種子植物  
ハマウツボ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧ⅠB類（EN）**選定理由** 県内局限、地域的孤立・希少**生育環境** 山地の低茎草原**生育状況** 菊池市（旧旭志村）、大津町、端辺原野、俵山、阿蘇市（旧阿蘇町）など阿蘇各地と八方ヶ岳で生育が確認されている。阿蘇では、北外輪を中心に広く分布するが個体数は少ない。野焼き・採草などの中止による遷移の進行のため、個体数が減少している。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、人工造林  
**特記事項**

## タマミズキ

*Ilex micrococca* Maxim.種子植物  
モチノキ科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）  
環境省カテゴリー**選定理由** その他（もともと希少）**生育環境** 常緑林内**生育状況** 天草市（旧河浦町、旧本渡市）、八代市（旧八代市、旧泉村）、山鹿市（旧鹿北町）、山都町（旧矢部町）など県内各地で生育が確認されているが、個体数はかなり少ない。**生存への脅威** 森林伐採、自然遷移  
**特記事項**

## ヤブヨモギ

*Artemisia rubripes* Nakai種子植物  
キク科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）**選定理由** 県内局限、近年減少、地域的孤立・希少**生育環境** 長草型の草地**生育状況** 県内では、阿蘇地域にのみ分布する。現在、生育が確認されているのは阿蘇市（旧一の宮町）、産山村、南阿蘇村（旧白水村）など数ヶ所であるが、どの生育地も数個体が点在する程度である。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、人工造林  
**特記事項**

## タニガワコンギク

*Aster microcephalus* (Miq.) Franch. et Sav. var. *ripensis* Makino種子植物  
キク科熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限**生育環境** 溪流辺**生育状況** 八代市（旧東陽村）、菊池市（旧菊池市）、球磨村、五木村、芦北町（旧芦北町）等にやや稀に見られる。増水時に冠水するような岩場やれき地に生育し、球磨川では比較的広く見られる。**生存への脅威** 河川改修  
**特記事項** 熊本県の古い記録ではホソバコンギクを本種としたものがあり、注意が必要。

シオン		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<i>Aster tataricus</i> L.f.	種子植物 キク科	環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<b>選定理由</b>	県内局限、近年減少	
<b>生育環境</b>	高茎型の草地	
<b>生育状況</b>	阿蘇地域と山都町（旧清和村、旧蘇陽町）に見られる。野焼き・採草などの中止による遷移の進行のため、個体数が減少している。	
<b>生存への脅威</b>	管理放棄、自然遷移、人工造林	
<b>特記事項</b>	阿蘇地域から緑化用に出荷された「野芝」について出たものや栽培個体の逸出が各所に見られ、注意が必要。	

マルバタウコギ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<i>Bidens biternata</i> (Lour.) Merr. et Sherff var. <i>mayebarae</i> (Kitam.) Kitam.	種子植物 キク科	環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	全国局限、県内局限、模式産地	
<b>生育環境</b>	沿海地の路傍	
<b>生育状況</b>	芦北町（旧芦北町）、水俣市の沿海地に生育する。分布は芦北地域にほぼ限られるが、天草、鹿児島（出水）の記録もある。	
<b>生存への脅威</b>	不明	
<b>特記事項</b>	芦北町が模式産地。	

サツママアザミ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<i>Cirsium austrokiushianum</i> Kitam.	種子植物 キク科	環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<b>選定理由</b>	県内局限、模式産地	
<b>生育環境</b>	湿生草原	
<b>生育状況</b>	阿蘇、水俣市などに生育する。草原の管理放棄や生育地周辺の森林化による日照阻害などにより生育地と個体数の減少が見られる。	
<b>生存への脅威</b>	管理放棄、自然遷移、人工造林	
<b>特記事項</b>	錦町が模式産地。キセルアザミ（マアザミ）との間に雑種があり、区別が困難な場合がある。	

ヤマヒヨドリバナ		熊本県カテゴリー
		絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<i>Eupatorium variabile</i> Makino	種子植物 キク科	環境省カテゴリー
<b>選定理由</b>	その他（もともと希少）	
<b>生育環境</b>	低山地の林縁	
<b>生育状況</b>	菊池水源、熊本市（旧熊本市）、八代市（旧八代市、旧泉村）、芦北町（旧田浦町）、天草市、上天草市（旧松島町）などに見られる。個体数が少なく、土木工事などで生育地が消失しやすい。	
<b>生存への脅威</b>	道路工事、自然遷移	
<b>特記事項</b>	別名 ヤマヒヨドリ。	

## マンシュウスイラン

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）*Hololeion fauriei* (H. Lév. et Vaniot) Kitam.種子植物  
キク科環境省カテゴリー  
準絶滅危惧（NT）**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 湿生草地**生育状況** 山鹿市（旧山鹿市）、阿蘇市（旧阿蘇町、旧一の宮町）、南小国町、人吉市、水俣市など、県内各地に見られる。生育環境の消失や劣化に伴い、希少化傾向が進行しつつある。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移**特記事項** 別名 チョウセンスイラン。

## スイラン

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）*Hololeion krameri* (Franch. et Sav.) Kitam.種子植物  
キク科

環境省カテゴリー

**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 湿生草地**生育状況** 小国町で生育が確認されている。この生育地ではヨシの増加や遷移の急速な進行により生育環境の悪化が進んでいる。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、その他（ヨシの繁茂）**特記事項** 阿蘇や球磨地方を中心に確認情報があるが、マンシュウスイランを本種と誤認している可能性が高い。詳細調査が必要である。

## ミヤコアザミ

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）*Saussurea maximowiczii* Herder種子植物  
キク科

環境省カテゴリー

**選定理由** 県内局限、近年減少**生育環境** 長草型の草地、湿地周辺の草地**生育状況** 阿蘇市（旧阿蘇町、旧一の宮町、旧波野村）、南小国町、高森町、山鹿市（旧山鹿市）などに生育する。北外輪では湿地やその周辺の草地に、東外輪ではやや湿り気の多い高茎型の草地に生育している。野焼き・採草などの中止による遷移の進行のため、個体数が減少している。**生存への脅威** 管理放棄、自然遷移、人工造林**特記事項**

## ヤブレガサ

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧Ⅱ類（VU）*Syneilesis palmata* (Thunb.) Maxim.種子植物  
キク科

環境省カテゴリー

**選定理由** 近年減少**生育環境** 山地の草原と林縁**生育状況** 山鹿市（旧菊鹿町）、菊池市（旧菊池市）、小国町、阿蘇市（旧阿蘇町、旧波野村）、南阿蘇村（旧長陽村）、高森町、八代市（旧泉村）に記録または生育が確認されている。長草型の草地や林縁に生育するが、どの生育地でも個体数は少ない。阿蘇地域では野焼き・採草などの中止による遷移の進行のため、個体数が減少している。**生存への脅威** 人工造林、管理放棄、自然遷移**特記事項**

## ナベナ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類（VU）

環境省カテゴリー

*Dipsacus japonicus* Miq.種子植物  
スイカズラ科**選定理由** その他（もともと希少）**生育環境** 山地の林縁や路傍**生育状況** 山鹿市（旧鹿本町）、阿蘇、山都町（旧矢部町）、八代市（旧泉村）、球磨村など県内各地に広く見られたが、もともと個体数が少なく、遷移の進行などの生育環境の劣化により希少化傾向が進行している。**生存への脅威** 森林伐採、管理放棄、自然遷移**特記事項**

## ニシキウツギ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類（VU）

環境省カテゴリー

*Weigela decora* (Nakai) Nakai種子植物  
スイカズラ科**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）**生育環境** 山地の林縁と草原**生育状況** 県内ではっきり確認できているものは阿蘇中央火口丘のみである。その他に、菊池水源、南小国町、水上村など県内数ヶ所で採集、記録されているが検討が必要。**生存への脅威** 自然災害**特記事項**

## イヌトウキ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類（VU）

環境省カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類（VU）

*Angelica shikokiana* Makino ex Y.Yabe種子植物  
セリ科**選定理由** 県内局限**生育環境** 石灰岩地の岩隙及び風化土壌地**生育状況** 八代市（旧泉村）、五木村の仏岩、頭地、竹の川～三浦の石灰岩地に生育している。岩隙や風化土壌の堆積した場所である。また、山江村でも確認されている。**生存への脅威** 捕獲・採集**特記事項** イヌトウキとクマノダケの違いについては検討を要する。

## クマノダケ

熊本県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類（VU）

環境省カテゴリー

絶滅危惧ⅠB類（EN）

*Angelica shikokiana* Makino ex Y.Yabe var.  
*mayebarana* (Koidz.) H.Hara種子植物  
セリ科**選定理由** 県特産、全国局限、県内局限、模式産地、地域的孤立・希少**生育環境** 球磨川（一勝地～八代市）沿い**生育状況** 球磨村一勝地から八代市にかけての球磨川沿岸の道路沿いに生育する。特に球磨村神瀬～芦北町告の間では比較的多くの個体数が確認できる。道路上の割れ目や法面でも生育している。**生存への脅威** 道路工事、河川改修**特記事項** 熊本県固有種。球磨村は模式産地。

## 準絶滅危惧 (NT)

	ヒカゲノカズラ科	エゾヒカゲノカズラ	<i>Lycopodium clavatum</i> L. var. <i>asiaticum</i> Ching
	ヒカゲノカズラ科	マンネンスギ	<i>Lycopodium obscurum</i> L.
	ハナヤスリ科	チャボハナヤスリ	<i>Ophioglossum parvum</i> M.Nishida et Kurita
	ハナヤスリ科	ナツノハナワラビ	<i>Botrychium virginianum</i> (L.) Sw.
	リュウビンタイ科	リュウビンタイ	<i>Angiopteris lygodijfolia</i> Rosenst.
	コケシノブ科	オオコケシノブ	<i>Hymenophyllum badium</i> Hook. et Grev.
	コバノイシカグマ科	オドリコカグマ	<i>Microlepia sinostrigosa</i> Ching
	コバノイシカグマ科	オオフジシダ	<i>Monachosorum nipponicum</i> Makino
	イノモトソウ科	キドイノモトソウ	<i>Pteris kidoi</i> Sa.Kurata
	イノモトソウ科	ホコシダ	<i>Pteris ensiformis</i> Burm.f.
シ	イノモトソウ科	ナカミシシラン	<i>Haplopteris fudzinoi</i> (Makino) E.H.Crane
ダ	ヒメシダ科	ヒメハシゴシダ	<i>Thelypteris cystopteroides</i> (D.C.Eaton) Ching
	ヌリワラビ科	ヌリワラビ	<i>Rhachidosorus mesosorus</i> (Makino) Ching
植	コウヤワラビ科	クサソテツ	<i>Onoclea struthiopteris</i> (L.) Hoffm.
物	シシガシラ科	オサシダ	<i>Blechnum amabile</i> Makino
	シシガシラ科	ハイコモチシダ	<i>Woodwardia unigemmata</i> (Makino) Nakai
	メシダ科	キリシマヘビノネゴザ	<i>Athyrium kirisimaense</i> Tagawa
	メシダ科	サトメシダ	<i>Athyrium deltoideofrons</i> Makino
	メシダ科	オオバミヤマノコギリシダ	<i>Diplazium hayatamae</i> N.Ohta et M.Takamiya
	オシダ科	タニヘゴ	<i>Dryopteris tokyoensis</i> (Makino) C.Chr.
	オシダ科	ヌカイタチシダ	<i>Dryopteris gymnosora</i> (Makino) C.Chr.
	オシダ科	オトコシダ	<i>Arachniodes yoshinagae</i> (Makino) Ching
	オシダ科	タチデシダ	<i>Polystichum deltodon</i> (Baker) Diels
	オシダ科	ツクシヤブソテツ	<i>Cyrtomium tukusicola</i> Tagawa
	ウラボシ科	ホテイシダ	<i>Lepisorus annuifrons</i> (Makino) Ching
	ウラボシ科	カラクサシダ	<i>Pleurosoriopsis makinoi</i> (Maxim. ex Makino) Fomin
	イチイ科	イチイ	<i>Taxus cuspidata</i> Siebold et Zucc.
	ドクダミ科	ハンゲショウ	<i>Saururus chinensis</i> (Lour.) Baill.
	ウマノスズクサ科	オオバウマノスズクサ	<i>Aristolochia kaempferi</i> Willd.
	ウマノスズクサ科	クロフネサイシン	<i>Asarum dimidiatum</i> F.Maek.
	ウマノスズクサ科	ツクシアオイ	<i>Asarum kiusianum</i> F.Maek.
	ウマノスズクサ科	ウンゼンカンアオイ	<i>Asarum unzen</i> (F.Maek.) Kitam. et Murata
	ショウブ科	ショウブ	<i>Acorus calamus</i> L.
	オモダカ科	アギナシ	<i>Sagittaria aginashi</i> Makino
	トチカガミ科	セキショウモ	<i>Vallisneria natans</i> (Lour.) H.Hara
	ヒルムシロ科	ヒルムシロ	<i>Potamogeton distinctus</i> A.Benn.
	ヒルムシロ科	フトヒルムシロ	<i>Potamogeton fryeri</i> A.Benn.
種	ヤマノイモ科	ツクシタチドコロ	<i>Dioscorea asclepiadea</i> Prain et Burkill
子	サルトリイバラ科	サツマサンキライ	<i>Smilax bracteata</i> C.Presl
	ユリ科	トサコバイモ	<i>Fritillaria shikokiana</i> Naruh.
植	ユリ科	ノヒメユリ	<i>Lilium callosum</i> Siebold et Zucc.
物	ラン科	マメヅタラン	<i>Bulbophyllum drymoglossum</i> Maxim. ex Okubo
	ラン科	ムギラン	<i>Bulbophyllum inconspicuum</i> Maxim.
	ラン科	ナツエビネ	<i>Calanthe puberula</i> Lindl. var. <i>reflexa</i> (Maxim.) M.Hiroe
	ラン科	ギンラン	<i>Cephalanthera erecta</i> (Thunb.) Blume var. <i>erecta</i>
	ラン科	キンラン	<i>Cephalanthera falcata</i> (Thunb.) Blume
	ラン科	カキラン	<i>Epipactis thunbergii</i> A.Gray
	ラン科	ミズトンボ	<i>Habenaria sagittifera</i> Rchb.f.
	ラン科	ムカゴソウ	<i>Herminium angustifolium</i> (Lindl.) Benth. et Hook.f.
	ラン科	ツレサギソウ	<i>Platanthera japonica</i> (Thunb.) Lindl.
	ラン科	クモラン	<i>Taeniophyllum glandulosum</i> Blume
	ススキノキ科	キキョウラン	<i>Dianella ensifolia</i> (L.) DC.
	キジカクシ科	ケイビラン	<i>Comospermum yedoense</i> (Maxim. ex Franch. et Sav.) Rausch.
	キジカクシ科	ヒメヤブラン	<i>Liriope minor</i> (Maxim.) Makino



	ホシクサ科	ホシクサ	<i>Eriocaulon cinereum</i> R.Br.
	ホシクサ科	イヌノヒゲ	<i>Eriocaulon miquelianum</i> Koern.
	ホシクサ科	ニッポンイヌノヒゲ	<i>Eriocaulon taquetii</i> Lecomte
	イグサ科	ハナビゼキショウ	<i>Juncus alatus</i> Franch. et Sav.
	イグサ科	ヒメコウガイゼキショウ	<i>Juncus bufonius</i> L.
	カヤツリグサ科	イトテンツキ	<i>Bulbostylis densa</i> (Wall.) Hand.-Mazz. var. <i>capitata</i> (Miq.) Ohwi
	カヤツリグサ科	ケスゲ	<i>Carex duvaliana</i> Franch. et Sav.
	カヤツリグサ科	イトスゲ	<i>Carex fernaldiana</i> H.Lév. et Vaniot
	カヤツリグサ科	ホソバヒカゲスゲ	<i>Carex humilis</i> Leyss. var. <i>nana</i> (H.Lév. et Vaniot) Ohwi
	カヤツリグサ科	フサスゲ(シラホスゲ)	<i>Carex metallica</i> H.Lév.
	カヤツリグサ科	ビロードスゲ	<i>Carex miyabei</i> Franch.
	カヤツリグサ科	ミヤマカンスゲ	<i>Carex multifolia</i> Ohwi var. <i>multifolia</i>
	カヤツリグサ科	アブラシバ	<i>Carex satsumensis</i> Franch. et Sav.
	カヤツリグサ科	シオクグ	<i>Carex scabrifolia</i> Steud.
	カヤツリグサ科	ヒゲスゲ	<i>Carex wahuensis</i> C.A.Mey. var. <i>bongardii</i> (Boott) Franch. et Sav.
	カヤツリグサ科	クログワイ	<i>Eleocharis kuroguwai</i> Ohwi
	カヤツリグサ科	マシカクイ	<i>Eleocharis tetraquetra</i> Nees
	カヤツリグサ科	シカクイ	<i>Eleocharis wichurae</i> Boeck.
	カヤツリグサ科	ツクシテンツキ	<i>Fimbristylis dichotoma</i> (L.) Vahl subsp. <i>podocarpa</i> (Nees et Meyen) T.Koyama
	カヤツリグサ科	コイヌノハナヒゲ	<i>Rhynchospora fujiana</i> Makino
	イネ科	コウヤザサ	<i>Brachyelytrum japonicum</i> (Hack.) Hack. ex Honda
	イネ科	キリシマノガリヤス	<i>Calamagrostis autumnalis</i> Koidz.
	イネ科	オオトボシガラ	<i>Festuca extremiorientalis</i> Ohwi
	イネ科	イワタケソウ	<i>Hystrix duthiei</i> (Stapf) Bor subsp. <i>japonica</i> (Hack.) Baden, Fred. et Seberg
	イネ科	アズマガヤ	<i>Hystrix duthiei</i> (Stapf) Bor subsp. <i>longearistata</i> (Hack.) Baden, Fred. et Seberg
	イネ科	コメガヤ	<i>Melica nutans</i> L.
	イネ科	イブキヌカボ	<i>Milium effusum</i> L.
	イネ科	セイタカヨシ	<i>Phragmites karka</i> (Retz.) Trin. ex Steud.
	イネ科	ムカゴツヅリ	<i>Poa tuberifera</i> Faurie ex Hack.
	イネ科	ナガミノオニシバ	<i>Zoysia sinica</i> Hance var. <i>nipponica</i> Ohwi
	メギ科	オオバメギ	<i>Berberis tschonoskyana</i> Regel
	メギ科	ヤチマタイカリソウ(注:ヒゴイカリソウ)	<i>Epimedium grandiflorum</i> C.Morren var. <i>grandiflorum</i>
	キンポウゲ科	ユキワリイチゲ	<i>Anemone keiskeana</i> T.Itô ex Maxim.
	キンポウゲ科	ツクシクサポタン	<i>Clematis stans</i> Siebold et Zucc. var. <i>austrojaponensis</i> (Ohwi) Ohwi
	キンポウゲ科	トウゴクサバノオ	<i>Dichocarpum trachyspermum</i> (Maxim.) W.T.Wang et P.K.Hsiao
	キンポウゲ科	シギンカラマツ	<i>Thalictrum actaeifolium</i> Siebold et Zucc.
	キンポウゲ科	マンセンカラマツ	<i>Thalictrum aquilegifolium</i> L. var. <i>sibiricum</i> Regel et Tiling
	アワブキ科	アオカズラ	<i>Sabia japonica</i> Maxim.
	ツゲ科	フッキソウ	<i>Pachysandra terminalis</i> Siebold et Zucc.
	ポタン科	ヤマシャクヤク	<i>Paeonia japonica</i> (Makino) Miyabe et Takeda
	ユキノシタ科	トサノチャルメルソウ(トサチャルメルソウ)	<i>Mitella yoshinagae</i> H.Hara
	ユキノシタ科	ダイモンジソウ	<i>Saxifraga fortunei</i> Hook.f. var. <i>alpina</i> (Matsum. et Nakai) Nakai
	ベンケイソウ科	アオベンケイ	<i>Hylotelephium viride</i> (Makino) H.Ohba
	ベンケイソウ科	ハママンネングサ	<i>Sedum formosanum</i> N.E.Br.
	マメ科	ハカマカズラ	<i>Bauhinia japonica</i> Maxim.
	マメ科	マキエハギ	<i>Lespedeza virgata</i> (Thunb.) DC.
	マメ科	シバネム	<i>Smithia ciliata</i> Royle
	マメ科	ヨツバハギ	<i>Vicia nipponica</i> Matsum.
	マメ科	ヒメヨツバハギ	<i>Vicia venosa</i> (Willd. ex Link) Maxim. subsp. <i>cuspidata</i> (Maxim.) Y.Endo et H.Ohashi var. <i>subcuspidata</i> Nakai
	バラ科	アズキナシ	<i>Aria alnifolia</i> (Siebold et Zucc.) Decne.
	バラ科	ツクシイバラ	<i>Rosa multiflora</i> Thunb. var. <i>adenochaeta</i> (Koidz.) Ohwi
	バラ科	モリイバラ	<i>Rosa onoei</i> Makino var. <i>hakonensis</i> (Franch. et Sav.) H.Ohba
	バラ科	キビナワシロイチゴ	<i>Rubus yoshinoi</i> Koidz.
	バラ科	イワガサ	<i>Spiraea blumei</i> G.Don
	クロウメモドキ科	キビノクロウメモドキ	<i>Rhamnus yoshinoi</i> Makino

イラクサ科	コケミズ	<i>Pilea peplodes</i> (Gaudich.) Hook. et Arn. var. <i>peplodes</i>
ブナ科	マテバシイ	<i>Lithocarpus edulis</i> (Makino) Nakai
ニシキギ科	サワダツ	<i>Euonymus melananthus</i> Franch. et Sav.
ニシキギ科	シラヒゲソウ	<i>Parnassia foliosa</i> Hook.f. et Thomson var. <i>foliosa</i>
ヤナギ科	ノヤナギ	<i>Salix subopposita</i> Miq.
スミレ科	サクラスミレ	<i>Viola hirtipes</i> S.Moore
スミレ科	キスミレ	<i>Viola orientalis</i> (Maxim.) W.Becker
スミレ科	アケボノスミレ	<i>Viola rossii</i> Hemsl.
フウロソウ科	タチフウロ	<i>Geranium krameri</i> Franch. et Sav.
フウロソウ科	イヨフウロ	<i>Geranium shikokianum</i> Matsum. var. <i>shikokianum</i>
ミソハギ科	ミズマツバ	<i>Rotala mexicana</i> Cham. et Schtdl.
ムクロジ科	メグスリノキ	<i>Acer maximowiczianum</i> Miq.
ミカン科	ハマセンダン	<i>Tetradium glabrifolium</i> (Champ. ex Benth.) T.G.Hartley var. <i>glaucum</i> (Miq.) T.Yamaz.
アブラナ科	イヌナズナ	<i>Draba nemorosa</i> L.
タデ科	イブキトラノオ	<i>Bistorta officinalis</i> Delarbre subsp. <i>japonica</i> (H.Hara) Yonek.
ヒユ科	ホソバハマアカザ(ホソバノハマアカザ)	<i>Atriplex patens</i> (Litv.) Iljin
サクラソウ科	ミヤマコナスビ	<i>Lysimachia tanakae</i> Maxim.
イワウメ科	イワカガミ	<i>Schizocodon soldanelloides</i> Siebold et Zucc. var. <i>soldanelloides</i>
エゴノキ科	ハクウンボク	<i>Styrax obassia</i> Siebold et Zucc.
マタタビ科	ウラジロマタタビ	<i>Actinidia arguta</i> (Siebold et Zucc.) Planch. ex Miq. var. <i>hypoleuca</i> (Nakai) Kitam.
ツツジ科	ウメガサソウ	<i>Chimaphila japonica</i> Miq.
ツツジ科	ヒュウガミツバツツジ	<i>Rhododendron hyugaense</i> (T.Yamaz.) T.Yamaz.
ツツジ科	コメツツジ	<i>Rhododendron tschonoskii</i> Maxim.
アカネ科	タニワタリノキ	<i>Adina pilulifera</i> (Lam.) Franch. ex Drake
アカネ科	ミサオノキ	<i>Aidia henryi</i> (E.Pritz.) T.Yamaz.
アカネ科	ヒロハコンロンカ	<i>Mussaenda shikokiana</i> Makino
アカネ科	イナモリソウ	<i>Pseudopyxis depressa</i> Miq.
アカネ科	ヘツカニガキ	<i>Sinoadina racemosa</i> (Siebold et Zucc.) Ridsdale
マチン科	アイナエ	<i>Mitrasacme pygmaea</i> R.Br.
キョウチクトウ科	イケマ	<i>Cynanchum caudatum</i> (Miq.) Maxim.
キョウチクトウ科	コイケマ	<i>Cynanchum wilfordii</i> (Maxim.) Hook.f.
キョウチクトウ科	フナバラソウ	<i>Vincetoxicum atratum</i> (Bunge) C.Morren et Decne.
キョウチクトウ科	タチカモメヅル	<i>Vincetoxicum glabrum</i> (Nakai) Kitag.
ナス科	ヤマホオズキ	<i>Archiphysalis chamaesarachoides</i> (Makino) Kuang
ナス科	イガホオズキ	<i>Physaliastrum echinatum</i> (Yatabe) Makino
モクセイ科	シオジ	<i>Fraxinus platypoda</i> Oliv.
オオバコ科	カワヂシャ	<i>Veronica undulata</i> Wall.
ゴマノハグサ科	ゴマノハグサ	<i>Scrophularia buergeriana</i> Miq.
シソ科	タニジャコウソウ	<i>Chelonopsis longipes</i> Makino
シソ科	ジャコウソウ	<i>Chelonopsis moschata</i> Miq.
シソ科	ヤマトウバナ	<i>Clinopodium multicaule</i> (Maxim.) Kuntze
シソ科	メハジキ	<i>Leonurus japonicus</i> Houtt.
シソ科	ミゾコウジュ	<i>Salvia plebeia</i> R.Br.
シソ科	ハマゴウ	<i>Vitex rotundifolia</i> L.f.
タヌキモ科	ミミカキグサ	<i>Utricularia bifida</i> L.
タヌキモ科	ムラサキミミカキグサ	<i>Utricularia uliginosa</i> Vahl
キキョウ科	バアソブ	<i>Codonopsis ussuriensis</i> (Rupr. et Maxim.) Hemsl.
キキョウ科	サワギキョウ	<i>Lobelia sessilifolia</i> Lamb.
キク科	フクド	<i>Artemisia fukudo</i> Makino
キク科	イヌヨモギ	<i>Artemisia keiskeana</i> Miq.
キク科	モリアザミ	<i>Cirsium dipsacolepis</i> (Maxim.) Matsum.
キク科	タカサブロウ	<i>Eclipta thermalis</i> Bunge
キク科	オグルマ	<i>Inula britannica</i> L. subsp. <i>japonica</i> (Thunb.) Kitam.
キク科	アソタカラコウ	<i>Ligularia</i> sp.
キク科	ネコノシタ(ハマグルマ)	<i>Wollastonia dentata</i> (H.Lév. et Vaniot) Orchard

種 子 植 物	キク科	ウスゲタマブキ	<i>Parasenecio farfarifolius</i> (Siebold et Zucc.) H.Koyama var. <i>farfarifolius</i>
	キク科	ツクシコウモリソウ	<i>Parasenecio nipponicus</i> (Miq.) H.Koyama
	キク科	ホクチアザミ	<i>Saussurea gracilis</i> Maxim.
	キク科	キリシマヒゴタイ	<i>Saussurea scaposa</i> Franch. et Sav.
	キク科	キオン	<i>Senecio nemorensis</i> L.
	スイカズラ科	イワツクバネウツギ	<i>Zabelia integrifolia</i> (Koidz.) Makino ex Ikuse et S.Kuros.
	ウコギ科	ウラジロウコギ	<i>Eleutherococcus hypoleucus</i> (Makino) Nakai
	ウコギ科	ケチドメグサ	<i>Hydrocotyle dichondrioides</i> Makino
	セリ科	ムカゴニンジン	<i>Sium ninsi</i> L.

## 情報不足 (DD)

シ ダ 植 物	イワヒバ科	クラマゴケ	<i>Selaginella remotifolia</i> Spring
	ハナヤスリ科	シチトウハナワラビ	<i>Botrychium atrovirens</i> (Sahashi) M.Kato
	サンショウモ科	オオアカウキクサ	<i>Azolla japonica</i> (Franch. et Sav.) Franch. et Sav. ex Nakai
	ホングウシダ科	アイノコホラシノブ	<i>Odontosoria intermedia</i> (S.J.Lin, M.kato et K.Iwats.) Nakaike
	チャセンシダ科	イノウエトラノオ	<i>Asplenium varians</i> Wall. ex Hook. et Grev.
	ヒメシダ科	アラゲヒメワラビ	<i>Macrothelypteris torresiana</i> (Gaudich.) Ching var. <i>torresiana</i>
	オシダ科	イヌイワイタチシダ	<i>Dryopteris saxifragivaria</i> Nakai
	オシダ科	リョウトウイタチシダ	<i>Dryopteris kobayashii</i> Kitag.
	オシダ科	ヤクカナワラビ	<i>Arachniodes amabilis</i> (Blume) Tindale var. <i>amabilis</i>
種 子 植 物	ウマノスズクサ科	アリマウマノスズクサ (ホソバウマノスズクサ)	<i>Aristolochia shimadae</i> Hayata
	ウマノスズクサ科	ミヤコアオイ	<i>Asarum asperum</i> F.Maek.
	ウマノスズクサ科	ウスバサイシン	<i>Asarum sieboldii</i> Miq.
	トチカガミ科	トゲウミヒルモ	<i>Halophila decipiens</i> Ostenf.
	トチカガミ科	オオウミヒルモ	<i>Halophila major</i> (Zoll.) Miq.
	トチカガミ科	ヤマトウミヒルモ	<i>Halophila nipponica</i> John Kuo
	トチカガミ科	サガミトリゲモ	<i>Najas chinensis</i> N.Z.Wang
	トチカガミ科	イトトリゲモ	<i>Najas gracillima</i> (A.Braun ex Engelm.) Magnus
	トチカガミ科	イバラモ	<i>Najas marina</i> L.
	トチカガミ科	オオトリゲモ	<i>Najas oguraensis</i> Miki
	ヒルムシロ科	イトモ	<i>Potamogeton berchtoldii</i> Fieber
	ヒルムシロ科	コバノヒルムシロ	<i>Potamogeton cristatus</i> Regel et Maack
	ラン科	ヒメフタバラン	<i>Neottia japonica</i> (Blume) Szlach.
	イグサ科	オカズズメノヒエ	<i>Luzula pallidula</i> Kirschner
	カヤツリグサ科	リュウキュウスゲ	<i>Carex alliiformis</i> C.B.Clarke
	カヤツリグサ科	コカンスゲ	<i>Carex reinii</i> Franch. et Sav.
	カヤツリグサ科	ジングウスゲ	<i>Carex sacrosancta</i> Honda
	カヤツリグサ科	クロミノハリイ	<i>Eleocharis atropurpurea</i> (Retz.) J. et C.Presl
	カヤツリグサ科	イヌクログワイ	<i>Eleocharis dulcis</i> (Burm.f.) Trin. ex Hensch.
	カヤツリグサ科	オオヌマハリイ	<i>Eleocharis mamillata</i> H.Lindb. var. <i>cyclocarpa</i> Kitag.
	カヤツリグサ科	オノエテンツキ	<i>Fimbristylis fusca</i> (Nees) C.B.Clarke
	イネ科	アオネザサ	<i>Pleioblastus humilis</i> (Mitford) Nakai
	イネ科	アズマザサ	<i>Sasaella ramosa</i> (Makino) Makino
	イネ科	ヤシャダケ	<i>Semiarundinaria yashadake</i> (Makino) Makino
	イネ科	ヒゲシバ	<i>Sporobolus japonicus</i> (Steud.) Maxim. ex Rendle
	マツモ科	ヨツバリキンギョモ	<i>Ceratophyllum platyacanthum</i> Cham. subsp. <i>oryzatorum</i> (Kom.) Les
	ケシ科	ホザキキケマン	<i>Corydalis racemosa</i> (Thunb.) Pers.
	キンボウゲ科	シコクフクジュソウ	<i>Adonis shikokuensis</i> Nishikawa et Koji Ito
	キンボウゲ科	ヤマハンショウヅル	<i>Clematis crassifolia</i> Benth.
	キンボウゲ科	ヒキノカサ	<i>Ranunculus ternatus</i> Thunb.
	マメ科	チョウセンニワフジ	<i>Indigofera kirilowii</i> Maxim. ex Palib.
	バラ科	ツルキジムシロ	<i>Potentilla stolonifera</i> Lehm. ex Ledeb.
	イラクサ科	ニオウヤブマオ (オニヤブマオ)	<i>Boehmeria holosericea</i> Blume
ニシキギ科	オオツルウメモドキ	<i>Celastrus stephanotifolius</i> (Makino) Makino	
ニシキギ科	コバノクロヅル	<i>Tripterygium doianum</i> Ohwi	
トウダイグサ科	アソタイゲキ	<i>Euphorbia pekinensis</i> Rupr. subsp. <i>asoensis</i> T.Kuros. et H.Obashi	
ミゾハコベ科	ミゾハコベ	<i>Elatine triandra</i> Schkuhr	
スミレ科	ホソバシロスマレ	<i>Viola patrinii</i> DC. var. <i>angustifolia</i> Regel	

	アマ科	マツバニンジン	<i>Linum stelleroides</i> Planch.
	オトギリソウ科	アゼオトギリ	<i>Hypericum oliganthum</i> Franch. et Sav.
	フウロソウ科	ミツバフウロ	<i>Geranium wilfordii</i> Maxim.
	タデ科	ヒメタデ	<i>Persicaria erectominor</i> (Makino) Nakai
	タデ科	ナガバノウナギツカミ	<i>Persicaria hastatosagittata</i> (Makino) Nakai
	タデ科	ヌカボタデ	<i>Persicaria taquetii</i> (H.Lév.) Koidz.
	タデ科	オオネバリタデ	<i>Persicaria viscofera</i> (Makino) H.Gross var. <i>robusta</i> (Makino) Hiyama
	タデ科	ニオイタデ	<i>Persicaria viscosa</i> (Buch.-Ham. ex D.Don) H. Gross ex T.Mori
	ナデシコ科	ヤンバルハコベ	<i>Drymaria diandra</i> Blume
	ナデシコ科	ハマツメクサ	<i>Sagina maxima</i> A.Gray
	ヒユ科	カワラアカザ	<i>Chenopodium acuminatum</i> Willd. var. <i>vachelii</i> (Hook. et Arn.) Moq.
	ヒユ科	ヒロハマツナ	<i>Suaeda malacosperma</i> H.Hara
	ヒユ科	ハママツナ	<i>Suaeda maritima</i> (L.) Dumort.
	ツリフネソウ科	エンシュウツリフネソウ	<i>Impatiens hypophylla</i> Makino var. <i>microhypophylla</i> (Nakai) H.Hara
	ツツジ科	コケモモ	<i>Vaccinium vitis-idaea</i> L.
	ヒルガオ科	マメダオシ	<i>Cuscuta australis</i> R.Br.
	オオバコ科	マルバノサワトウガラシ	<i>Deinostema adenocaulum</i> (Maxim.) T.Yamaz.
種	オオバコ科	サワトウガラシ	<i>Deinostema violaceum</i> (Maxim.) T.Yamaz.
	シソ科	ニシキゴロモ	<i>Ajuga yesoensis</i> Maxim. ex Franch. et Sav.
子	シソ科	ヒメキセワタ	<i>Matsumurella tuberifera</i> (Makino) Makino
	シソ科	ヤマジソ	<i>Mosla japonica</i> (Benth. ex Oliv.) Maxim.
植	シソ科	ミズトラノオ	<i>Pogostemon yatabeanus</i> (Makino) Press
	ハマウツボ科	キュウシュウコゴメグサ	<i>Euphrasia insignis</i> Wettst. subsp. <i>iinumae</i> (Takeda) T.Yamaz. var. <i>kiusiana</i> (Y.Kimura) T.Yamaz.
物	タヌキモ科	ヒメタヌキモ	<i>Utricularia minor</i> L.
	モチノキ科	ツゲモチ	<i>Ilex goshiensis</i> Hayata
	キキョウ科	マンシュウツリガネニンジン	<i>Adenophora pereskifolia</i> (Fisch. ex Roem. et Schult.) Fisch. ex G. Don
	ミツガシワ科	ガガブタ	<i>Nymphoides indica</i> (L.) Kuntze
	キク科	ミヤマヨメナ	<i>Aster savatieri</i> Makino
	キク科	ホソバノセンダングサ	<i>Bidens parviflora</i> Willd.
	キク科	ヘイケモリアザミ	<i>Cirsium lucens</i> Kitam. var. <i>bracteosum</i> Imae et S.Watan.
	キク科	ホソバニガナ	<i>Ixeridium beauverdianum</i> (H.Lév.) Springate
	キク科	タカサゴソウ	<i>Ixeris chinensis</i> (Thunb.) Nakai subsp. <i>strigosa</i> (H.Lév. et Vaniot) Kitam.
	キク科	チョウセンヤマニガナ	<i>Lactuca raddeana</i> Maxim. var. <i>raddeana</i>
	キク科	モミジコウモリ	<i>Japonicalia kiusiana</i> (Makino) C.Ren et Q.E.Yang
	キク科	コウヤボウキ	<i>Pertya scandens</i> (Thunb.) Sch.Bip.
	キク科	タイキンギク	<i>Senecio scandens</i> Buch.-Ham. ex D.Don
	キク科	ハチジョウナ	<i>Sonchus brachyotus</i> DC.
	キク科	オナモミ	<i>Xanthium strumarium</i> L. subsp. <i>sibiricum</i> (Patrin ex Widder) Greuter
	セリ科	ヒュウガセンキュウ	<i>Angelica minamitanii</i> T.Yamaz.
	セリ科	ハマゼリ	<i>Cnidium japonicum</i> Miq.

要注目種 (AN)

シ タ 植 物	イノモトソウ科	ヒメウラジロ	<i>Cheilanthes argentea</i> (S.G.Gmel.) Kunze
	イノモトソウ科	エビガラシダ	<i>Cheilanthes chusana</i> Hook.
種	ウマノズクサ科	キンチャクアオイ	<i>Asarum hexalobum</i> F.Maek. var. <i>perfectum</i> F.Maek.
	カヤツリグサ科	タイワンスゲ	<i>Carex formosensis</i> H.Lév. et Vaniot
子	ケシ科	ナガミノツルケマン(ナガミノツルケマン)	<i>Corydalis raddeana</i> Regel
	ユキノシタ科	ツクシチャルメルソウ	<i>Mitella kiusiana</i> Makino
植	タデ科	コギシギシ	<i>Rumex dentatus</i> L. subsp. <i>klotzschianus</i> (Meisn.) Rech.f.
	モクセイ科	ウスギモクセイ	<i>Osmanthus fragrans</i> Lour. var. <i>aurantiacus</i> Makino f. <i>thunbergii</i> (Makino) T.Yamaz.
物	シソ科	セイタカナミキソウ	<i>Scutellaria barbata</i> D.Don
	キク科	アソノコギリソウ	<i>Achillea alpina</i> L. subsp. <i>subcartilaginea</i> (Heimerl) Kitam.
	キク科	マルバテイショウソウ	<i>Ainsliaea fragrans</i> Champ. ex Benth.
	キク科	ヒロハヤマヨモギ	<i>Artemisia stolonifera</i> (Maxim.) Kom.
	キク科	ホソバオグルマ	<i>Inula linariifolia</i> Turcz.

## コケ植物 絶滅危惧 I A 類 (CR)

### オニゴケ

*Pseudospiridentopsis horrida* (Cardot) M. Fleisch.

コケ植物 蘚類  
ムジナゴケ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I 類 (CR+EN)

**選定理由** 全国局限、県内局限、その他（もともと希少）

**生育環境** 石灰岩の崖地や樹上

**生育状況** 五木村の限られた崖地の石灰岩上のみで生育している。

**生存への脅威** 岩石採掘、自然災害

**特記事項** 大形で長さ 15 cm になる。葉は密につき、大きくて長さ 6~9 mm、基部から著しく反り返る。雌雄異株。日本では蒴は未知。九州（熊本県五木村、鹿児島県屋久島）に産す。

### キャラハゴケモドキ

*Taxiphyllopsis iwatsukii* Higuchi & Deguchi

コケ植物 蘚類  
ハイゴケ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I 類 (CR+EN)

**選定理由** 全国局限、県内局限、その他（もともと希少）

**生育環境** 半日陰の石灰岩に群生

**生育状況** 生育面積は 50×50 cm ほどで扁平に葉をつけた植物体が石灰岩上に張り付くように生育している。

**生存への脅威** 森林伐採、自然災害

**特記事項** 九州では、2010 年に五木村で確認された。雌雄同株。高知県、岡山県、山口県で確認されている。日本固有種。

### ヒカリゼニゴケ

*Cyathodium cavernarum* Kunze

コケ植物 苔類  
ハマグリゼニゴケ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I A 類 (CR)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I 類 (CR+EN)

**選定理由** 全国局限、県内局限、その他（もともと希少）

**生育環境** 洞穴の入口付近の土上や岩上

**生育状況** 球磨村の 1 地点だけに見られる。

**生存への脅威** 森林伐採、自然災害

**特記事項** 1958 年球磨村の洞穴入口付近で発見された。その後洞穴入口の崩落などで生育の確認ができず、2007 年の環境庁レッドデータブックでは、絶滅種に指定されたが、2011 年に再発見された。多様性条例（指定希少野生動物植物）。

## 絶滅危惧 I B 類 (EN)

### コキヌシツポゴケ

*Seligeria Pusilla* (Hedw.) Bruch & Schimp.

コケ植物 蘚類  
キヌシツポゴケ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I 類 (CR+EN)

**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）

**生育環境** 日陰の湿った石灰岩上

**生育状況** 八代市泉町（五家荘）でのみ確認されている。

**生存への脅威** 岩石採掘、自然災害

**特記事項** 植物体は微少で、茎は長さ 1~2 mm、葉は長さ 0.7~1.2 mm、中肋上部は 3 細胞層。蒴は西洋梨形で相称、蓋には斜めに嘴がある。北海道~九州に産す。

## ホソヒモゴケ

*Meteorium papillarioides* Nog.

コケ植物 蘚類  
ハイヒモゴケ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I 類 (CR+EN)

**選定理由** 全国局限、県内局限、その他（もともと希少）

**生育環境** 石灰岩上

**生育状況** 球磨地方、甲佐町、芦北町に生育する。

**生存への脅威** 森林伐採、岩石採掘、自然災害

**特記事項** 植物体は細く小さい。雌雄異株。日本では萌は未知。本州、九州に産す。

## ヒメタチヒラゴケ

*Homaliadelphus targionianus* (Mitt.) Dixon & P. Vard var. *rotundatus* Nog.

コケ植物 蘚類  
ヒラゴケ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I 類 (CR+EN)

**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）

**生育環境** 石灰岩の崖地

**生育状況** 五木村の限られた崖地の石灰岩上のみで生育している。

**生存への脅威** 森林伐採、自然災害

**特記事項** 生育数が少なく、今後の生育環境の保全が必要。本州、四国、九州に分布。

## コモチイチイゴケ

*Isopterygium propaguliferum* Toyama

コケ植物 蘚類  
ハイゴケ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 I B 類 (EN)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 I 類 (CR+EN)

**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）

**生育環境** 腐木上に群生

**生育状況** 球磨地方の森林内の沢沿いなど湿った場所の腐木上にマットを作る。

**生存への脅威** 森林伐採

**特記事項** 小形の蘚類で、茎は這い多くの枝を上向きに出す。特殊な枝先に紡錘形の無性芽が集まって付く。和歌山県、四国、九州に産す。水上村で確認されている。

## 絶滅危惧 II 類 (VU)

### タイワントラノオゴケ

*Taiwanobryum speciosum* Nog.

コケ植物 蘚類  
タイワントラノオゴケ科

熊本県カテゴリー  
絶滅危惧 II 類 (VU)  
環境省カテゴリー  
絶滅危惧 II 類 (VU)

**選定理由** 県内局限、その他（もともと希少）

**生育環境** 石灰岩上や樹上

**生育状況** 五木村の限られた石灰岩地に生育するが、その箇所は非常に少ない。

**生存への脅威** 岩石採掘、自然災害

**特記事項** 硬い感じの大形の蘚で、一次茎は這い、二次茎は立ち上がり、長さ 10 cm ほどになる。中肋は細く、葉の 3/4 に達する。萌は長卵形で直立する。萌柄は、長さ 15 mm。雌雄異株。本州～九州に産す。

<b>ムチエダイトゴケ</b>		熊本県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<i>Haplohymenium flagelliforme</i> L. I.Savicz	コケ植物 蘚類 シノブゴケ科	環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<b>選定理由</b>	県内局限、その他 (もともと希少)	
<b>生育環境</b>	林内の樹上や岩上に群生	
<b>生育状況</b>	五木村で確認されている。長さ2 cmほどの小形の蘚類で、石灰岩に近い樹木に着生群生するが、生育箇所は非常に少ない。	
<b>生存への脅威</b>	森林伐採、その他 (生育環境の悪化)	
<b>特記事項</b>	本州～九州に分布する。	

<b>オオミツヤゴケ</b>		熊本県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<i>Entodon conchophyllus</i> Cardot	コケ植物 蘚類 ツヤゴケ科	環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<b>選定理由</b>	県内局限、その他 (もともと希少)	
<b>生育環境</b>	山地のブナ、モミなどの樹上	
<b>生育状況</b>	菊池市のモミ樹幹に生育している。	
<b>生存への脅威</b>	森林伐採、観光開発	
<b>特記事項</b>	植物体は光沢のある鮮やかな黄緑色。葉は茎に密につき、深く窪み、先端は急に尖る。雌雄同株。本州、九州に産す。	

<b>オオサナダゴケ</b>		熊本県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<i>Plagiothecium neckeroideum</i> Bruch & Schimp.	コケ植物 蘚類 サナダゴケ科	環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
<b>選定理由</b>	県内局限、その他 (もともと希少)	
<b>生育環境</b>	地上に群生	
<b>生育状況</b>	腐植土上や樹木の基部にマットを作る。	
<b>生存への脅威</b>	森林伐採、その他 (生育環境の悪化)	
<b>特記事項</b>	植物体は黄緑色、葉は扁平につき、長さ約2 mm、非相称で、葉身上半部に著しいしわがある。雌雄異株。北海道～九州に産す。	

### 準絶滅危惧 (NT)

<b>オオミズゴケ</b>		熊本県カテゴリー 準絶滅危惧 (NT)
<i>Sphagnum palustre</i> L.	コケ植物 蘚類 ミズゴケ科	環境省カテゴリー 準絶滅危惧 (NT)
<b>選定理由</b>	近年減少、その他 (もともと希少)	
<b>生育環境</b>	山地の湿った地上や湿原	
<b>生育状況</b>	県内各地に局在するが、いずれの場所も衰退の兆候がある。	
<b>生存への脅威</b>	水湿地の開発、水質汚濁、捕獲・採集	
<b>特記事項</b>	茎は高さ10 cm以上に達し頂端部に多くの枝が集まり、緑白色の群落を形成する。葉には螺旋状の肥厚した透明細胞と細長い葉緑細胞が交互に並んでいる。北海道～九州に産す。	

## クマノゴケ

*Diphyscium lorifolium* (Cardot) Magomboコケ植物 蘚類  
キセルゴケ科熊本県カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)**選定理由** 県内局限、その他 (もともと希少)**生育環境** 溪流沿いの湿った岩上**生育状況** 菊池市でのみ確認されている。光沢のある黒緑色の群落をつくる。**生存への脅威** 森林伐採、水質汚染、河川改修、観光開発**特記事項** 普通葉はやや幅広い基部からひも状に長く伸び、長さ 6~12 mm、乾くとゆるく内側に巻く。蒴はイクビゴケに似て、非相称で長さ約 5 mm。本州~九州に産す。

## トガリミミゴケ

*Calypothecium hookeri* (Mitt.) Broth.コケ植物 蘚類  
ヒムロゴケ科熊本県カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他 (もともと希少)**生育環境** 林内の石灰岩の側面に群生**生育状況** 五木村、球磨村、美里町の石灰岩の側面に着生し、下垂する。**生存への脅威** 森林伐採、岩石採掘、自然災害**特記事項** 長さ 5 cm ほどで、1 m<sup>2</sup> 以上の大きな群落を作っているものもある。二次茎は 30 cm ほどになる。本州、四国、九州に産す。

## ヒロハシノブイトゴケ

*Trachycladiella aurea* (Mitt.) M. Menzelコケ植物 蘚類  
ハイヒモゴケ科熊本県カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)**選定理由** 全国局限、県内局限、その他 (もともと希少)**生育環境** 湿った森林の中の、渓谷沿いの樹木や枝や岩からひものように長く垂れ下がる**生育状況** 県内各地に散在するが、減少しつつある種である。**生存への脅威** 森林伐採、自然災害**特記事項** 茎は長く 30 cm になることがある。不規則に枝を出す。葉身細胞の縁に沿ってたくさんのパピラが並ぶ。雌雄異株。本州~九州に産す。

## セイナンヒラゴケ

*Neckeropsis calcicola* Nog.コケ植物 蘚類  
ヒラゴケ科熊本県カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他 (もともと希少)**生育環境** 石灰岩上に群生**生育状況** 大形の美しい蘚類で、五木村、山江村で群生するが生育箇所は非常に少ない。**生存への脅威** 森林伐採、その他 (生育環境の悪化)**特記事項** 葉は著しく扁平につき、舌形で半月状の強いしわが見られる。県内では球磨地方に分布する。雌雄異株。本州~琉球に産す。



## キブリハネゴケ

*Pinnatella makinoi* (Broth.) Broth.コケ植物 蘚類  
ヒラゴケ科熊本県カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)**選定理由** 県内局限、その他 (もともと希少)**生育環境** 石灰岩上に群生**生育状況** 球磨地方で確認されている。群生するが生育箇所は少ない。**生存への脅威** 森林伐採、岩石採掘、観光開発**特記事項** 植物体は大きく第二次茎は長さ 10 cm になる。蒴は知られていない。第二次茎の葉は卵形～心臓形で、中肋は葉の頂部に達する。雌雄異株。本州～九州に産す。

## コキシノオゴケ

*Cyathophorum hookerianum* (Griff.) Mitt.コケ植物 蘚類  
クジャクゴケ科熊本県カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)**選定理由** 県内局限、その他 (もともと希少)**生育環境** 林内の樹上や岩上に群生**生育状況** 長さ 2 cm ほどの小形の蘚類で、群生するが生育箇所は非常に少ない。**生存への脅威** 森林伐採、その他 (生育環境の悪化)**特記事項** 黄緑色の小形の蘚類。茎は短く長さ約 2 cm。茎の先端がしばしば尾状に尖り、そこに無性芽をつける。雌雄異株。日本では蒴は未知。本州～九州に産す。

## コウライイチゴケ

*Taxiphyllum alternans* (Cardot) Z.Iwats.コケ植物 蘚類  
ハイゴケ科熊本県カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)  
環境省カテゴリー**選定理由** 県内局限、その他 (もともと希少)**生育環境** 林内の樹上や岩上に群生**生育状況** 長さ 2 cm ほどの小形の蘚類で、群生するが生育箇所は非常に少ない。**生存への脅威** 池沼の改修、管理放棄**特記事項** 雌雄異株。蒴は未知。本州～九州に産す。

## イチョウウキゴケ

*Ricciocarpos natans* (L.) Cordaコケ植物 苔類  
ウキゴケ科熊本県カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)  
環境省カテゴリー  
準絶滅危惧 (NT)**選定理由** 全国局限、その他 (もともと希少)**生育環境** 水田、沼、池の水面に浮かんで生育**生育状況** 県内各地に散在するが、各地で減少しつつある種である。**生存への脅威** 水質汚濁、自然災害**特記事項** 水田の除草剤などの影響で、数が減少している。葉状体は長さ 1～1.5 cm、表面に浅い溝が線状にはいる。雌雄同株。全国に分布。

### (3) 文献

1. 荒金正憲・辻寛文 (2011) APG 分類体系による大分県高等植物目録. 大分県植物誌刊行会.
2. 馬場胤義 (編) (1982) 佐賀県植物目録 1981. 佐賀植物友の会.
3. 海老原淳 (2016) 日本産シダ植物標準図鑑 I. 学研プラス.
4. 海老原淳 (2017) 日本産シダ植物標準図鑑 II. 学研プラス.
5. 福岡県環境部自然環境課 (2011) 福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2011. 福岡県環境部自然環境課
6. 福岡県高等学校生物研究部会 (1975) 福岡県植物誌. 博洋社.
7. 五家荘の会「泉村の自然」編集委員会 (1993) 泉村の自然. 泉村役場.
8. 初島住彦 (1986) 『改訂鹿児島県植物目録』. 鹿児島植物同好会.
9. 初島住彦 (2004) 九州植物目録. 鹿児島大学総合研究博物館.
10. 平田正一 (1984) 宮崎県植物誌. 宮崎日日新聞社.
11. 岩月善之助 (編) (2001) 日本の野生植物 コケ. 平凡社.
12. 鹿児島県環境林務部自然保護課 (2016) 改訂・鹿児島県の絶滅のおそれのある野生動植物 鹿児島県レッドデータブック 2016 植物編. 一般財団法人鹿児島県環境技術協会.
13. 角野康郎 (1994) 日本水草図鑑. 文一総合出版.
14. 角野康郎 (2014) 日本の水草ネチャガイト. 文一総合出版.
15. 環境省 (2018) 環境省レッドリスト.
16. 熊本県希少野生動植物検討委員会 (1992) 九州中央山地における希少野生動植物の実情と保護方策. 熊本県環境公害部環境保全課.
17. 熊本県希少野生動植物検討委員会 (1993) 人吉・球磨地域における希少野生動植物の実情と保護方策. 熊本県環境公害部環境保全課.
18. 熊本県希少野生動植物検討委員会 (1994a) 芦北・水俣地域における希少野生動植物の実情と保護方策. 熊本県環境公害部環境保全課.
19. 熊本県希少野生動植物検討委員会 (1994b) 天草地域における希少野生動植物の実情と保護方策. 熊本県環境公害部環境保全課.
20. 熊本県希少野生動植物検討委員会 (1995) 阿蘇・県北地域における希少野生動植物の実情と保護方策. 熊本県環境公害部環境保全課.
21. 熊本県希少野生動植物検討委員会 (1996) 県央地域における希少野生動植物の実情と保護方策. 熊本県環境公害部環境保全課.
22. 熊本県希少野生動植物検討委員会 (2009) 改訂・熊本県の保護上重要な野生動植物ーレッドデータブックくまもと 2009ー. 熊本県環境生活部自然保護課.
23. 熊本県希少野生動植物検討委員会 (2014) 熊本県の保護上重要な野生動植物ーレッドリストくまもと 2014ー. 熊本県環境生活部自然保護課.
24. 熊本記念植物採集会 (1972-2017) BOTANY No.21-67.
25. 熊本記念植物採集会編 (1969) 熊本県植物誌. 長崎書店.
26. 前川文夫 (1971) 原色日本のラン 日本ラン科植物図鑑. 誠文堂新光社.
27. 宮崎県版レッドデータブック改訂検討委員会 (編) (2011) 宮崎県の保護上重要な野生生物 改訂・宮崎県版レッドデータブック. 宮崎県環境森林部自然環境課.
28. 長崎県県民生活環境部自然保護課 (2001) ながさきの希少な野生動植物 ーレッドデータブック 2001ー.
29. 中西弘樹 (2015) 長崎県植物誌. 長崎新聞社.
30. 大橋広好・門田裕一・邑田仁・米倉浩司・木原浩 (編) (2015) 改訂新版 日本の野生植物ソテツ科～カヤツリグサ科 1. 平凡社.

31. 大橋広好・門田裕一・邑田仁・米倉浩司・木原浩（編）（2016a）改訂新版 日本の野生植物イネ科～イラクサ科 2. 平凡社.
32. 大橋広好・門田裕一・邑田仁・米倉浩司・木原浩（編）（2016b）改訂新版 日本の野生植物バラ科～センダン科 3. 平凡社.
33. 大橋広好・門田裕一・邑田仁・米倉浩司・木原浩（編）（2017a）改訂新版 日本の野生植物アオイ科～キョウチクトウ科 4. 平凡社.
34. 大橋広好・門田裕一・邑田仁・米倉浩司・木原浩（編）（2017b）改訂新版 日本の野生植物ヒルガオ科～スイカズラ科 5. 平凡社.
35. 大分県植物誌刊行会（編）（1989） 新版大分県植物誌.
36. 大分県（2011）レッドデータブックおおいた 2011 大分県の絶滅のおそれのある野生生物.  
<http://www.pref.oita.jp/10550/reddata2011/index.html>（2018年12月28日）
37. 長田武正（1989）日本イネ科植物図譜. 平凡社.
38. 佐賀県希少野生動植物調査検討会植物分科会（編）（2011）レッドデータブックさが 2010 植物編 佐賀県の絶滅のおそれのある野生生物. 佐賀県くらし環境本部有明海再生・自然環境課.
39. 杉本順一（1978）改訂増補新日本樹木総検索誌. 井上書店.
40. 外山三郎（1980）長崎県植物誌. 長崎県生物学会.
41. 八代の植物編集委員会（編）（1992）八代の植物. 八代植物友の会.
42. 米倉浩司・梶田忠（2003-）植物和名-学名インデックス YList. <http://ylist.info>（2018年12月28日）
43. 米倉浩司（2012）日本維管束植物目録. 北隆館.
44. 米倉浩司（2013）維管束植物分類表. 北隆館.